

# パキスタン・イスラム共和国 ノンフォーマル教育推進プロジェクト 終了時評価調査報告書

平成 26 年 4 月  
(2014 年)

独立行政法人国際協力機構  
パキスタン事務所

パキ事
J R
14-001

パキスタン・イスラム共和国  
ノンフォーマル教育推進プロジェクト  
終了時評価調査報告書

平成 26 年 4 月  
(2014 年)

独立行政法人国際協力機構  
パキスタン事務所

## 序 文

独立行政法人国際協力機構は、パキスタン・イスラム共和国（以下、「パキスタン」と記す）政府からの要請に基づき、2011年7月から同国において「ノンフォーマル教育推進プロジェクト」を開始いたしました。

同プロジェクトの協力期間終了を2014年6月に控え、プロジェクトで実施してきた協力活動全般についてその達成状況を整理・把握して評価し、今後の活動について提言することを目的として、終了時評価調査団を現地に派遣いたしました。

同調査団は、2014年1月12日から24日までの13日間にわたり現地に滞在し、プロジェクト関係者との協議及びプロジェクトサイトの視察を通して調査結果を取りまとめました。同結果については、パキスタン政府関係者から合意を得ております。

本報告書は、同調査団の評価調査結果を取りまとめたものであり、今後の技術協力を実施するにあたり、関係方面に広く活用されることを期待します。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成26年4月

独立行政法人国際協力機構  
パキスタン事務所長 河崎 充良

# 目 次

序 文

目 次

プロジェクトサイト位置図

写 真

略語表

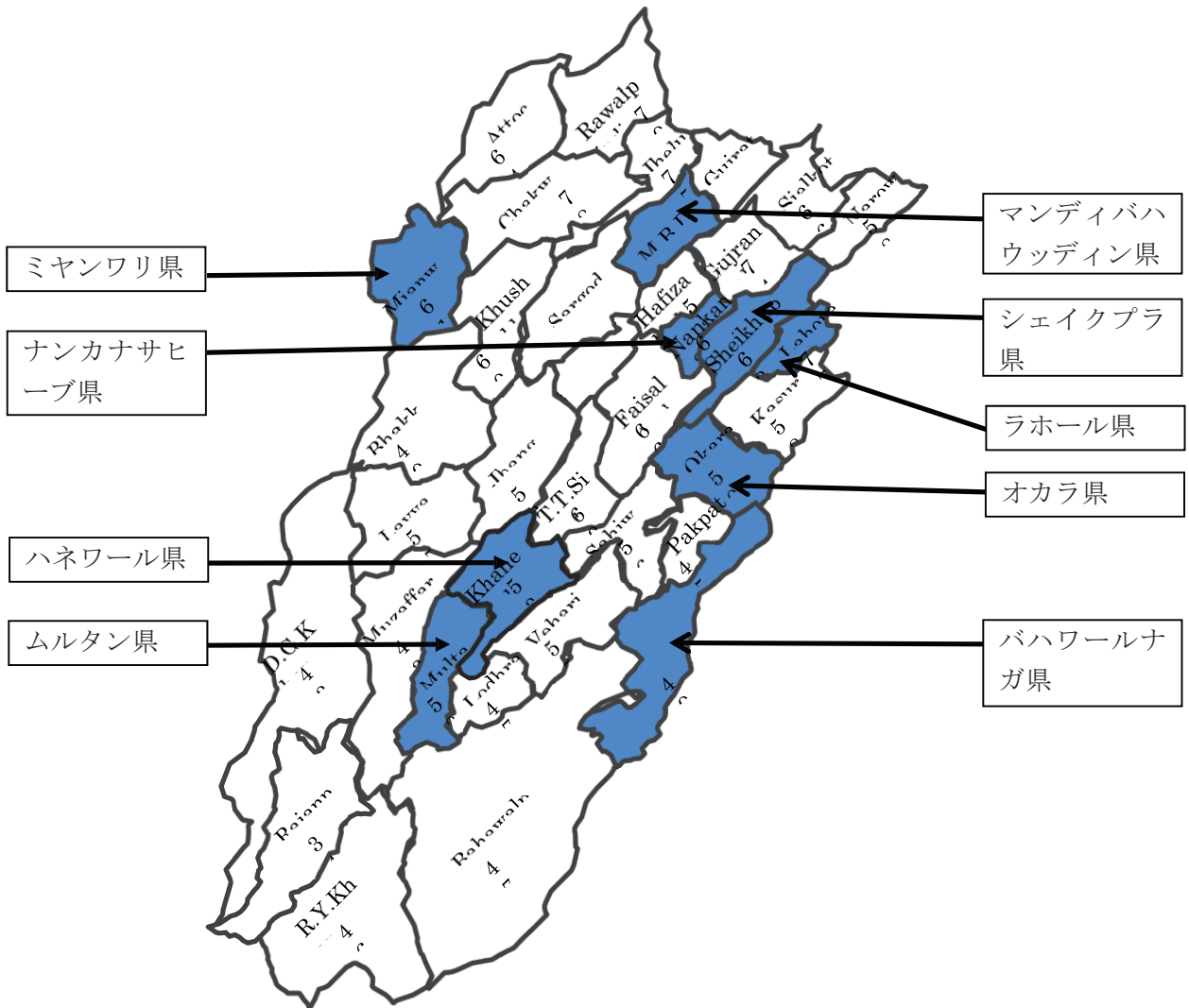
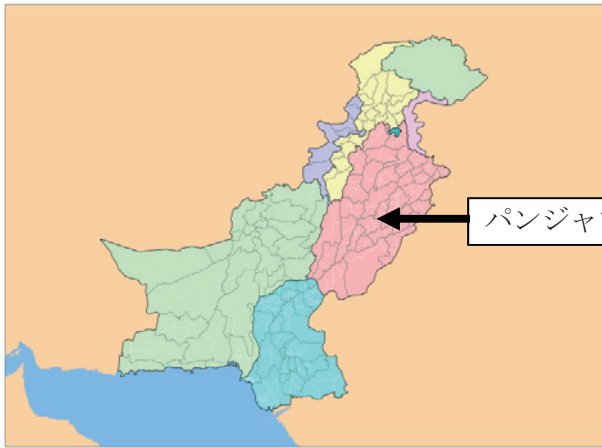
評価調査結果要約表（和文）

評価調査結果要約表（英文）

第1章 評価調査の概要	1
1-1 背景と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	2
第2章 評価の方法	4
2-1 評価の基準及びPDM	4
2-2 評価設問	6
2-3 データ収集方法	7
2-4 評価結果の合意	8
第3章 プロジェクトの実績と実施プロセス	9
3-1 投 入	9
3-1-1 日本側	9
3-1-2 パキスタン側	9
3-2 実 績	9
3-2-1 成 果	9
3-2-2 プロジェクト目標	13
3-2-3 上位目標	15
3-3 実施プロセス	16
3-3-1 プロジェクトの運営体制	16
3-3-2 プロジェクトの進捗	20
3-3-3 中間レビューにおける提言への対応	22
第4章 評価結果	25
4-1 妥当性	25
4-1-1 開発政策との整合性	25
4-1-2 開発ニーズとの整合性	25

4-1-3	日本の援助政策との整合性	25
4-1-4	手段としての適切性	26
4-2	有効性	26
4-2-1	プロジェクト目標達成の見込み	26
4-2-2	プロジェクト目標達成の貢献・阻害要因	27
4-2-3	成果産出とプロジェクト目標達成の理論性	28
4-3	効率性	28
4-3-1	成果産出の程度	28
4-3-2	投入の適切性	29
4-4	インパクト	29
4-4-1	上位目標達成の見込み	29
4-4-2	その他のインパクト	30
4-4-3	上位目標達成に係る貢献・阻害要因	31
4-5	持続性	31
4-5-1	政策・制度面	31
4-5-2	組織・財務面	32
4-5-3	技術面	32
4-6	結論	33
第5章	提言と教訓	34
5-1	提言	34
5-2	教訓	34
第6章	団長所感	36
付属資料		
1.	ミニッツ (M/M) (写)	41
2.	収集資料一覧	89

# プロジェクトサイト位置図



写 真



ノンフォーマル初等教育校の授業の様子



JICA で作成した教材にて授業をしている  
ノンフォーマル初等教育校



軍所属の職業訓練校にて実施されている  
成人識字センター(ALC)。JICA が作成支援した  
ポスターが壁に掲示されている。



コミュニティ学習センター (CLC) にて  
製造されたジュースとジャム。味が濃厚で、  
プロジェクト関係者から好評とのこと。



第 3 回合同調整委員会 (JCC) の開催



ミニッツ (M/M) 署名式

## 略 語 表

略 語	欧 文	和 文
ALC	Adult Literacy Center	成人識字センター
BISP	Benazir Income Support Program	ベナジル所得支援プログラム
BRAC	Bangladesh Rural Advancement Committee	バングラデシュ農村向上委員会
CFEL	Campaign for Enhancement of Literacy	識字拡大キャンペーン
CLC	Community Learning Centers	コミュニティ学習センター
C/P	Counterpart	カウンターパート
DLO	District Literacy Officer	県識字官
EDO	Executive District Officer	県行政官
EFA	Education for All	万人のための教育
HRD	Human Resource Development	人材開発
ILO	International Labor Organization	国際労働機関
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
LNFBED	Literacy and Non-Formal Basic Education Department	パンジャブ州識字・ノンフォーマル初等教育局（識字局）
M&E	Monitoring and Evaluation	モニタリング評価
MDGs	Millennium Development Goals	ミレニアム開発目標
MIS	Management Information System	マネジメント情報システム
M/M	Minutes of Meeting	ミニッツ（協議議事録）
MOU	Memorandum of Understanding	協定書
NCHD	National Commission for Human Development	国家人材開発委員会
NEF	National Education Fund	国立教育基金
NFBE	Non-Formal Basic Education	ノンフォーマル初等教育
NFE	Non-Formal Education	ノンフォーマル教育
NFEMIS	Non-Formal Education Management Information System	ノンフォーマル教育マネジメント情報システム
NFEPP	Non-Formal Education Promotion Project	ノンフォーマル教育推進プロジェクト
NGO	Non-Governmental Organizations	非政府組織
ODA	Official Development Assistance	政府開発援助
OJT	On-the-Job Training	職場内訓練



PAFLP	Punjab Accelerated Functional Literacy and NFBE Project	パンジャブ機能的識字・ノンフォーマル初等教育推進プロジェクト
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PEC	Punjab Examination Commission	パンジャブ試験委員会
PKR	Pakistan Rupee	パキスタン・ルピー
PLC	Project Literacy Coordinator	プロジェクト識字調整官
PLPP	Punjab Literacy Promotion Project	パンジャブ州識字行政改善プロジェクト
PMU	Project Management Unit	プロジェクト・マネジメント・ユニット
PO	Plan of Operations	活動計画表
PSDF	Punjab Skills Development Fund	パンジャブ技能開発基金
PSLM	Pakistan Social and Living Standards Measurement Survey	パキスタン社会生活水準調査
PVTC	Punjab Vocational Training Council	パンジャブ州職業訓練カウンシル
R&D	Research and Development	研究開発
RCMA	Research, Curriculum, Material, and Assessment	研究・カリキュラム・教材・アセスメント
TEVTA	Technical Education and Vocational Training Authority	技術教育・職業訓練庁
TOT	Training of Trainers	指導者研修
UNESCO	United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization	国際連合教育科学文化機関
UNICEF	United Nations Children's Fund	国際連合児童基金
VTC	Vocational Training Center	職業訓練センター

## 評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国 名：パキスタン・イスラム共和国	案件名：ノンフォーマル教育推進プロジェクト
分野：教育	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：JICA パキスタン事務所	協力金額（評価時点）：1億1,700万円
協力期間	(R/D)：2011年5月5日
	2011年7月～2014年6月 (2015年3月まで延長することを提言)
	先方関係機関：パンジャブ州識字・ノンフォーマル初等教育局 (LNFBED)
	日本側協力機関：
	他の関連協力：パンジャブ州識字行政改善プロジェクト (PLPP)、パンジャブ州識字行政改善プロジェクトフェーズ2 (PLPP2)
<p>1-1 協力の背景と概要</p> <p>パキスタン・イスラム共和国（以下、「イスラム」と記す）の識字率は54.9%と低い。女性に限定すると40.3%と更に低くなる。この数値は識字率が低いとされる南アジアにおいても、バングラデシュ、ネパールと並び最低レベルである。</p> <p>国内最大の人口を抱えるパンジャブ州では、2002年に識字・ノンフォーマル初等教育局（識字局）（Literacy and Non-Formal Basic Education Department：LNFBED）を設立し、2019年に識字率100%を達成すべくノンフォーマル教育（NFE）を展開している。LNFBEDは2通りのアプローチでNFEを展開している。1つ目のアプローチは15～34歳を対象とした6カ月間の成人識字教室で、2つ目のアプローチは5～14歳の学齢期の子どもを対象とした3年4カ月のノンフォーマル初等教育校である。</p> <p>LNFBEDは2004年7月から2011年2月にかけてJICAの「パンジャブ州識字行政改善プロジェクト（PLPP）」及びそのフェーズ2の支援を受けながら、ノンフォーマル教育マネジメント情報システム（NFEMIS）を活用したデータに基づく識字行政マネジメントを促進してきた。PLPPフェーズ2の終了時においては、NFEの質的な改善が必要であるとも結論づけられている。</p> <p>同結論を受け、2010年8月にLNFBEDは、ノンフォーマル初等教育（NFBE）と成人識字教育のスタンダード、カリキュラム、アセスメント手法の開発を通じたNFEの質の改善に焦点を当てた技術協力プロジェクトを要請した。同要請に基づき、JICAは2011年7月から3年間、「ノンフォーマル教育推進プロジェクト（NFPEP）」を実施することを決定した。</p> <p>1-2 協力内容</p> <p>本終了時評価時に成果を一部変更しており、以下は変更後の内容となる。</p> <p>(1) 上位目標</p> <p>パンジャブ州にてノンフォーマル教育のアクセスと質が改善される。</p> <p>(2) プロジェクト目標</p> <p>パンジャブ州にて質の高いノンフォーマル教育を提供する体制が強化される。</p>	

### (3) 成 果

- 成果1 ノンフォーマル初等教育（NFBE）のためのスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールが開発される。
- 成果2 成人識字のためのスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールが開発される。
- 成果3 上記成果を活用してパンジャブ州の州行政官、県行政官及びパイロットプロジェクトの教員が訓練される。

### (4) 投入（評価時点）

#### 1) 日本側：総投入額 1億1,700万円

- a) 日本人長期専門家1名（プロジェクトアドバイザー）
- b) 第三国研修（インドネシア、フィリピン）：参加者8名
- c) カウンターパート（C/P）研修（日本、タイ）：参加者3名
- d) 現地活動費（在外事業強化費）：7,100万円（2011年7月～2014年1月）
  - ①現地傭人費（ローカル専門家3名及びその他事務員等）
  - ②文書・教材開発及び印刷経費
  - ③研修経費
  - ④プロジェクト運営に必要な事務機器

#### 2) 相手国側：

- a) C/P 及びステアリング・コミッティ、テクニカルアドバイザー・グループ、ワーキング・グループのメンバー
- b) 執務室：LNFBED 内に執務室を提供（2013年7月まで。その後安全対策上の理由により借家に執務室を移動。ただし電気代・事務用品費等必要経費の一部は識字局より支出）
- c) 事業運営費：運営費約230万PKR（2011年7月～2013年12月）に加え、LNFBED が運営するプロジェクト経費により、パイロットプロジェクトのモニタリングや一部のセミナー・教員研修経費等も負担
- d) 治安対策：警備員及び警察の配置

## 2. 評価調査団の概要

調査者	団 長：田中 紳一郎（JICA 客員国際協力専門員）	
	評価計画：稲垣 良隆（JICA パキスタン事務所）	
	評価分析：奥川 浩士（株式会社コーエイ総合研究所）	
調査期間	2014年1月12日～2014年1月24日	評価種類：終了時評価

## 3. 評価結果の概要

### 3-1 実績の確認

#### (1) 成果1

NFBE のためのスタンダード、カリキュラム、アセスメント手法／ツールは開発された。教材（パッケージ A）がカリキュラムの確実な実施のために開発されている。パッケージ B 及び C の開発工程には予定より遅れがみられる。さらに、パッケージ A、B、C のフォーマル教育との同等性については、パンジャブ・カリキュラム委員会による承認が得られ

ば確保される予定である。

(2) 成果2

成人識字のためのスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールは開発された。基礎識字プログラムを学び終えた人々が更に継続して教育を受けるための仕組みについては、関係諸機関と協議中である。

(3) 成果3

新しいスタンダード、カリキュラム、アセスメント手法／ツールを運用するために、さまざまなトレーニングが州及び県の職員、並びに教員に対して実施された。政府職員の新規採用の差し止め措置が解除されれば、速やかに県研修員が任命され、訓練を受ける予定である。

(4) プロジェクト目標

十分なプロジェクト期間を確保する措置が取られれば、NFEPF はプロジェクト目標を達成する見込みが高い。パイロット事業により、NFE を提供する体制が強化されつつあることが示されている一方で、上述のとおりパッケージ B、C の教材開発の進捗に、計画と比べて遅れがみられる。また、パッケージ A、B、C のフォーマル教育との同等性については、今後パンジャブ・カリキュラム委員会の承認をもって確保される予定である。

(5) 上位目標

LNFBED は NFBE と成人識字の促進を局の予算により継続しており、2014 年から 2017 年の間に実施される 6 つのプロジェクトでは、プロジェクトの成果を活用し、学齢期の不就学児及び成人非識字者計 157 万人が受益することになっている。本プロジェクトの実施により、LNFBED が新規プロジェクトの承認を受け、さまざまなパートナーと協力するための好条件が整備され、それにより NFE へのアクセスが拡大されてきた。

パイロット事業の結果、NFBE と成人識字のプログラムが質の面でも改善していることが示されている。パイロット事業の対象校における成人識字の学習者は、非対象校より試験の合格率が高く (97.1% 対 89.4%)、それにより、LNFBED が将来にわたり、よりよいサービスを提供する能力を身に付けたといえる。一方、NFBE の生徒の学習成果についてはプロジェクトの残余期間を通じて、パイロット事業で検証する必要がある。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性

妥当性は高い。

2010 年の第 18 次憲法改正により、州政府は基礎教育の提供と非識字の根絶に対する責任を負い、独自のカリキュラムを開発することとなった。ミレニアム開発目標 (MDGs) や万人のための教育 (EFA) といった世界的なイニシアティブに対する国家のコミットメントにより、就学率や識字率の低さなどの課題に取り組む緊急性が増している。さらに、NFEPF は日本のパキスタンに対する国別援助方針にも合致している。

(2) 有効性

有効性は高いと見込まれる。

高い有効性が見込めるものの、すべての投入が行われたときに改めて確認する必要がある、現時点で判断するのは時期尚早である。一方、本プロジェクトを通じてこれまで開発されたスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツール等は、質の高い NFE を提供するのに効果的である。さまざまなレベルのトレーニングが数多く実施され、教員は能力を高め、より学習効果の高まる環境を学習者に提供できるようになった。

本プロジェクトで実施された調査によれば、パイロット校における成人識字の学習者の学習成果は、パイロット校でない学習者と比べて高い。一方、パッケージ A の学習成果は今後測定されることになっており、パッケージ B、C については教材開発が未了である。

### (3) 効率性

効率性は中程度である。

日本側、パキスタン側双方の投入はおおむね適切になされているものの、能力強化プロジェクトのスタッフや県研修職員といった、適切な技術移転に必須の C/P 要員配置については不十分である。計画された活動、特に中間レビューで追加された教材開発（パッケージ B、C）をすべて完了するためには、計画以上のプロジェクト期間が必要である。

### (4) インパクト

インパクトは大きい。

LNFBED の教育提供体制が強化されれば、パンジャブ州における NFE のアクセスと質は改善されることが見込まれる。さらには、開発されたスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールによって、国内及び国際機関、並びに JICA の他案件等、さまざまな開発パートナーが関心を示すようになっており、本プロジェクトの成果は他州や他国まで広がる可能性がある。

### (5) 持続性

持続性は高い。

LNFBED は、本プロジェクトの成果を全州的な実施に移す意思を強く示している。また LNFBED は、プロジェクトの成果を 6 つの継続中及び新規プロジェクトにおいて活用する計画であり、教育を提供するための安定した体制を整備するため、事業形態を期間限定のプロジェクト式から経常的なプログラム式へと移行しようとしている。

## 3-3 効果発現に貢献した要因

- C/P の要員やその他の関係者の間で、アドボカシー・キャンペーン、第三国研修、日常的な共同作業などを通して、プロジェクトの目的やアプローチに対する理解が深まっていった。
- 本プロジェクトの専門家及び C/P は、NFE セクター計画や義務教育法の作成過程に、共同で積極的に関与してきた。その結果、プロジェクト活動の政策への反映や、法的枠組みや政策によるプロジェクト活動への支援といった、プロジェクト目標達成に貢献する要因を生み出すことができた。
- MDGs や EFA といった国際的なイニシアティブに対する政府のコミットメントに基づき、プロジェクトの実施に有利な環境が構築されている。

### 3-4 問題点及び問題を惹起した要因

- ・技術移転を受けるべき C/P の要員にいくつか欠員がみられることにより、円滑なプロジェクトの実施や持続性の確保を妨げている。
- ・パキスタンには、NFE 分野を専門とする人材が限られているため、そうした人材を探し出すのに時間がかかった。

### 3-5 結 論

本プロジェクトは、総合的に判断して成功を収めているといえ、パキスタンパンジャブ州における NFE の質及びアクセス改善に資するものであることが示唆される。

本プロジェクトでは、NFBE や成人識字教育で質の高いサービスを提供するために、スタンダード、カリキュラム、教材及びアセスメント手法／ツールを開発してきた。また、州や県の職員並びに教員に対して研修を行うことにより、幅広い革新的な教育提供モデル（職場やコミュニティ等での教育）を用いて LNFBED が実施している NFBE や成人識字のプロジェクトのなかで、それらの成果を効果的に活用できるようにしている。さらに、パキスタンの開発政策や開発ニーズ、日本の ODA 政策とも整合性が極めて高い。その結果、本プロジェクトは所期の目的を果たし、パンジャブ州の NFE の質とアクセスの向上に寄与する可能性が高いと判断される。

しかしながら、いくつかの C/P 要員の欠員が長く続いており、しかも中間レビューで相当量の活動が加えられたことから、すべての活動を完了するためには、当初計画よりも長い期間が必要である。したがって、本プロジェクトを 2015 年 3 月まで延長することが望ましい。本プロジェクト完了の際には、LNFBED の強いコミットメントに根差した高いレベルの持続可能性が確保されるものと期待される。

### 3-6 提 言

#### (1) 財政的な持続性の確保

LNFBED 及びパンジャブ州政府は以下を実施する。

- ・ NFE への十分な予算の確保
- ・ NFE における個々の活動に割り当てる予算の配分割合についての協議
- ・ NFE 活動に関する予算をプロジェクト予算から経常予算へ移行

#### (2) 自立的な NFE の実施・改善

##### 1) LNFBED は以下を実施する。

- ・教師の能力強化システムを強化するため、能力強化プロジェクト及び県研修職員に関する空席を補填する。
- ・パッケージ B 及び C に関する関連教材の開発及び試行を率先的に実施する。
- ・オペレーションマニュアルをできる限り早急に作成する。
- ・教員やスタッフの研修のための常設的な制度に関するフィージビリティ調査を行う。

##### 2) プロジェクト及び LNFBED はさまざまなステークホルダーヘッドボカシーを行い、協調的な活動の実施を図る。

#### (3) プロジェクト成果品の活用

- ・プロジェクト及び LNFBED は、対象者の必要に応じて、NFBE 及び成人識字教育のカリキュラムを柔軟かつ機動的に運用することを保証する。
- ・LNFBED は、識字証明に関する認証評価システムのフィージビリティ調査を実施する。

#### (4) プロジェクトの延長

- ・ JICA は、残された活動の実施に必要な期間として、9 カ月プロジェクトを延長する。

### 3-7 教訓

#### (1) C/Pにおけるプロジェクト成果の実感の促進

スタンダード、カリキュラム等の成果品を試行的にいくつかの学校等で導入した際（パイロットプロジェクト）、C/P にすべての試行段階に参加するよう促した。このような職場内訓練（OJT）が C/P の意識改革やナレッジの獲得につながっており、能力強化に貢献している。また、C/P は第三国（インドネシア、フィリピン）を訪問することにより、プロジェクト活動に対するモチベーションが向上し、オーナーシップが高まっている。このように、プロジェクト成果を実感できる場を提供することにより、C/P の能力強化を効果的に図ることができる。

#### (2) 多様なステークホルダーとのネットワーク強化

本プロジェクトは、多様なステークホルダーを巻き込んで活動が進められている。ローカルリソースを活用することで、安価でより現場で活用しやすい教材を作成でき、また国際機関との協働により、プロジェクト成果の拡大が促進されている。このように、さまざまなステークホルダーをプロジェクトに巻き込むことは、プロジェクトを効果的かつ効率的に実施するのに有効である。

#### (3) 政策策定への積極的な参加

本プロジェクトは、NFE セクター計画や義務教育法の作成プロセスにおいて、技術的な助言を行う等積極的にかかわってきた。その結果、プロジェクト活動を政策に反映することができ、かつこれら法制度がプロジェクト活動の強力な後ろ盾となっている。このように、政策策定へ積極的にプロジェクトがかかわることにより、プロジェクト活動の円滑な実施に資する環境をつくり上げることができる。

## Summary of Final Evaluation

1 . Outline of the Project	
Country: Pakistan	Project Title: Non-Formal Education Promotion Project
Issue/Sector: Education	Cooperation Scheme: Technical Cooperation
Division in charge: JICA Pakistan Office	Total Cost: 117 million Japanese Yen
Period of Cooperation	July 2011 to June 2014
	Partner Country's Implementing Organization: Literacy and Non-Formal Basic Education Department, Government of Punjab
	Supporting Organization in Japan:  Other related Cooperation: Punjab Literacy Promotion Project Punjab Literacy Promotion Project Phase 2
<p>1 – 1 . Background of the Project</p> <p>In Pakistan, eradication of illiteracy is a priority issue. In Punjab Province, adult literacy rate (10 year old or older) is only about 60% in 2011 (Pakistan Living Standard Measurement: PLSM). To improve this situation, the Punjab Government has established the Literacy and Non-Formal Basic Education Department (LNFBED) in 2002. LNFBED has been providing non-formal education in two approaches, i.e., non-formal basic education (NFBE) for children of the school age of 5 to 14 and adult literacy center for the target age of 15 to 34. JICA implemented Punjab Literacy Promotion Project (PLPP) during the period of 2004 to 2007 and PLPP Phase II from 2007 to 2011 to assist LNFBED in promoting strategic data-oriented management through non-formal education management information system (NFEMIS). NFEMIS has been operational at LNFBED and contributing to improve its institutional capacity to manage the non-formal education services. Meanwhile, in terms of quality, there were many challenges still remaining; NFBE has neither customized curriculum nor standards. No assessment methods/tools to monitor the quality of education and thus no formal accreditation system. Taking these situations into account, in 2010, LNFBED requested for further assistance in improving the quality of non-formal education, and based on mutual agreement between the government of Pakistan and Japan, Non-Formal Education Promotion Project (the Project) was started in 2011.</p>	
<p>1 – 2 . Project Overview</p> <p>( 1 ) Overall Goal</p> <p>Access and quality of Non Formal Education (NFE) are improved in Punjab.</p> <p>( 2 ) Project Purpose</p> <p>System for Quality Non Formal Education delivery is strengthened in Punjab</p> <p>( 3 ) Outputs</p> <p>Output 1: Standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools for Non Formal Basic Education (NFBE) are developed.</p> <p>Output 2: Standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools for Adult Literacy are developed.</p> <p>Output 3: Provincial officers, District officers (Executive District Officers, District Literacy Officers, Literacy</p>	



Mobilizers, etc.) in Punjab Province and teachers in pilot projects are trained for newly developed outputs above.

( 4 ) Inputs

Japanese side:

- Long-term expert (Project Advisor)
- Study visit to third countries (Indonesia and the Philippines): 8 participants
- Training for counterpart personnel (Japan and Thailand): 3 participants
- Local costs: 71 million Japanese Yen

1 ) Personnel assignment (3 technical staff and other supporting staff)

2 ) Development and printing of documents and materials

3 ) Training

4 ) Office equipment

Pakistani side:

- Counterpart personnel and the members of Steering Committee, Technical Advisory Group and Working Groups
- Office space for the project staff in the building of LNFBED
- Running expenses: 2.3 million Pakistan Rupees (as of December 2013) and monitoring and training costs for the pilot activities from the budget of different projects
- Security arrangements

2 . Evaluation Team

Members	Team Leader: Shinichiro Tanaka (Senior Advisor, JICA) Evaluation Planning: Yoshitaka Inagaki (Representative, JICA Pakistan Office) Evaluation and Analysis: Hiroshi Okukawa (Assistant General Manager, KRI International Corporation)	
Evaluation Period	January 12 to January 24 2014	Type or Evaluation: Terminal Evaluation

3 . Result of Evaluation

3 – 1 . Project Performance

( 1 ) Output 1

Standards, curricula and assessment methods/tools for NFBE have been developed. Teaching and learning materials (Package A) are being developed for sound implementation of the curricula. Development processes of Package B and C are behind schedule. Yet equivalency of Package A, B and C to formal education shall be assured by further approval of Punjab Curriculum Authority.

( 2 ) Output 2

Standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools for adult literacy have been developed. Bridging mechanism to further education for those who complete the basic literacy program is being discussed with relevant institutions.

### ( 3 ) Output 3

A wide range of training programs have been provided for provincial and district officers and teachers for the proper implementation of the new standards, curricula and assessment methods/tools. Soon after lifting of ban on recruitment, District Training Officers will be appointed and trained.

### ( 4 ) Project Purpose

There is a high probability for the Project to achieve its Purpose if necessary measures are taken to provide a sufficient project period. While results of pilot activities prove that the NFE delivery system is being strengthened, as stated above, progress of material development of Package B and C are behind schedule. It is indispensable for the Project to produce all the intended Outputs.

### ( 4 ) Overall Goal

Overall Goal is likely to be achieved.

LNFBED continues to promote NFBE and Adult Literacy with its departmental budget, and there has been six projects to cater to in total of 1,570 thousand school-aged and adult illiterate population during 2014-17, utilizing the outputs of the Project. The Project has created favorable conditions for LNFBED to receive approval for new projects and collaboration with different partners, to allow greater access to NFE.

Results of pilot activities indicate that NFBE and Adult Literacy program are improved quality-wise too; Adult Literacy students of the pilot schools gained a better pass rate (89.4% to 97.1%) which indicates LNFBED has been equipped with a capacity to deliver a better service in the future. Meanwhile, learning outcomes of NFBE students (pilot) is yet to be verified during the remaining period of the Project.

## 3 – 2 . Summary of Evaluation Results

### ( 1 ) Relevance: High

After the 18th amendment to the Constitution in 2010, the provincial government is given responsibility to provide basic education and eradicate illiteracy by developing its own curricula. The State's commitment to international initiatives including MDGs and EFA urges to address the issues of low enrolment and literacy rates. The Project is also aligned with Japan's Country Assistance Policy for Pakistan.

### ( 2 ) Effectiveness: Promising

Effectiveness is promising while it is too early to judge because further verification is needed once all the Outputs are produced. While, standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools, etc. developed through the Project are effective to provide quality NFE. Through numerous training at different levels, teachers are well equipped to provide a better, more conducive learning environment for the learners. According to a survey conducted by the Project, learning results of adult literacy learners at pilot centers are better than those of non pilot. Meanwhile learning outcome of learners of Package A is yet to be measured soon and learning materials of Package B and C are yet to be developed.

### ( 3 ) Efficiency: Fair

Inputs have been appropriately provided by Japanese and Pakistani sides except for the appointment of insufficient counterpart personnel such as Capacity Building Project staff and District Training Officers crucial for proper technical transfer. A longer project period is required to accomplish all planned activities, particularly teaching-learning material development added through the mid-term review (Package B and C).

#### (4) Impact: High

Strengthened delivery system of LNFBED will certainly improve access to and quality of NFE in Punjab. Moreover, the developed standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools attract different development partners, including national and international organizations and JICA's other projects, through which the project outcome may expand to other provinces and countries.

#### (5) Sustainability: High

LNFBED's strong commitment to the full implementation of the project outcome allows positive expectation for sustainability. Currently, LNFBED plans to utilize the project Outputs in six new and on-going projects, and further, is seeking a change of its operation mode from time-bound project to permanent program to create a stable infrastructure for education provision. Enhanced political support for and improved financial circumstances of LNFBED are also a good sign for sustainability.

#### 3 – 3 . Factors that have promoted project

Understanding of the project purpose and approach has been deepened among counterpart personnel and other stakeholders through advocacy campaign, study visit to third countries and daily joint work. A good rapport between project staff and their partners has contributed to the efficient implementation. A conducive environment has been created based on the government's commitment to international initiatives. Innovative delivery models of LNFBED are highlighted as a mechanism to strengthen the system of quality non formal education delivery.

#### 3 – 4 . Factors that have inhibited project

Vacancy of some counterpart personnel who are supposed to receive technical transfer has hindered smooth project implementation and assurance of sustainability. Limited human resources specialized in NFE subsector in Pakistan necessitated a certain length of time to reach them.

#### 3 – 5 . Conclusion

Overall, the Project has been successful and is expected to contribute to improving access and quality of NFE in Punjab.

NFEPP has been developing standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools which are effective to provide quality NFBE and adult literacy services. It also has provided training for provincial and district officers and teachers to be able to utilize the Outputs effectively through a variety of NFBE and Adult Literacy projects that LNFBED carries out with a range of innovative delivery models (workplace, community, etc). It also has a great deal of relevancy to the policy and needs of Pakistan and to Japan's ODA policy. Consequently, the project is likely to achieve its purpose and improve access to and quality of NFE in Punjab.

However, because of the prolonged absence of some counterpart personnel and the significant volume of activities added by the mid-term review, a longer period of time than originally planned is required to accomplish all activities. It is therefore suggested to extend NFEPP until March 2015. Once the project is thoroughly accomplished, a high level of sustainability will be ensured on the basis of the strong commitment of LNFBED

### 3 – 6 . Recommendations

#### ( 1 ) For financial sustainability

- LNFBED and the Government of Punjab to
  - Spare adequate budget for NFE even after completion of NFEPP
  - Discuss appropriate mix of budget allocation (e.g. increase number of schools vs. provide better textbooks, other materials, and teachers training)
  - Shift NFE activities from project mode to permanent program mode

#### ( 2 ) To foster readiness to take over the Project activities

- LNFBED to
  - Fulfill the vacant posts of Capacity Building Project and District Training Officers to strengthen capacity development system for teachers
  - Take the lead in developing and piloting package B and C
  - Develop the Operation Manual as soon as it can to guide its future timeline and demarcation of stakeholders for their operation, including revision of NFE standards, curriculum, assessment and related materials
  - Conduct a feasibility study on a permanent mechanism for teachers and staff training
- NFEPP and LNFBED to advocate various stakeholders for possible collaboration, including
  - Department in charge of school education, health, agriculture, industry, environment, social welfare, woman development, disaster management, labor, etc.
  - Government of other provinces
  - Civil society, private sector
  - National organizations such as National Education Foundation, National Commission for Human Development, etc.
  - International development partners

#### ( 3 ) Utilization of the Project Outputs

- NFEPP and LNFBED to ensure flexible and maneuverable application of the curriculum of NFBE and Adult Literacy according to requirement of target groups.
- LNFBED with support from NFEPP to conduct feasibility study for accreditation system for literacy certification

#### ( 4 ) Extension of the project period

- JICA to extend NFEPP's period for nine months, to accommodate time required to develop materials and carry out piloting related to Package B and C.

### 3 – 7 . Lesson Learned

#### ( 1 ) Hands-on and participatory capacity development for the counterpart personnel

The project has been implemented in a participatory manner with the counterpart personnel. For example,

- Pilot Project: Standards, Curricula, Learning materials, and Assessment have been piloted to examine their appropriateness to meet the needs of learners and improve learning situation and outputs. Counterparts have been involved in every step of the process of piloting and its OJT process to enhance

their capacities at provincial, district and center/school levels.

- Study Visit: Study visit to Indonesia and the Philippines was effective to stimulate motivation and foster sense of ownership of the counterpart personnel. At the beginning of the Project, majority of counterpart personnel were uncertain if it is possible to materialize the concept of NFBE and Adult Literacy Program that are equivalent to formal education. The visit dispelled the impression as it demonstrated existing practices in developing countries with some commonalities, and boosted their can-do spirits.

( 2 ) Network and linkage with various stakeholders

In this project, a lot of stakeholders have been involved such as former Curriculum Wing of the Ministry of Education, Planning and Development Department, School Education Department, Punjab Examination Commission, Punjab Vocational Training Council, UNESCO, NGOs, etc. It is observed that the utilization of local resources contributes to making more applicable output such as assessment tool and learning materials at less cost, and that the involvement of counterparts contributes to developing their ownership. Collaboration with international organizations is promoting the expansion of project output. Thus, involving many stakeholders can make a potential to increase effectiveness and efficiency of projects.

( 3 ) Policy dialogue facilitating conducive environment for project

The project personnel (counterpart and JICA expert) have been proactively involved in the development process of the NFE Sectoral Plan and Compulsory Education Act, to provide technical input. It eventually helped to reflect project activities to the policy and in turn the policy has become a powerful supporter of NFEPP contributing to generate a conducive environment.

# 第1章 評価調査の概要

## 1-1 背景と目的

パキスタン・イスラム共和国（以下、「パキスタン」と記す）の識字率は54.9%と低い。女性に限定すると40.3%と更に低くなる。この数値は識字率が低いとされる南アジアにおいても、バングラデシュ、ネパールと並び最低レベルである。

国内最大の人口を抱えるパンジャブ州では、2002年に識字・ノンフォーマル初等教育局（識字局）（Literacy and Non-Formal Basic Education Department : LNFBED）を設立し、2019年に識字率100%を達成すべくノンフォーマル教育（Non Formal Education : NFE）を展開している。LNFBEDは2通りのアプローチでNFEを展開している。1つ目のアプローチは15～34歳を対象とした6カ月間の成人識字教室で、2つ目のアプローチは5～14歳の学齢期の子どもを対象とした3年4カ月のノンフォーマル初等教育校である。

LNFBEDは2004年7月から2011年2月にかけてJICAのパンジャブ州識字行政改善プロジェクト（PLPP）及びそのフェーズ2の支援を受けながら、ノンフォーマル教育マネジメント情報システム（NFEMIS）を活用したデータに基づく識字行政マネジメントを促進してきた。同フェーズ2の終了時においては、NFEの質的な改善が必要であるとも結論づけられている。

同結論を受け、2010年8月にLNFBEDは、ノンフォーマル初等教育（NFBE）と成人識字教育のスタンダード、カリキュラム、アセスメント手法の開発を通じたNFEの質の改善に焦点を当てた技術協力プロジェクトを要請した。同要請に基づき、JICAは2011年7月から3年間の予定で、「ノンフォーマル教育推進プロジェクト（NFEPP）」を実施してきている。

今般、2014年6月に終了が予定されているため、以下の目的にて終了時評価調査を実施した。

- ・これまで実施した協力活動全般について、プロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix : PDM）に照らし、計画達成度（投入実績、活動実績、プロジェクト成果の達成状況）を把握する。
- ・JICA事業評価ガイドラインに沿って評価5項目の観点からプロジェクトを評価する。
- ・日本側（もしくはプロジェクト側）及びパキスタン側の今後の対応に関して提言する。
- ・評価結果から他のプロジェクトの形成、運営、評価等の参考となる教訓を導き出す。

## 1-2 調査団の構成

担当	氏名	所属
団長	田中 紳一郎	JICA 国際協力専門員（教育）
調査企画	稲垣 良隆	JICA パキスタン事務所 所員
評価分析	奥川 浩士	株式会社コーエイ総合研究所教育・産業人材開発室 課長

### 1-3 調査日程

2014年	曜日	内容
1月12日	日	ラホール着（奥川団員）
13日	月	プロジェクトへのインタビュー LNFBED へのインタビュー
14日	火	ナンカナ州プロジェクトサイト訪問、関係者インタビュー
15日	水	オカラ州プロジェクトサイト訪問、関係者インタビュー
16日	木	プロジェクト関係者（カリキュラム、アセスメント、教材開発担当）へのインタビュー プロジェクトダイレクターへのインタビュー 能力強化プロジェクト関係者へのインタビュー
17日	金	パンジャブ州職業訓練カウンシルへのインタビュー パンジャブ州試験委員会へのインタビュー
18日	土	資料整理・作成
19日	日	資料整理・作成、ラホール着（田中団長、稲垣団員）
20日	月	カネワル州プロジェクトサイト訪問、関係者インタビュー ムルタンへ移動
21日	火	ムルタンプロジェクトサイト訪問、関係者インタビュー ラホールへ移動
22日	水	LNFBED とのミニッツ（M/M）協議 パンジャブ州計画開発局との M/M 協議
23日	木	合同調整委員会（JCC）の開催（PDM 修正の承認） M/M 署名 イスラマバードへ移動
24日	金	JICA パキスタン事務所へ報告 在パキスタン日本大使館表敬訪問 バンコクへ移動

### 1-4 主要面談者

#### 【LNFBED】

- ・ Dr. Pervez Ahmed Khan, Secretary
- ・ Nadeem Alam Butt, Additional Secretary
- ・ Barak Ullah, Deputy Secretary (Planning)
- ・ Kalsoom Saqib, Deputy Secretary (Admin) /Project Director, Capacity Building Project
- ・ Rai Faisal Raza, Deputy Director (Human Resource Development), Capacity Building Project
- ・ Muhammad Ilyas, Deputy Director (Management Information System), Capacity Building Project
- ・ Amber Shahzadi, Assistant Director (Monitoring), Capacity Building Project
- ・ Muhammad Usman, Project Director, Punjab Accelerated Functional Literacy and NFBE Project
- ・ Hafiz Muhammad Younus, Director (Operation)

- Muhammad Zubair Sahi, Deputy Director
- Sajjad Ahmad Saqib, Project Director, Campaign for Enhancement of Literacy in Four Districts of Punjab

**【Technical Advisory Group】**

- Aurangzeb Rahman, Joint Educational Advisor, Federal Ministry of Education
- Dr. Syed Tajamal Hussain, Deputy educational Advisor, Federal Ministry of Capital Administration and Development
- Chiragh Din Arif, Director, Punjab Text Book Board
- Syed Wasim Haider Shirazi, District Education Officer, Sheikhpura
- Nadia Malik, National Education Foundation

**【Dhaka Ahsania Mission Pakistan】**

- Shakeel Akash, Project Manager

**【Punjab Vocational Training Council】**

- Faisal Ijaz Khan, Chairman
- Sajid Naseer Khan, Managing Director

**【Punjab Examination Commission】**

- Nasir Iqbal Malik, Chief Executive Officer
- Dr. Bashir Gondal, Senior Research Fellow

**【Punjab Curriculum Authority】**

- Saleem Akhtar Kayani, Chairperson
- Aman Riaz, Director (Technical)
- Karakm Hussain, Deputy Director

**【在パキスタン日本大使館】**

- 鴨志田 尚昭 参事官
- 黒田 裕一 一等書記官

**【JICA パキスタン事務所】**

- 河崎 充良 所長
- 高城 元生 次長



## 第2章 評価の方法

### 2-1 評価の基準及びPDM

調査団は、2011年7月のノンフォーマル教育推進プロジェクト（NFPEP）（以下、本プロジェクト）開始当初から終了時評価時点までのプロジェクトの実績と実施プロセスを把握したうえで、評価5項目の観点から評価した。2014年2月23日に合同調整委員会（Joint Coordination Committee：JCC）を開催し、現行PDMを軽微に改訂したPDM（第3版）に基づき本終了時評価調査を行うことが合意された。終了時評価前のPDM（第2版）からの変更点及び変更理由は表2-1に示すとおりである。

表2-1 PDMの変更点と変更理由

変更項目	改訂前 (Ver. 2)	改訂後 (Ver. 3)	変更理由
上位目標の指標	<p>2. パンジャブ州において、開発されたスタンダード、カリキュラム、アセスメント手法／ツールを採用しているセンター／学校の80%で、開発されたスタンダードに基づき、環境、教員、学習が向上する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 学習者スタンダード</li> <li>- 教員スタンダード</li> <li>- 教育環境スタンダード</li> </ul> <p>3. パンジャブ州においてNFBE<sup>1</sup>及び成人識字コースを修了した学習者が増加する（NFBE：xx、成人識字：xx）。</p>	<p>2. 識字局（LNFBED）のプロジェクトにおけるNFBE及び成人識字コースの学習者数</p>	<p>開発されたスタンダード、カリキュラム、教材及びアセスメント手法／ツールが適切に運用されれば、環境、教員、学習が向上することが本プロジェクトのパイロット事業を通じて確認された（成人識字コース）<sup>2</sup>。よって、スタンダード等が適用されるセンター／学校の数を、質の改善の代替指標として扱うことが可能である。</p>
成果（アウトプット）	<p>1. ノンフォーマル初等教育（NFBE）のためのスタンダード、カリキュラム、アセスメント手法／ツールが開発される。</p> <p>2. 成人識字教育のためのスタンダード、カリキュラム、アセスメント手法／ツールが開発される。</p>	<p>1. ノンフォーマル初等教育（NFBE）のためのスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールが開発される。</p> <p>2. 成人識字教育のためのスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールが開発される。</p>	<p>中間レビューを通じて活動に加えられた教材開発は成果の重要な部分を占めており、成果としても明示した方が望ましい。</p>
成果の指標		<p>1.6 NFBE用の教材が承認される。</p> <p>2.6 成人識字用の教材が承認される。</p>	<p>成果に教材開発が含まれれば、指標にも同様に記載されるべきである。</p>

<sup>1</sup> NFBE (Non-Formal Basic Education)：ノンフォーマル初等教育

<sup>2</sup> 残りプロジェクト期間中において、NFBEについても同様の影響評価がなされる予定である。

活 動	<p>1.4 NFBEに関する学習スタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールを開発する。</p> <p>2.4 成人識字教育に関する学習スタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールを開発する。</p> <p>3.12 LNFBED が定期的に研修を実施することができるよう、研修オペレーションマニュアルを開発する。</p>	<p>1.4 NFBE の学習スタンダード、カリキュラム、教員用・学習者用教材及び学習アセスメント手法／ツールを開発する。</p> <p>2.4 NFBE の学習スタンダード、カリキュラム、教員用・学習者用教材及び学習アセスメント手法／ツールを開発する。</p> <p>3.12 LNFBED がスタンダード、カリキュラム、教材、学習アセスメント手法／ツールを継続的に開発、改訂、実施できるよう、オペレーションマニュアルを開発する。</p>	<p>活動の明確化のため。</p> <p>活動の明確化のため。</p> <p>オペレーションマニュアルは研修用だけではなく、本プロジェクトに関係する業務の実施要領について幅広く収めたものとなる。</p>
-----	--	--	---

出典：終了時評価に係るミニッツ（M/M）の Annex 4（2014年1月23日）

なお、PDM に数値目標としては記載されていないが、上位目標の指標である「1. パンジャブ州において、開発されたスタンダード、カリキュラム、アセスメント手法／ツールを採用しているセンター／学校の数」（PDM Ver. 2 から変更なし）、と「2. 識字局のプロジェクトにおける NFBE 及び成人識字コースの学習者数」（PDM Ver. 3 にて設定）の到達度の目安として、LNFBED が現在実施中のプロジェクト、並びに今後実施予定のプロジェクトにおける、センター／学校数、学習者数をそれぞれ言及する。すなわち LNFBED は、現行及び新規プロジェクト 6 件を通じ、1 万 5,899 センター／校（うち NFBE 7,369 校、成人識字 8,530 センター）で、157 万 265 人の学習者（うち NFBE 24 万 6,300 人、成人識字 132 万 3,956 人）への学習機会提供を計画している（詳細は、次章「3-2-3 上位目標」を参照）。6 つのプロジェクトがすべて終了するのは 2017 年 6 月の予定であり、それまでに上記が計画どおり実施されたか否かを、上位目標の達成度を判断する際の一定の目安とすることが可能である。

PDM 変更後のプロジェクトの概要は次のとおりである。

プロジェクト名	パキスタン・イスラム共和国 ノンフォーマル教育推進プロジェクト
協力期間	2011 年 7 月～2014 年 6 月
パキスタン側実施機関	パンジャブ州識字・ノンフォーマル初等教育局（LNFBED）
上位目標	パンジャブ州にてノンフォーマル教育のアクセスと質が改善される。
プロジェクト目標	パンジャブ州にて質の高いノンフォーマル教育を提供する体制が強化される。
成 果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ノンフォーマル初等教育（NFBE）のためのスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールが開発される。</li> <li>2. 成人識字のためのスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールが開発される。</li> <li>3. 上記成果を活用してパンジャブ州の州行政官、県行政官及びパイロットプロジェクトの教員が訓練される。</li> </ol>

プロジェクトの評価にあたっては、以下に説明する5項目の評価基準に基づいて分析・評価した。

表2-2 評価5項目による評価の視点

妥当性 (relevance)	プロジェクト実施の正当性、必要性を問う項目。 必要性（対象地域・社会のニーズ、ターゲットグループのニーズへの合致）、優先度（相手国の開発政策との整合性、日本の援助政策との整合性）、手段としての適切性（プロジェクト・デザインの適切性）の観点から検証する。また、中間レビュー調査以降、プロジェクトを取りまく環境に変化がないかを確認する。
有効性 (effectiveness)	プロジェクトの効果を問う項目。 プロジェクト目標の達成予測、成果とプロジェクト目標との因果関係（成果はプロジェクト目標を達成するために十分あるか、外部条件は評価時点においても正しいか）の観点から検証する。
効率性 (efficiency)	プロジェクトの効率性を問う項目。 成果の達成度、活動・投入と成果との因果関係（活動・投入は成果を産出するために十分だったか、外部条件は評価時点においても正しいか）、投入のタイミング、コストの観点から検証する。
インパクト (impact)	プロジェクトの長期的、波及的効果を問う項目。 上位目標の達成予測（上位目標はプロジェクトの効果として発現が見込まれるか）、プロジェクト目標と上位目標との因果関係（上位目標とプロジェクト目標は乖離していないか、外部条件は評価時点においても正しいか）、波及効果（予期しなかったプラス・マイナスの影響も含む）の観点から検証する。
持続性 (sustainability)	JICAの協力終了後の持続性を問う項目。 政策・制度面（政策支援は協力終了後も継続するか、協力終了後の広がり支援する取り組みが担保されているか）、組織・財政面（組織能力、実施機関のオーナーシップ、予算措置は十分か）、技術面（技術移転の手法は受容されつつあるか、普及のメカニズムはプロジェクトに取り込まれているか、実施機関が普及のメカニズムを維持できる可能性はどの程度あるのか）などの観点から検証する。

出典：「JICA事業評価ガイドライン改訂版、2004年3月」、表2-2-1及び表3-2-5を参考に作成。

## 2-2 評価設問

プロジェクトの実績、実施プロセス、5項目評価について、PDMに基づき評価グリッドを作成し、グリッドに沿って資料収集及び関係者へのインタビュー等を行い、収集情報を分析した（付属資料1. ミニッツ（M/M）のAnnex2評価グリッド参照）。

表2-3 評価設問一覧

評価項目	評価設問（大項目）
プロジェクトの実績	
投入	日本側からの投入は計画どおり行われてきたか。
	パキスタン側からの投入は計画どおり行われてきたか。
成果（アウトプット）	プロジェクトの成果（アウトプット）は計画どおり産出されているか、またプロジェクト完了時に計画された成果を産出することはできそうか。
プロジェクト目標	質の高いノンフォーマル教育を提供する体制は強化されたか。

上位目標	パンジャブ州にてノンフォーマル教育のアクセスと質が改善される見込みはどの程度か。
実施プロセス	
進 捗	活動は計画どおりに実行されてきたか。
	プロジェクト実施に影響を与えた正負の要因は何か。
マネジメント	プロジェクトは適切に運営されてきたか。
オーナーシップ	パキスタン側のプロジェクトへの関与の度合いはどの程度か。
中間レビューの提言	中間レビューにおいてなされた提言に対し、適切な対応がとられてきたか。
5 項目評価	
妥当性	プロジェクトは対象地域、対象社会、対象者の需要に適ったものであるか。
	プロジェクトは政策の最優先事項と一致しているか。
	特定された需要に応える手段として、プロジェクトは適切に策定されたか。
	中間レビューの後、プロジェクトを取り巻く政治的、経済的、社会的環境に変化はあったか。
有効性	プロジェクト目標はプロジェクト完了までに達成できそうか。
	プロジェクト目標を達成するために必要な要素は何か。
効率性	成果は計画どおり、生み出されているか。
	成果を生み出している要素は何か。
	インプットは成果を生み出すのに適切か。
インパクト	上位目標はプロジェクト完了後、3年以内に達成できそうか。
	上位目標を達成するために必要な要素は何か。
	上位目標以外に、予想されていなかった正負のインパクトはあるか。
持続性	政治的・制度的持続性は確保されているか。
	組織的・資金的持続性は確保されているか。
	技術的持続性は確保されているか。
	プロジェクトの持続性に関して全体的にどのように予測されるか。

出典：評価グリッド

### 2-3 データ収集方法

評価に必要なデータは、評価グリッドに基づき、文献調査、質問票の送付、関係者へのインタビューを通じて収集した。調査した文献には、半期ごとの事業進捗報告書、中間レビュー調査報告書、プロジェクトの活動を通じて作成された教材等の印刷物、プロジェクト中で実施された調査（ベースライン調査やパイロット事業のレビュー等）の報告書、関係する行政機関の計画文書、プロジェクト事務所から提供された現況に係る資料等が含まれる（付属資料2.「収集資料一覧」参照）。活動実績資料に加え、調査を実施して必要な情報を収集した。

質問票については、プロジェクトチーム（日本人専門家及びローカル専門家）、LNFBD の能力強化プロジェクト、NFBE 及び成人識字教育を実施するその他4つのLNFBD プロジェクトに宛てて、質問事項の一覧を送付した。能力強化プロジェクトからは文書による回答も得たが、質問票送付の主要な目的は、インタビューを円滑に進めるためであり、記載された質問項目に沿っ

て口頭での回答を得た。インタビューの対象者は、日本人専門家、ローカル専門家、LNFBED 職員、その他関係機関職員（職業訓練機関やカリキュラム等の開発・承認に関与した機関）、NFBE 学校及び成人識字センター（Adult Literacy Center : ALC）の教員及びそれらを支える村落教育委員会のメンバー等である。

#### 2-4 評価結果の合意

調査団は、2014年1月22日にLNFBEDに評価結果を報告し、その内容について協議した。また協議結果を踏まえた評価結果は、翌23日にJCCに報告され、必要な修正を加えたうえで了承された。終了時評価の調査結果はM/Mに取りまとめられ署名された。

## 第3章 プロジェクトの実績と実施プロセス

### 3-1 投入

#### 3-1-1 日本側

- ①日本人長期専門家1名（プロジェクトアドバイザー）
- ②第三国研修（インドネシア、フィリピン）：参加者8名
- ③国別研修（日本、タイ）：参加者3名
- ④現地活動費（在外事業強化費）：7,100万円（2011年7月～2014年1月）
  - 現地備人費（ローカル専門家3名及びその他事務員等）
  - 文書・教材開発及び印刷経費
  - 研修経費
  - プロジェクト運営に必要な事務機器

#### 3-1-2 パキスタン側

- ①カウンターパート（C/P）及びステアリング・コミッティ、テクニカルアドバイザー・グループ、ワーキング・グループのメンバー
- ②執務室：LNFBED内に執務室を提供（2013年7月まで。その後安全対策上の理由により借家に執務室を移動。ただし電気代・事務用品費等必要経費の一部はLNFBEDより支出）
- ③事業運営費：運営費約230万PKR<sup>3</sup>（2011年7月～2013年12月）に加え、LNFBEDが運営するプロジェクト経費により、パイロットプロジェクトのモニタリングや一部のセミナー・教員研修経費等も負担
- ④治安対策：警備員及び警察の配置

### 3-2 実績

#### 3-2-1 成果

【成果1】「ノンフォーマル初等教育（NFBE）のためのスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールが開発される」

ノンフォーマル初等教育（NFBE）のためのスタンダード、カリキュラム、アセスメント手法／ツールは開発された。教材（パッケージA）は作成のうえ、現在パイロットプロジェクトで検証されている。パッケージB及びCの教材に関する開発工程には予定より遅れがみられる。さらに、パッケージA、B、Cのフォーマル教育との同等性については、パンジャブ・カリキュラム委員会よりこれらカリキュラムの承認を得る必要がある。

指 標	実 績
1.1 フォーマル教育との同等性を確保したNFBE（パッケージA、B、C）の学習スタンダードが承認される。	NFBEの学習スタンダードは、2013年1月9日に、パンジャブ州長官（Chief Secretary）によって設置されたステアリング・コミッティによって承認された。フォーマル教育とNFBEとの同等性については、2012年9月に法律により設立されたパンジャブ・カリキュラム委員会によって検証される。

<sup>3</sup> 1PKRは約0.98円（2014年1月時点）。

1.2 NFBE (パッケージ A、B、C) のカリキュラムが承認される。	NFBE (パッケージ A、B、C) のカリキュラムは、2013 年 1 月 9 日にステアリング・コミティにより承認された。パンジャブ・カリキュラム委員会の審査を経ることで、更に公式なものとなる予定である。
1.3 NFBE (パッケージ A、B、C) のアセスメント手法／ツールが承認される。	NFBE (パッケージ A、B、C) のアセスメント手法／ツールは、開発されパイロットプロジェクト対象校と小学校で試行された。2014 年 5 月の次回ステアリング・コミティで承認される予定である。
1.4 NFBE 教員スタンダードが承認される。	NFBE 教員スタンダードは、2013 年 1 月 9 日にステアリング・コミティにより承認された。
1.5 NFBE 学校の環境スタンダードが承認される。	NFBE 学校の環境スタンダードは、2013 年 1 月 9 日にステアリング・コミティにより承認された。
1.6 NFBE 用の教材が承認される。	パッケージ A の教材は作成され、2013 年 10 月～2014 年 4 月のパイロットプロジェクトで試用されている。今後フィードバックを基に改訂・最終化が行われる。パッケージ B、C は 2014 年 5 月からのパイロットプロジェクト実施をめざし開発中である。

#### BOX-1 ノンフォーマル初等教育について

フォーマル教育、すなわち学校教育の初等段階は小学校で実施され、パキスタンでは 5 年間の課程である。憲法は 5 歳から 16 歳までのすべての児童に無償の義務教育を提供すると定めているが、実際にはパキスタンの初等教育純就学率は 56%にとどまっており (2010/11 年<sup>4</sup>)、多くの子どもたちが学習機会を得られていない。ノンフォーマル初等教育 (Non-Formal Basic Education : NFBE) は、そうした不就学児童を対象に初等教育と同等の教育機会を与えようとするもので、パンジャブ州では識字局 (LNFBED) がその実施責任を負っている。フォーマルな初等教育が 5 年間の課程であるのに対し、NFBE は 40 カ月 (3 年半) の課程である。本プロジェクトでは、そこで用いられるカリキュラムを 5 つの学年ではなく、3 つのパッケージに分けて構成することとした (パッケージ A、B、C)。各パッケージと学年との対応は次のとおりである。

パッケージ A : 就学前教育 (*katchi*) ～小学 1 年相当

パッケージ B : 小学 2 ～ 3 年相当

パッケージ C : 小学 4 ～ 5 年相当

フォーマル教育と NFBE との間の「同等性 (equivalency)」とは、全く同じ内容を同じ方法で学ぶということではなく、いずれの課程でも修了すれば同じ学力を具えていると判断されるということである。本プロジェクトでは、フォーマル教育のカリキュラムを検証して重複や過剰部分を除くとともに「統合的アプローチ」を採用し、子どもの学習到達度を下げずに短時間で学習できるカリキュラムを開発した。統合的アプローチによって、パッケージ A 及び B では、教科ごとではなく、言葉を学びながら自然科学や社会科学の知識も並行して学べる教材が作成されている (教科書はウルドゥー語 [総合]、算数、英語の 3 冊)。

#### 【成果 2】「成人識字のためのスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールが開発される」

成人識字のためのスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法・ツールは開発された。成人識字プログラムを学び終えた人々が更に継続して教育を受けるための接続

<sup>4</sup> Pakistan Social And Living Standards Measurement Survey (PSLM) 2010-11

(Bridging) の仕組みについては、関係諸機関〔パンジャブ・カリキュラム委員会、技術教育・職業訓練庁 (Technical Education and Vocational Training Authority : TEVTA)、パンジャブ州職業訓練カウンシル (Punjab Vocational Training Council : PVTC)、アラマイクバル放送大学等〕と協議中である。

指 標	実 績
2.1 フォーマル教育との同等性を確保し技術教育／職業訓練につながる成人識字教育の学習スタンダードが承認される。	成人識字教育の学習スタンダードは、2013年1月9日にステアリング・コミッティにより承認された。フォーマル教育との同等性は、パンジャブ・カリキュラム委員会で検証中である。技術教育・職業訓練への接続については、関係諸機関 (TEVTA、PVTC、アラマイクバル放送大学等) と協議中である。
2.2 成人識字教育のカリキュラムが承認される。	成人識字教育のカリキュラムは、2013年1月9日にステアリング・コミッティにより承認された。パンジャブ・カリキュラム委員会の審査を経ることで、更に公式なものとなる予定である。一方で、6カ月の総合的なプログラムとして承認された場合にも、カリキュラムの柔軟かつ機動的な運用が保証されることが肝要であると認識されている。
2.3 成人識字教育のアセスメント手法／ツールが承認される。	成人識字教育のアセスメント手法／ツールは、作成のうえパイロットプロジェクトで検証された。2014年5月の次回ステアリング・コミッティで承認される予定である。
2.4 成人識字教育教員スタンダードが承認される。	成人識字教育の教員スタンダードは、2013年1月9日にステアリング・コミッティにより承認された。
2.5 成人識字センターの環境スタンダードが承認される。	成人識字センター (ALC) の環境スタンダードは、2013年1月9日にステアリング・コミッティにより承認された。
2.6 成人識字用の教材が承認される。	成人識字用の教材は開発され、2013年3月～11月のパイロットプロジェクトで試用された。現在、カリキュラムと共にパンジャブ・カリキュラム委員会にて審査されており、2014年3月15日までは承認される予定である。

**【成果3】「上記成果を活用してパンジャブ州の州行政官、県行政官及びパイロットプロジェクトの教員が訓練される」**

新しいスタンダード、カリキュラム、アセスメント手法／ツールを適切に運用するために、さまざまなトレーニングが州及び県の職員、並びに教員に対して実施された。政府職員の新規採用の差し止め措置<sup>5</sup>が解除されれば、速やかに県研修員が任命され、訓練を受ける予定である。

<sup>5</sup> 2013年5月の総選挙に伴い、公務員ポストの斡旋による利益誘導を防ぐため、2012年11月から公務員の新規採用の禁止措置が採られた。総選挙終了後も、その後地方選挙が開催予定であったため、公務員採用禁止措置は継続された。終了時評価調査期間中に、禁止措置が解除されたとの新聞報道があったが公式な通知は未確認である。



指 標	実 績
3.1 以下のものを含む研修モジュール <sup>6</sup> が開発される。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・NFBE 教員向け</li> <li>・成人識字教育教員向け</li> <li>・県行政官 (Executive District Officer : EDO)、 県識字官 (District Literacy Officer : DLO)、 識字モービライザー向け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- NFBE パッケージ A の教員用研修モジュール並びに教員用ガイドが開発され、パイロットプロジェクトで使用された。研修モジュールは、2014 年 4 月までに最終化され印刷される見込みである。</li> <li>- NFBE パッケージ B 及び C の教員用研修モジュール並びに教員用ガイドは、開発、パイロットプロジェクトでの試用を経て、最終化、印刷される。しかしながら、2014 年 6 月に予定されたプロジェクト終了時まで、それらすべてを完了することは困難である。</li> <li>- 成人識字教育の教員用研修モジュール並びに教員用ガイドが開発され、パイロットプロジェクトで使用された。研修モジュールは、2014 年 4 月までに最終化され印刷される見込みである。</li> <li>- 行政職員向けの研修モジュールは既に開発されており、2014 年 4 月までに最終化され印刷される見込みである。</li> </ul>
3.2 研修参加者の数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・NFBE 教員向け</li> <li>・成人識字教育教員向け</li> <li>・州行政官、EDO、DLO、 識字モービライザー向け</li> </ul>	2013 年 12 月までの研修参加者数 (延べ) は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 教員と学習環境スタンダードに係る研修 (パイロット) : 12 回で教員 1,429 名と行政職員 76 名</li> <li>- 成人識字センター教材 / CLC<sup>7</sup> 研修 : 6 回で教員 55 名と行政職員 26 名</li> <li>- NFBE 教材パイロット研修 : 7 回で教員 55 名と行政職員 15 名</li> <li>- LNFBED の州職員研修 : 8 回で 120 名</li> <li>- その他の研修 : 2 回で 33 名</li> </ul>
3.3 研修参加者の理解度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・NFBE 教員</li> <li>・成人識字教育教員</li> <li>・州行政官、EDO、DLO、 識字モービライザー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 教員研修コースで研修参加者の理解度を検証するため事前・事後テストによる比較を行い、高い理解度が示されている。</li> <li>- スタンダード、カリキュラム及び NFE を提供する制度に係るその他の重要な概念について、LNFBED の州や県の職員らが深く理解していることが、インタビューや会議を通じて示された。</li> </ul>
3.4 教員の教授能力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・NFBE 教員</li> <li>・成人識字教育教員</li> </ul>	2012 年 9 月～2013 年 8 月に実施された教員スタンダードに係るパイロットプロジェクト (40 の NFBE 学校と 10 の CLC) の結果、教員が最新の知識を教育実践に活かす方法や参加的な学習環境をつくる方法を習得し、教授能力を高めたことが、チェックリストに基づくモニタリングによって確認された (本章「3-2-2 プロジェクト目標」の指標 1 に関する実績を参照)。
3.5 NFBE と成人識字教育のオペレーションマニュアル	オペレーションマニュアルは 2014 年 6 月までに開発予定で、本プロジェクトの経験に基づき、スタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法 / ツールの開発及び改訂に係る過程や方法論を取めたものとなる。

## Box-2 CLC とは

コミュニティ学習センター (Community Learning Center : CLC) は、1990 年代半ば以降に UNESCO のバンコク事務所 (当時のアジア太平洋地域中央事務所) が中核となり普及してきた NFE 施設のことで、「フォーマル教育のシステムの外側に位置し、農村部あるいは都市部において通常地元住民自身の手に

<sup>6</sup> 「研修モジュール」とは、カリキュラム、教授法など、個別の研修内容を分冊化して、必要な内容を選択して訓練することができる研修用教材のことである。

<sup>7</sup> CLC (Community Learning Center) : コミュニティ学習センター、Box-2 参照。

よって設立運営され、地域の発展と人びとの生活の質の向上のために、さまざまな学習機会を提供する教育施設」と定義された<sup>8</sup>。多くの場合、地域住民の代表からなる CLC 運営委員会が組織され、活動内容の決定や、施設の維持管理に当たる。CLC は多目的センターであり、次のようなさまざまな活動が行われることが想定されている。

- ①成人識字教育・識字後教育
- ②不就学児童のためのイクイバレンシー・プログラム（パキスタンの NFBE もそのひとつ）
- ③収入向上のための技術訓練
- ④生活改善プログラム
- ⑤図書館機能の提供
- ⑥文化活動・スポーツ
- ⑦その他さまざまな地域の発展にかかわる活動

パンジャブ州識字局（LNFBE）には、本プロジェクトを通じて CLC の概念が紹介され、LNFBE の各プロジェクトに導入された。現在、CLC では基礎識字教育と生計向上につながる技術訓練を組み合わせたプログラムが行われており、従来の基礎識字コースのみを提供する成人識字センター（ALC）と区別している。次官はこれを成人識字の概念に関する「パラダイムシフト」であったと評している。一方で、「CLC はパキスタンにとってはまだ新しい概念なので、本格的な普及のためには更なる技術支援が必要である」とも述べている。

### 3-2-2 プロジェクト目標

【プロジェクト目標】「パンジャブ州にて質の高いノンフォーマル教育を提供する体制が強化される」

十分なプロジェクト期間を確保する措置が取られれば、本プロジェクトはプロジェクト目標を達成する見込みが高い。パイロット事業により、NFE を提供する体制が強化されつつあることが示されている一方で、上述のとおりパッケージ B、C の教材開発の進捗に、計画と比べて遅れがみられる。また、パッケージ A、B、C のフォーマル教育との同等性については、今後パンジャブ・カリキュラム委員会の承認をもって確保される予定である。

指 標	実 績
<p>1. パイロットプロジェクトにおいて、開発されたスタンダード、カリキュラム、アセスメント手法／ツールを採用しているセンター／学校の 80% で、開発されたスタンダードに基づき、環境、教員、学習が向上する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 学習者スタンダード</li> <li>- 教員スタンダード</li> <li>- 教育環境スタンダード</li> </ul>	<p>教員と学習環境のスタンダードを試行するパイロットプロジェクトが、2012年9月から2013年8月まで、ムルタン県の20のNFBE校とマンディバハウディン県の40のNFBE校及びオカラ県の10のCLC、合計50校／センターにて実施された。パイロットプロジェクトにおいては、スタンダードに則して開発されたモニタリング用のチェックリストを使用し、ベースライン、中間時点、エンドラインの3回、各学校及びセンターでの状況を把握して、その変化を検証した。その結果、ほぼすべての学校及びセンターで下表のとおり改善がみられた。</p>

<sup>8</sup> UNESCO Principal Regional Office for Asia and the Pacific. (1995). APPEAL training materials for continuing education personnel: A manual for the development of learning centres (Vol. 8). Bangkok

	<p align="center"><b>&lt;スタンダードに基づき改善がみられた学校/センター数&gt;</b></p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改善がみられた項目数</th> <th colspan="2">学校/センター数</th> </tr> <tr> <th>教員スタンダード</th> <th>環境スタンダード</th> </tr> <tr> <td>0 もしくは悪化</td> <td align="center">2</td> <td align="center">1</td> </tr> <tr> <td>1～10</td> <td align="center">8</td> <td align="center">14</td> </tr> <tr> <td>11～20</td> <td align="center">14</td> <td align="center">31</td> </tr> <tr> <td>21～30</td> <td align="center">25</td> <td align="center">3</td> </tr> <tr> <td>31以上</td> <td align="center">0</td> <td align="center">0</td> </tr> <tr> <td>改善がみられた学校/センターの割合</td> <td align="center">96%</td> <td align="center">98%</td> </tr> </table> <p>注：「改善がみられた項目数」とは、ベースラインとエンドラインを比較した場合に、客観的に測定可能な指標のうち、より望ましい状態へ変化した指標の数を示している。状態が悪化した場合には、マイナス1ポイントを加算した。測定可能な指標の合計数は、教員スタンダードで34項目、環境スタンダードで41項目であった。 50中1校/センターはデータ不足により集計から除いた。</p>	改善がみられた項目数	学校/センター数		教員スタンダード	環境スタンダード	0 もしくは悪化	2	1	1～10	8	14	11～20	14	31	21～30	25	3	31以上	0	0	改善がみられた学校/センターの割合	96%	98%																				
改善がみられた項目数	学校/センター数																																											
	教員スタンダード	環境スタンダード																																										
0 もしくは悪化	2	1																																										
1～10	8	14																																										
11～20	14	31																																										
21～30	25	3																																										
31以上	0	0																																										
改善がみられた学校/センターの割合	96%	98%																																										
2. パイロットプロジェクトにおいて、学習者の学習レベルが向上する。	<p>新しく開発された成人識字のカリキュラムと教材を用いた CLC と、それらを用いない旧来の授業による ALC との間で比較分析した。新規に開発されたアセスメントツールを用いた修了試験の結果、新しいカリキュラムを用いた CLC において学習者のより高い達成度がみられた。</p> <p align="center"><b>&lt;学習者の到達度（パーセンテージ換算）の分布&gt;</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">科目</th> <th rowspan="2">新旧カリキュラム</th> <th colspan="4">学習到達度 (%)</th> </tr> <tr> <th>100-90</th> <th>89-70</th> <th>96-40</th> <th>40未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ウルドゥー語口頭</td> <td>新 (526)</td> <td align="center">25.30</td> <td align="center">29.10</td> <td align="center">29.10</td> <td align="center">16.50</td> </tr> <tr> <td>旧 (802)</td> <td align="center">25.81</td> <td align="center">30.92</td> <td align="center">26.93</td> <td align="center">16.33</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ウルドゥー語筆記</td> <td>新 (526)</td> <td align="center">47.15</td> <td align="center">34.79</td> <td align="center">13.31</td> <td align="center">4.75</td> </tr> <tr> <td>旧 (802)</td> <td align="center">6.61</td> <td align="center">34.91</td> <td align="center">39.78</td> <td align="center">18.70</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算数</td> <td>新 (526)</td> <td align="center">42.97</td> <td align="center">35.55</td> <td align="center">16.73</td> <td align="center">4.75</td> </tr> <tr> <td>旧 (802)</td> <td align="center">22.44</td> <td align="center">29.55</td> <td align="center">32.54</td> <td align="center">15.46</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：( ) 内は標本数。大きな変化がみられる箇所を網掛けした。NFBE のカリキュラム試行のためのパイロットプロジェクトは、現在実施途中であり学習者の到達度計測には至っていない。</p>	科目	新旧カリキュラム	学習到達度 (%)				100-90	89-70	96-40	40未満	ウルドゥー語口頭	新 (526)	25.30	29.10	29.10	16.50	旧 (802)	25.81	30.92	26.93	16.33	ウルドゥー語筆記	新 (526)	47.15	34.79	13.31	4.75	旧 (802)	6.61	34.91	39.78	18.70	算数	新 (526)	42.97	35.55	16.73	4.75	旧 (802)	22.44	29.55	32.54	15.46
科目	新旧カリキュラム			学習到達度 (%)																																								
		100-90	89-70	96-40	40未満																																							
ウルドゥー語口頭	新 (526)	25.30	29.10	29.10	16.50																																							
	旧 (802)	25.81	30.92	26.93	16.33																																							
ウルドゥー語筆記	新 (526)	47.15	34.79	13.31	4.75																																							
	旧 (802)	6.61	34.91	39.78	18.70																																							
算数	新 (526)	42.97	35.55	16.73	4.75																																							
	旧 (802)	22.44	29.55	32.54	15.46																																							
3. パンジャブ州において開発されたスタンダード、カリキュラム、アセスメント手法/ツールを採用しているセンター/学校の数	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 教員と環境スタンダードのパイロット (2012年9月～2013年8月) : NFBE 40校と CLC 10センター</li> <li>- 成人識字用学習スタンダード、カリキュラム、アセスメント手法/ツールのパイロット (2013年3～11月) : CLC 60センター</li> <li>- NFBE用(パッケージA)学習スタンダード、カリキュラムのパイロット (2013年10月～2014年4月) : NFBE 50校</li> <li>- NFBE用(パッケージA、B、C)アセスメント手法/ツールのパイロット (2013年5～6月) : NFBE 45校と公立小学校20校</li> </ul>																																											

### 3-2-3 上位目標

【上位目標】パンジャブ州にてノンフォーマル教育のアクセスと質が改善される。

LNFBED は NFBE と成人識字の促進を局の予算により継続しており、2014年から2017年の間に実施される6つのプロジェクトでは、本プロジェクトの成果品を活用し、学齢期の不就学児及び成人非識字者計157万人が受益することになっている。本プロジェクトの実施により、LNFBED が新規プロジェクトの承認を受け、さまざまなパートナーと協力するための好条件が整備され、それにより NFE へのアクセスが拡大されてきた。

パイロット事業の結果、NFBE と成人識字のプログラムが質の面でも改善していることが示されている。パイロット事業の対象校における成人識字の学習者は、非対象校より識字プログラムの修了試験の合格率が高く（97.1%対89.4%）、それにより、LNFBED が提供する成人識字に関する教育の質が向上したことが示唆される。一方、NFBE の生徒の学習成果についてはプロジェクトの残余期間を通じて、パイロット事業で検証する必要がある。

指 標	実 績																																
1. パンジャブ州において開発されたスタンダード、カリキュラム、アセスメント手法／ツールを採用しているセンター／学校の数	- 2014年1月10日、本プロジェクトで開発された NFBE と成人識字に係る教員と学習環境のスタンダード、並びに成人識字教育の学習スタンダードを関係するすべての学校及びセンターで適用することを、LNFBED が文書で指示した。																																
	- LNFBED が実施する現行及び新規プロジェクトにおける学校／センター数は以下のとおりである。																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>プロジェクト</th> <th>NFBE</th> <th>成人識字</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パンジャブ機能的識字 NFBE 推進プロジェクト</td> <td>5,464</td> <td>1,028</td> <td>6,492</td> </tr> <tr> <td>パンジャブ 4 県識字拡大キャンペーン</td> <td>630</td> <td>-</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td>レンガ工場での成人識字と NFBE</td> <td>275</td> <td>275</td> <td>550</td> </tr> <tr> <td>コミュニティ学習センター (CLC) プロジェクト</td> <td>-</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>パンジャブ識字運動プロジェクト</td> <td>-</td> <td>6,667</td> <td>6,667</td> </tr> <tr> <td>パンジャブ職場識字プロジェクト</td> <td>1,000</td> <td>500</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>7,369</td> <td>8,530</td> <td>15,899</td> </tr> </tbody> </table>	プロジェクト	NFBE	成人識字	合 計	パンジャブ機能的識字 NFBE 推進プロジェクト	5,464	1,028	6,492	パンジャブ 4 県識字拡大キャンペーン	630	-	630	レンガ工場での成人識字と NFBE	275	275	550	コミュニティ学習センター (CLC) プロジェクト	-	60	60	パンジャブ識字運動プロジェクト	-	6,667	6,667	パンジャブ職場識字プロジェクト	1,000	500	1,500	合 計	7,369	8,530	15,899
	プロジェクト	NFBE	成人識字	合 計																													
	パンジャブ機能的識字 NFBE 推進プロジェクト	5,464	1,028	6,492																													
	パンジャブ 4 県識字拡大キャンペーン	630	-	630																													
	レンガ工場での成人識字と NFBE	275	275	550																													
	コミュニティ学習センター (CLC) プロジェクト	-	60	60																													
パンジャブ識字運動プロジェクト	-	6,667	6,667																														
パンジャブ職場識字プロジェクト	1,000	500	1,500																														
合 計	7,369	8,530	15,899																														
注：このうち識字運動と職場識字プロジェクトは新規案件。																																	
2. 識字局 (LNFBED) のプロジェクトにおける NFBE 及び成人識字コースの学習者数	- 2002年のLNFBED設立以来、同局のプロジェクトによって教育の機会を得た学習者数は81万8,115人（うちNFBEが27万7,215人、成人識字が54万900人）。一方、現行及び新規プロジェクトでは下表のとおり157万人以上の学習者が見込まれており、学習者の増加傾向が見受けられる。																																

プロジェクト	NFBE	成人識字	合計
パンジャブ機能的識字 NFBE 促進プロジェクト	190,400	295,440	485,840
パンジャブ 4 県識字拡大キャンペーン	20,400		20,400
レンガ工場での成人識字と NFBE	5,500	4,125	9,625
コミュニティ学習センター (CLC) プロジェクト		14,400	14,400
パンジャブ識字運動プロジェクト		1,000,000	1,000,000
パンジャブ職場識字プロジェクト	30,000	10,000	40,000
合計	246,300	1,323,965	1,570,265

- 現在、LNFBED は UNESCO、UNICEF、ILO など、さまざまな開発パートナーと協力関係を構築している。さらに、民間セクターの参入も推進しており、これらの新しい動きによって、NFE の受益者拡大が見込まれる。

### 3-3 実施プロセス

#### 3-3-1 プロジェクトの運営体制

##### (1) プロジェクトの運営体制

本プロジェクトは、パンジャブ州識字ノンフォーマル教育局（識字局）（LNFBED）を C/P 機関とし、日本人長期専門家 1 名（プロジェクトアドバイザー）とローカル専門家 3 名による技術支援の下で運営されている。JCC がプロジェクトの運営方針等、重要な意思決定を担うが、JCC 議長は LNFBED 次官、その他委員は、計画開発局、LNFBED、学校教育局、TEVTA、PVTC の代表者、後述するテクニカルアドバイザー・グループやワーキング・グループの主要メンバー、並びに JICA パキスタン事務所、専門家から構成される。これまでに開催された JCC 会議は表 3-1 のとおりである。

表 3-1 JCC 会議一覧

回	開催日	主要議題
第 1 回	2011 年 10 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PDM と PO の承認</li> <li>・ プロジェクトの年間活動計画と実施体制の承認</li> </ul>
第 2 回	2013 年 2 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクトの活動報告</li> <li>・ 中間レビュー調査結果の承認</li> <li>・ PDM と PO の修正の承認</li> <li>・ プロジェクトの活動計画の承認</li> </ul>
第 3 回	2014 年 1 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクトの進捗報告並びに活動計画の発表</li> <li>・ PDM の修正の承認</li> <li>・ 終了時評価調査結果の承認</li> </ul>

C/P 機関である LNFBED は、2002 年に設立されたパンジャブ州の行政機関である。2010

年の第 18 次憲法改正により、パキスタンでは教育サービスを提供する責任が中央政府から州政府に移行された。パキスタン国内には州レベルの行政区画が 8 つあるが、学校教育局とは別に独立した LNFBED を有する州はパンジャブ州のみである。LNFBED は、国会議員である識字大臣の下、公務員である次官（Secretary）の責任下で業務執行がなされている。次官に加え、次官補（Additional Secretary）、副次官（Deputy Secretary）2 名、各担当職員（Section Officer）4 名が常勤職員として経常予算により配属されているが、それ以外には開発予算によるプロジェクトベースで雇用されている。LNFBED では、同局の安定的な業務執行体制を構築するために、人員配置と事業の経常予算化をめざしており、漸次実現に向けた協議や手続きが進められている。

本プロジェクトは、「質の高いノンフォーマル教育を提供する体制を強化」することを目標として実施されており、スタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールを開発してそれらを活用する人材を育成してきた。LNFBED 内でそれらを担当する要員の多くもまた、能力強化プロジェクト（Capacity Development Project）というプロジェクトのスタッフである。同プロジェクトの責任者は常勤職員である総務担当副次官が兼務しているが、その下に人材育成班（Human Resource Development Wing）、研修班（Training Wing）、マネジメント情報システム班（Management Information System Wing）、研究・カリキュラム・教材・アセスメント班<sup>9</sup>（Research, Curriculum, Materials and Assessment Wing）、モニタリング評価班（Monitoring and Evaluation Wing）が置かれ、各担当副部長、次長がプロジェクトベースで配置されている。LNFBED はこれらの班（wing）を恒久的な部（directorate）に昇格し、組織面での NFE 提供体制強化をめざしている。

本プロジェクトにて開発された各スタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールは、「パイロットプロジェクト」で試用し、その効果を検証している。パイロットプロジェクトとは、LNFBED が本プロジェクトと並行して実施している NFBE 及び成人識字教育のプロジェクトのなかで、スタンダード等の試用・検証を目的として、いくつかの NFBE 学校や ALC 等を運営することである。現在、LNFBED は上記能力強化プロジェクトと本プロジェクトのほかに 4 つのプロジェクトを実施しており、次官の下に各プロジェクトの責任者（Project Director）が配置され、それぞれのプロジェクト・マネジメント・ユニット（PMU）が運営の任に当たっている。パイロットプロジェクト運営に際しては、本プロジェクトのチームと各 PMU が協力し、研修等を通じて対象校やセンターの教員に新しいスタンダードやカリキュラム等の内容及び適用方法を伝え、実際の教育現場で試用した結果のフィードバックを得ている。

---

<sup>9</sup> 研究開発班（Research and Development Wing）より 2013 年 12 月に改編。

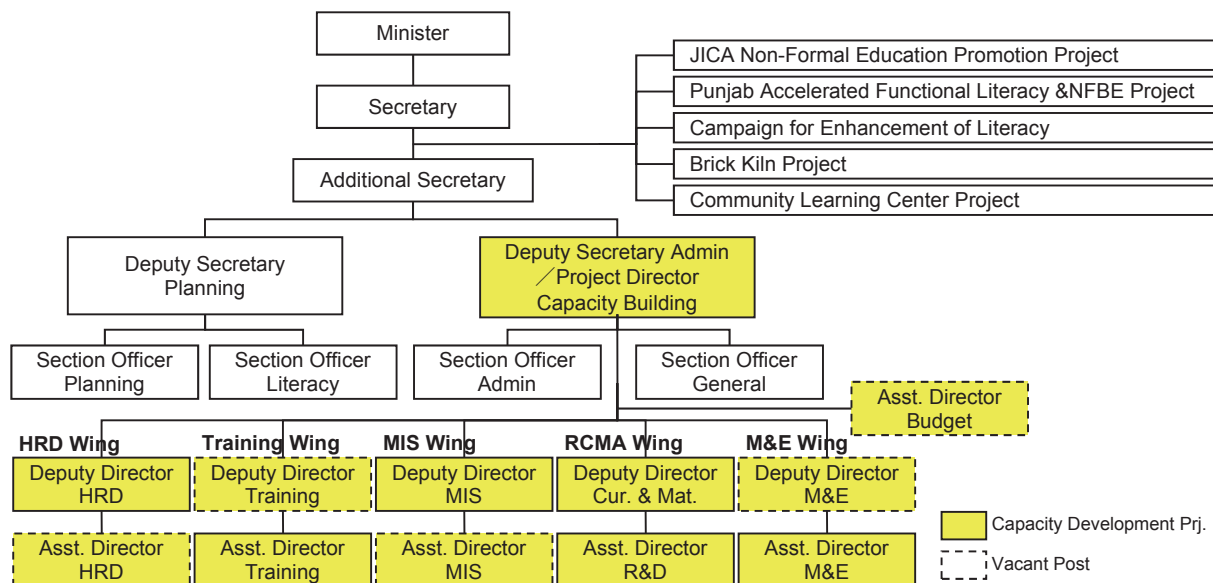


図 3 - 1 識字局の組織図

パイロットプロジェクトにおける各学校やセンターの運営には、県レベルの行政機関の支援を受けつつ教員があたる。県レベルには、教育全体（学校教育もノンフォーマル教育も両方）を担当する県行政官〔Executive District Officer (EDO) Education〕があり、プロジェクトベースで配置される県識字官 (District Literacy Officer : DLO) もしくはプロジェクト識字調整官〔(Project Literacy Coordinator : PLC)、ただし便宜上ここでは双方を「県識字官 (DLO)」と呼ぶ〕が配置されている。かつては識字担当の県行政官が配置されていたが、教育担当に統合された。しかし教育担当 EDO は所掌分野が広く NFE 分野に割ける労力が限られているため、識字フォーカルパーソンと呼ばれるポストが設けられ、関連業務を分任する措置が取られている(フォーカルパーソンに元識字 EDO が着任しているケースも少なくない)。DLO の下には、日常的に各学校を訪れ、モニタリングや支援業務にあたる識字モービライザー (Literacy Mobilizer) がいる。また、36 県中 32 県をカバーしているパンジャブ機能的識字・ノンフォーマル初等教育推進プロジェクト (Punjab Accelerated Functional Literacy and NFBE Project : PAFLP) では、各県に県研修職員 (District Trainer) を置き、教員研修を担当することになっているが、パキスタン国内で公務員の新規採用の一時差し止め措置が取られており、終了時評価調査時点では県研修職員の配置がなされていない。

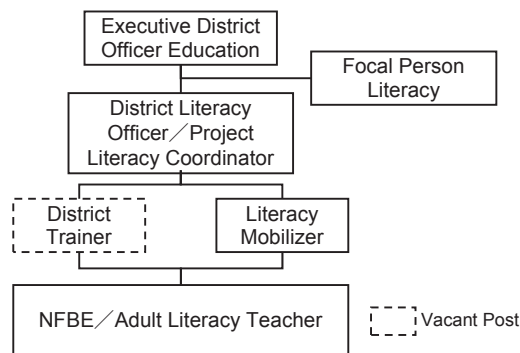


図 3 - 2 県レベルの運営体制

さらに、本プロジェクトではスタンダードやカリキュラム等を開発するための体制を、次のように構築した。すなわち、ドラフト作成等の作業にあたるワーキング・グループ、技術的な助言を提供するテクニカルアドバイザー・グループ、作業全体を監理するとともにドラフトを承認するステアリング・コミッティの3階層の体制である。ステアリング・コミッティの構成メンバーは、パンジャブ州の長官（Chief Secretary）から任命され、LNFBED、学校教育局、TEVTA、PVTC、パンジャブ試験委員会（Punjab Examination Commission : PEC）、計画開発局、JICA 専門家から構成される。テクニカルアドバイザー・グループのメンバーである有識者は、プロジェクトの活動を通じて教育関連機関でフォーマル教育のカリキュラムを開発した経験をもつ人材を発掘したり、UNESCO のバンコク事務所から招聘したりした。スタンダードやカリキュラムは主にパキスタンの有識者によってドラフトされた。

## (2) コミュニケーション

上述のとおりプロジェクトの重要な決定事項は JCC を開催して協議、承認されるが、日常的な業務運営に係る検討事項については、専門家（プロジェクトアドバイザー）と LNFBED 次官との間の頻繁な協議により合意形成がなされている。長期専門家を中心としローカル専門家も含む日本側のチームと、LNFBED を中心とするパキスタン側 C/P 及び他の関係諸機関とのコミュニケーションは円滑で、このことはインタビュー対象となったすべての関係者の意見の一致するところであり、終了時評価調査期間中に調査団も容易に観察できた。

特筆すべきは、両者の協力関係が PDM に記載された狭義のプロジェクト・スコープを満たしつつも、それを超えて州ノンフォーマル教育セクター計画策定や、州の義務教育法策定過程への関与といった、「政策対話」レベルでの協力や、CLC に代表される LNFBED の新しい取り組みに対する助言など、日常的かつ総合的な協力関係が構築されていることである。これら恒常的な協力関係を通じて、両者のコミュニケーションは緊密に維持されており、本プロジェクトの進捗状況や課題等も両者間で共有されている。

スタンダード、カリキュラム、アセスメント手法/ツールの開発過程において、月 1 回の定例会合を開催し、関係者間での情報共有を徹底してきた。また、パイロットプロジェクトの現場である県行政機関や学校/センター等とのコミュニケーションについても、終了時評価調査期間中の現地踏査などを通じて、良好な状態であることが確認された。



### (3) 技術移転

スタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールの開発にあたり、ワーキング・グループを設置し、日本側とパキスタン側が共同で全開発過程に取り組んだことが、継続的かつ実践的な技術移転の機会として極めて有効に作用した。ワーキング・グループにはパキスタン側からも経験豊かな有識者が参画したため、日本側からパキスタン側への一方的な「技術移転」といったものではなく、双方向的な研鑽の場となった。

本プロジェクトの技術的な C/P の中核である能力向上プロジェクトにおいて、研究開発班 (R&D Wing) が研究・カリキュラム・教材・アセスメント班 (RCMA Wing) に改編され、2013 年 12 月にカリキュラム・教材開発担当副部長が配属されたことは、本プロジェクトを通じた技術移転の効果を高める重要な措置であった。本プロジェクト終了までに、同班を受け皿として技術移転が進められ、移転された技術がプロジェクト終了後にも継続的に活用されていくことが期待される。

インドネシア及びフィリピンへの第三国研修は、プロジェクトの初期に実施され、C/P 8 名が参加した。「質の高いノンフォーマル教育を提供する体制」、開発すべきスタンダード、カリキュラム、アセスメント手法／ツールについて、C/P の理解を深め必要性を再認識し、具体的な到達点を描出するために、本研修は非常に大きな役割を果たした。日本の事例のみでなく、開発段階が自国により近い国々での具体的な好事例を目の当たりにしたことで、C/P らのモチベーションが高まり、円滑な技術移転の素地が醸成された。

#### 3-3-2 プロジェクトの進捗

プロジェクトはほぼ計画どおりに進められてきたが、中間レビュー調査を通じて、開発した学習スタンダードとカリキュラムを教育現場での実践につなげるためには、それらに準拠した教員用・生徒用教材の開発が不可欠であるとの合意に至り、教材開発が新たな活動として加えられた。これにより、教材開発には長期的な投入が必要となることから、当初計画に基づくプロジェクト期間内にすべての活動を完了することが困難になった。終了時評価調査時点における、各製作物に係る進捗状況及び今後の予定は表 3-2 のとおりである（既に作成された文書等の一覧は、付属資料 1. ミニッツ (M/M) の Annex 2 評価グリッドの Attachment 5 : List of Publication 参照)。

表 3-2 本プロジェクトにおける製作物の進捗状況と今後の予定

製作物	NFBE (成果 1 関連)	成人識字 (成果 2 関連)
教員スタンダード	NFBE・成人識字共通のものとして開発され、2012 年 9 月～2013 年 8 月にパイロットプロジェクトで試行。 パイロットからのフィードバックを踏まえて改訂し、2013 年 1 月 9 日のステアリング・コミッティにて承認。 2014 年 1 月 10 日付で、LNFBED のプロジェクトで運営されるすべての学校及びセンターに、教員スタンダード及び学習環境スタンダードを適用すると通達。	
学習環境スタンダード		

学習スタンダード	2013年1月9日のステアリング・コミッティにて承認。2013年10月～2014年4月のパイロットプロジェクトで試行中。		2013年1月9日のステアリング・コミッティにて承認。2013年3月～11月にパイロットプロジェクトで試行。 2014年1月10日付で、LNFBEDのプロジェクトで運営されるすべてのセンターに、成人識字の学習スタンダードを適用すると通達。
カリキュラム	2013年1月9日のステアリング・コミッティにて承認。		2013年1月9日のステアリング・コミッティにて承認。2013年3月～11月にパイロットプロジェクトで試行。 パンジャブ・カリキュラム委員会にて審査中、2014年3月15日までに承認予定。 職業訓練やフォーマル教育との接続について協議中。
	A	2013年10月～2014年4月のパイロットプロジェクトで試行中。	
	B C	2014年5月からのパイロットプロジェクトで試行予定	
	パンジャブ・カリキュラム委員会で審査され、承認されればフォーマル教育との同等性が確保。		
学習者用教材 教員用ガイド	A	2013年10月～2014年4月のパイロットプロジェクトで試行中。	2013年3月～11月にパイロットプロジェクトで試行。 パンジャブ・カリキュラム委員会にて審査中、2014年3月15日までに承認予定。
	B C	開発中であり、2014年5月からのパイロットプロジェクトで試行予定	
アセスメント手法/ ツール	ドラフトが開発され2013年5～6月に試行。フィードバックを基に改訂され、2014年5月の次回ステアリング・コミッティで承認予定。		2013年3～11月のパイロットプロジェクトで試行。 フィードバックを基に改訂され、2014年5月の次回ステアリング・コミッティで承認予定。
教員研修モジュール	A	2013年10月～2014年4月のパイロットプロジェクトで試行され、2014年4月までに最終化され印刷される予定。	2013年3～11月のパイロットプロジェクトで試行。 2014年4月までに最終化され印刷される予定。
	B C	開発中であり、2014年5月からのパイロットプロジェクトで試行予定。	

出典：専門家等からの聞き取りに基づき調査団作成

一方、成果3の人材育成に係る諸活動の進捗については、成人識字教育教員への研修並びにNFBE教員に対するパッケージA研修は実施されたが、同パッケージB及びCの研修は今後実施される予定である。また、州及び県職員に対する研修は随時実施されているが、上述のとおりPAFLPの県研修職員が未採用のため、一部の指導者研修(TOT)が実施できていない。終了時評価調査時点では、県研修職員の不在への対応措置として、DLOや識字モービライザー等が研修講師としての役割を務めている。政府職員の新規採用の差し止めが解除されれば、速やかに県研修職員が任命され、訓練を受ける予定である(これまで実施された研修の一覧は、付属資料1. ミニッツ(M/M)のAnnex 2 評価グリッドのAttachment 4: List of Training Programs 参照)。

プロジェクト実施の推進要因は以下の点が挙げられる。

- ・ LNFBED やプロジェクト関係者らのアドボカシー活動、並びに「ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals : MDGs)」や「万人のための教育 (Education for All : EFA)」といった国際的なイニシアティブへの国家のコミットメント等に基づく、州政府のノンフォーマル教育 (NFE) に対する支持
- ・ 第三国研修や日本側との共同作業を通じて強化された、C/P の高い意欲
- ・ LNFBED 幹部の長期間の着任による安定したリーダーシップ
- ・ フォーマル教育や職業訓練セクター、更には、マスコミも含む多様な関係者との関係構築
- ・ 州 NFE セクター計画策定や、州の義務教育法策定過程への関与といった、「政策対話」レベルでの協力に基づく、プロジェクトの成果の政策への反映、並びにプロジェクトへの政策的支援

反対に、プロジェクト実施への阻害要因は以下の点が挙げられる。

- ・ 当初、関係者間における NFE の概念等に対する理解の浅さにより、理解を促すために相当の時間と労力を必要としたこと
- ・ パキスタン国内で、NFE 用の教材作成に秀でた専門家を見つけることの難しさ
- ・ 総選挙・地方選挙の実施に起因する、公務員の新規採用差し止め措置に伴う、LNFBED の能力強化プロジェクトのスタッフや、PAFLP の県研修職員の欠員
- ・ プロジェクト実施途中でのパンジャブ・カリキュラム委員会設立に伴う、カリキュラム等の審査手続きの複雑化 (ただしカリキュラム委員会の承認自体は有益)

### 3-3-3 中間レビューにおける提言への対応

2013 年 2 月に実施された中間レビュー調査の結果、7 つの提言がなされた。各提言への終了時評価調査時点までの対応結果は次のとおりである。

#### (1) PDM の改訂

中間レビュー調査に基づく提言に沿って、2013 年 2 月 12 日に開催された JCC において、PDM は改訂された。なお、同調査団が策定した PDM 改訂案 (Ver. 2) では、上位目標等の指標に係る数値目標は、「設定後、JCC 等の機会に関係者が合意することが望まれる」とされており、未設定のままであった。

#### (2) プロジェクト成果品の明確化

研修モジュール及びオペレーションマニュアル等の内容を明確にすることが求められていたが、それぞれ以下のとおりの構成とすることが、関係者間で合意された。

表 3 - 3 明確化された成果品の内容

成果品	内 容
教員用研修モジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンダードとカリキュラム</li> <li>・教授法</li> <li>・学習内容</li> <li>・学校／センターの運営</li> <li>・学習者アセスメント</li> </ul>
州及び県職員用研修モジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンダードとカリキュラム</li> <li>・教授法</li> <li>・学習者アセスメント</li> <li>・プロジェクト運営</li> </ul>
オペレーションマニュアル	プロジェクトの経験に基づき、スタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールを開発し改訂する手順を示す。

出典：専門家等からの聞き取りに基づき調査団作成

(3) 人員の採用と代替要員の配置

終了時評価調査時点では、政府職員の新規採用の差し止め措置は解除されておらず、空席であったポストはほぼそのままである。ただし、新規採用ではなく学校教育局職員の配置転換により、能力強化プロジェクトのカリキュラム・教材開発担当副部長が配属された。なお、県研修職員の不在への対応措置として、DLO や識字モービライザー等が研修講師としての役割を務めている。差し止め措置が解除されれば、速やかに県研修職員が任命され、訓練を受ける予定である。

(4) パイロット NFBE 学校と CLC の数の増加

中間レビュー調査時点では、計 70 校であったパイロットプロジェクトの対象サイトを増やすことが提言されており、本章「3-2-2 プロジェクト目標」の表中で示したとおり、数多くの NFBE 学校や CLC でパイロットプロジェクトを展開してきている。その数は、複数の製作物に関するパイロット校の重複を除くと、209 校・センター（学習者数 5,402 名）である。また、本プロジェクトで開発されたカリキュラム及び教材と、従来から使われている教材との間で、学習効果の違いを検証するための比較分析もなされた。

(5) 同等性を実現するためのアドボカシー活動

NFE とフォーマル教育との間の同等性については、「計画開発局、学校教育局、PEC 等関連するステークホルダーとの緊密な調整が必要」であるとの共通の認識があったが。具体的には、パンジャブ・カリキュラム委員会に NFBE のカリキュラム（パッケージ A、B、C）の審査を申請し、委員会が承認すれば同等性も保障される旨確認がなされた。同申請は 2014 年 2 月になされる予定である。

(6) NFE の継続的实施

現在識字局は4つのNFBE及び成人識字のプロジェクトを実施しており、さらに2つの新規事業が開始されようとしている。各プロジェクトの期間とそこで運営される学校やセンターの数は表3-4のとおりである。

表3-4 識字局の現行及び新規プロジェクト

プロジェクト名	期 間	学校／センター数
パンジャブ機能的識字・ノンフォーマル初等教育推進プロジェクト Punjab Accelerated Functional Literacy and NFBE Project (PAFLP)	2012年7月～ 2016年6月	5,440 NFBE 24 NFBE in Brick Kiln 920 CLC 31 VTC 75 ALC in Camp Jails 3 Functional Lit. Centers
パンジャブ4県識字拡大キャンペーン Campaign for Enhancement of Literacy in Four Districts of Punjab (CFEL)	2009年4月～ 2014年6月 (2012年9月改訂)	630 NFBE
レンガ工場での成人識字とNFBE ALC & NFBE at Brick Kiln at Multan and Khanewal	2009年11月～ 2014年6月	275 NFBE 275 ALC
コミュニティ学習センタープロジェクト Community Learning Centers (CLC) Project Phase II	2013年7月～ 2016年12月	60 CLC
パンジャブ識字運動プロジェクト Punjab Literacy Movement Project	2014年2月～ 2016年7月	6,667 ALC
パンジャブ職場識字プロジェクト Punjab Work Place Literacy Project	2013年7月～ 2017年6月	1,000 NFBE 500 CLC

注：VTC：Vocational Training Center；ALC：Adult Literacy Center；CLC：Community Learning Center  
出典：各プロジェクトのPC-1（プロジェクトドキュメント）等より抜粋。

下段の3プロジェクトは、中間レビュー調査の後に形成されたものである。識字局の積極性がうかがえる。

(7) 本プロジェクト実施による経験知の蓄積

今後作成予定のオペレーションマニュアルは、本プロジェクトの実施を通じて得られた経験に基づき、スタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールの開発・改訂の方法や手順等を記載する。これは形式知化された暗黙知の蓄積に寄与するものである。

## 第4章 評価結果

### 4-1 妥当性

妥当性は高い。

2010年の第18次憲法改正により、州政府は基礎教育の提供と非識字の根絶に対する責任を負い、独自のカリキュラムを開発することとなった。ミレニアム開発目標（MDGs）や万人のための教育（EFA）といった世界的なイニシアティブに対する国家のコミットメントにより、就学率や識字率の低さ等の課題に取り組む緊急性が増している。さらに、本プロジェクトは日本のパキスタンに対する国別援助方針にも合致している。

#### 4-1-1 開発政策との整合性

2013年2月の中間レビュー調査時点と比べてノンフォーマル教育（NFE）を巡る政策に大きな変化はなく、引き続き整合性が保たれている。5歳から16歳の児童への無償の義務教育提供や非識字の根絶に対する国家の責任が憲法に定められているうえ、2030年までの開発計画をまとめた「Vision 2030」で非識字問題の解決が謳われるなど、NFE部門の推進を支持する政策が打ち出されている。さらに、MDGsやEFAといった国際的なイニシアティブの目標年が2015年に迫っている。パキスタンもそれらにコミットメントをしていることから、目標達成に向けた施策を取るよう連邦政府から各州政府へも働きかけがあり、そうした国内外の環境もまた、本プロジェクトに対するパンジャブ州政府の積極的な姿勢を生み出す要因となっている。

#### 4-1-2 開発ニーズとの整合性

パンジャブ州の10歳以上の識字率は60%（2010～11年<sup>10</sup>）で、非識字問題はなお深刻な状況である。LNFBEDの事業の対象人口については、2013年にEmergency Education Campaignが実施され学齢期児童の就学が促進されたが、初等教育からの中途退学も多くNFBEの対象人口はまだ220万人に上り、15歳以上の非識字者は2,730万人もいる。15歳から24歳までの若年層に限っても530万人の非識字者が識字教育の機会を必要としている。男女間格差（識字率：男性70%、女性51%）、地域間格差（都市部76%、農村部53%）も大きく<sup>11</sup>、格差解消に向けた施策が必要である。

一方、2010年の第18次憲法改正に伴う地方分権化に伴い、初等教育の実施は州政府が担うこととなり、パンジャブ州ではLNFBEDがカリキュラムやアセスメント制度等を開発する必要性が生じていた。こうしたことから、質の高いNFEを提供する制度を強化することを目標とした本プロジェクトは、開発ニーズとの整合性が高いといえる。

#### 4-1-3 日本の援助政策との整合性

わが国の「対パキスタン・イスラム共和国 国別援助方針」に定められた重点分野は、① 経済基盤の改善、② 人間の安全保障の確保と社会基盤の改善、③ 国境地域などの安定・ balan

<sup>10</sup> Pakistan Social And Living Standards Measurement Survey (PSLM) 2010-11

<sup>11</sup> LNFBEDからの配布資料より。

スの取れた発展の3点である。このうち、②に関する支援内容として「識字率や就学率などの低い教育指標を改善するため、教育機会の改善や安全な学習環境の提供、質の向上を柱とする初等教育分野への支援を実施する」と定められており、本プロジェクトが日本の援助政策と高い整合性をもっていることは明らかである。さらに、2013年9月の内閣総理大臣の国連総会における演説では、「女性の社会進出」を促すための政府開発援助（ODA）を増強することが表明されたが、本プロジェクトの対象の多くが女性であり（特に成人識字教育では女性が受講者の大多数を占める）、こうした現行政府の方針とも軌を一にするものである。

#### 4-1-4 手段としての適切性

スタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールは、質の高い教育を提供するために必要不可欠のものである。パンジャブ州で従来それらが整備されていなかったことにかんがみれば、「質の高いノンフォーマル教育（NFE）を提供する制度の強化」をめざした本プロジェクトで、これらの開発・普及に取り組むことは、目的達成の手段として適切であった。さらに、日本はこれまでさまざまなチャンネルを通じて世界のNFE分野を支援してきた。本プロジェクトを含むJICAの技術協力プロジェクトの他にも、課題別研修、草の根技術協力事業、UNESCOへの信託基金などが挙げられる。またNGOによる同分野への支援のほか、近年ではアジア各国のNFEセクターと、公民館等の日本の社会教育セクターとの交流も活性化している<sup>12</sup>。こうしたことから、本プロジェクト実施の背景には日本の経験や知見の蓄積があったと考えられ、実際に第三国研修や国際機関との連携においても、それらが生かされた。

### 4-2 有効性

有効性は高いと見込まれる。

高い有効性が見込めるものの、すべての成果が産出されたときに改めて確認する必要があり、現時点で判断するのは時期尚早である。本プロジェクトを通じてこれまで開発されたスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツール等は、パイロットプロジェクトを通して、質の高いNFEを提供するのに効果的であることが示されている。また、さまざまなレベルのトレーニングが数多く実施され、学習者により質の高い教育を提供できる能力が政府関係者や教員等に備わってきたことが示唆されている。一方、パッケージB、Cについては教材を開発途中であるなど、未了である活動が存在しており、今後の進捗確認が必要である。

#### 4-2-1 プロジェクト目標達成の見込み

これまで開発されたスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールにより、また研修やOJTなどの人材育成により、LNFBEDの「質の高いノンフォーマル教育（NFE）を提供する制度」は確実に強化されつつあるといえる。前章「3-2-2 プロジェクト目標」で示したとおり、教員スタンダード、学習環境スタンダードを用いてNFBE学校やALCを運営したり支援したりすることで、教員や環境のレベルが向上することが、パイロットプロジェクトを通じて証明された。また、成人識字の学習スタンダード、カリキュラム、教材について

<sup>12</sup> 例えば、「平成22年度『生涯学習施策に関する調査研究』公民館の活用方策に関する調査研究」（2011年3月）参照（[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/01\\_1/08052911/1306240.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/01_1/08052911/1306240.htm)）

は、既にパイロットプロジェクトを終えており、旧来の教科書を使用して行われたコースを比較すると、本プロジェクトの教材を利用した学習者の方が、到達度が高いことも確認された。

ただし、NFBE の教材（パッケージ A、B、C）を開発し、パイロットプロジェクトで検証して改善を加え、最終化のうえ、必要な承認手続きを完了しなければ、NFE を提供する制度としては不完全である。プロジェクトが生み出してきたこれまでの成果から判断すれば、開発中あるいは今後開発される教材もまた、NFE の質の向上に寄与することが期待できる。しかしながら、これらの全工程を予定されたプロジェクト期間内に完了することは困難であり、第5章で提案する期間延長による「十分なプロジェクト期間を確保する措置が取られれば」という条件付きで、プロジェクト目標達成の可能性は高いと予測する。

#### BOX-2 カリキュラムや教材がもたらしたもの

本プロジェクトで開発したカリキュラムと教材（NFBE パッケージ A）を用いてパイロット対象の NFBE 学校の教員に、以前の教材と比較したときの違いは何かと聞いた。その教員は「以前の教科書は、学ぶ量が多くて子どもの負担も大きく、教えていても焦点があやふやで一体何を教えたらいいのか分からないこともあったけれど、新しい教科書には教員用ガイドも付いていて、教えるコンセプトや教え方のステップ、授業を終えたときに子どもがどんな知識を身に付けていなければならないかがはっきりしているのも、とても使いやすい。」と答えた。（NFBE School ABADI Hayat, Okara District）

次官をはじめとする LNFBED の職員らは、本プロジェクトで開発したカリキュラムや教材を「われわれのカリキュラム」「われわれの教材」と呼ぶ。プロジェクトが始まって間もないころは、「JICA が開発するカリキュラム」などと呼んでいたが、共同作業を重ねるうちにオーナーシップが高まり、現在では紛れもなく自分たちのものだと感じている。そして、「われわれのカリキュラムは、NFE においてパキスタンで歴史上初めてつくられたカリキュラムであり、他の州からも問い合わせが多く寄せられている」と大いに誇らしげである。事実、成人識字のカリキュラムは連邦政府が以前作成したものがあつたがほとんど活用されておらず、NFBE のカリキュラムは存在していなかったため、通常の小学校の教科書をそのまま使って授業がなされていた。LNFBED は、技術移転を受ける受益者から、今や他州へ新しい知識や技術を伝えるアドバイザーへと変貌を遂げ始めているのである。

#### 4-2-2 プロジェクト目標達成の貢献・阻害要因

プロジェクト実施の当初、学校教育と同等性をもつ NFE のコンセプトに係る関係者間の理解は不十分であり、プロジェクトの意義を伝えるのに多大な時間と労力を要した。しかしながらその後、識字キャンペーンや第三国研修、OJT などを通じて理解は深まり、終了時評価調査時点においては、C/P を中心とする関係者（政府関係者、技術的専門家、支援者、一般市民）が示している非識字・不就学問題の解決に対するコミットメントこそが、プロジェクト目標達成へ向けた主要な貢献要因となっている。さらに、本プロジェクトを共同で実施するなかで、C/P は自分たちの業務に自信をもつようになってきている。

また本プロジェクトの専門家及び C/P は、NFE セクター計画や義務教育法の作成過程に、共同で積極的に関与してきた。その結果、プロジェクト活動の政策への反映や、法的枠組みや政策によるプロジェクト活動への支援といった、プロジェクト目標達成に貢献する要因を生み出すことができた。

阻害要因としては、技術移転を受けるべき C/P の要員にいくつか欠員がみられることにより、円滑なプロジェクトの実施や持続性の確保を妨げている点が挙げられる。また、パキスタンには、NFE 分野を専門とする人材が限られているため、そうした人材を探し出すのに時間が



かかった点も、阻害要因といえる。

#### 4-2-3 成果産出とプロジェクト目標達成の論理性

本プロジェクトは、3つの成果により、プロジェクト目標が達成されるという論理構造になっている。3つの成果とはすなわち、① NFBEのためのスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールの開発、② 成人識字のための同様の成果物の開発、そして③それらを活用し普及するために必要な人材の育成という3つである。LNFBED が所掌範囲として実施している教育プログラムは、基本的に NFBE と成人識字の2つであり、「スタンダード(教員、環境、学習)、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツール」の4点は、質の高い教育プログラムを実施するために必要不可欠なアイテムである。またプロジェクトでは、それらを開発するのみでなく、パイロットプロジェクトとして教育現場で実際に活用する教員を訓練して試用することにより、その実効性を検証するとともに、試用結果から教訓を得て改良し最終化するというプロセスを取っている。さらに、将来的な普及に備えて、州や県レベルの人員を訓練し、彼ら自身が、開発されたスタンダード等を LNFBED のプロジェクトに適用していくことができるようにすることをめざしている。

これら3つの成果が産出されれば、プロジェクト目標である、パンジャブ州における質の高い NFE 提供体制の強化は実現可能であり、成果とプロジェクト目標の論理的関係性は高いといえる。

#### 4-3 効率性

効率性は中程度である。

日本側、パキスタン側双方の投入はおおむね適切になされているものの、能力強化プロジェクトのスタッフや県研修職員といった、適切な技術移転に必須の C/P 要員配置については不十分である。計画された活動、特に中間レビューで追加された教材開発(パッケージ B、C)をすべて完了するためには、プロジェクト期間の延長が必要である。

##### 4-3-1 成果産出の程度

成果産出の度合については、前章「3-2-1 成果」において詳述したとおり、これまでに多くの成果を生み出してきたものの、パッケージ B 及び C の教材の開発、試行、最終化、承認のプロセス、並びにそれに伴う教員用ガイド、教員研修モジュールの開発や研修実施、パイロットプロジェクトの実施等が、2014年6月に予定されたプロジェクト終了時までには完了することが困難な状態である。その主な要因は、中間レビュー調査の提言に基づき、教材開発がプロジェクト活動に付け加えられた一方で、プロジェクト期間についての検討がその時点では保留されたためである。PDM 第2版(2013年2月12日改訂)では、教材開発が活動に加えられたものの、成果としては明記されていなかった。しかしながら、プロジェクト目標達成に重要な意義をもつとともに、それに必要な作業量も軽視できないものであるため、終了時評価調査期間中に開催された JCC で PDM を再度改訂し(第3版)、成果の1つとして「教材」が加えられた。これにより、成果産出には、当初予定以上のプロジェクト期間が必要であることも明確化された。

#### 4-3-2 投入の適切性

プロジェクトへの投入は、日本側、パキスタン側の双方から、ほぼ計画どおりになされた。

日本側から派遣された専門家は長期専門家（プロジェクトアドバイザー）1名であり、PDM上「必要に応じて」派遣するとされた短期専門家（アセスメント）や第三国専門家（能力強化）は派遣されなかった。これは、パキスタン国内にいる高い専門性をもった人材を活用した方が、現地の文脈を良く理解して、より効率的に作業を進めることができると考えられたためである。実際に、ワーキング・グループを組織して、またテクニカルアドバイザー・グループからの助言を得つつ作業を進めたことで、効率的な成果の産出が実現した。ただし、プロジェクトの趣旨に沿って NFBE の教材開発ができる国内人材を見出すのに苦労し、教材開発の遅延の一因となった。

パキスタン側の投入の計画との差異としては、既述のとおり、公務員の新規採用差し止め措置に伴う要員配置の不足が指摘できる。これまでのところ、DLO や識字モービライザー等を県研修職員の代わりに研修講師として活用し、能力強化プロジェクトの欠員ポストを学校教育局からの異動により確保するなど、可能な限りの対処をしてきている。今後、差し止め措置が解除されれば、欠員となっているポストへの配置が期待できる。また、プロジェクト事務所は2013年7月まで LNFBED 内に設置されていたが、安全確保上の理由（庁舎内での火災）により戸建の事務所に移転した。移転後も、LNFBED は両国政府の合意事項を尊重し、電気代、事務用品費、警備員備上費用等を負担し続けている。

全体的に、プロジェクト運営は費用対効果が高い。2011年7月～2014年1月までに日本側が負担したプロジェクト経費は全体で1億1,700万円であり、同期間における当初想定額の1億7,000万円より安価に抑えられている。また、類似のプロジェクト目標をもった案件と比較しても、コストは抑制されているといえる。これは、ローカル専門家（3名を備上）や国内のリソースパーソン（コンサルタントを含む）の活用によるところが大きいと考えられる。

#### 4-4 インパクト

インパクトは大きい。

LNFBED の教育提供体制が強化されれば、パンジャブ州における NFE のアクセスと質は確実に改善される。さらには、開発されたスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールによって、国内及び国際機関、並びに JICA の他案件等、さまざまな開発パートナーが関心を示すようになっており、本プロジェクトの成果は他州や他国まで広がる可能性がある。

##### 4-4-1 上位目標達成の見込み

上位目標である「パンジャブ州でのノンフォーマル教育のアクセスと質の改善」の実現を示唆するさまざまな兆候が確認された。前章「3-3-3 中間レビューにおける提言への対応」で述べたとおり、現在 LNFBED は4つの NFBE 及び成人識字のプロジェクトを実施しており、さらに2つの新規事業が既に州政府の承認を受け開始されようとしている。裨益者数（学習者数）は、2017年6月までに157万人と予想されている。2002年の設立以来の12年間で LNFBED のプロジェクトの裨益者数（82万人）の倍近い人数が、今後数年間で裨益する構想である。これらのプロジェクトでは、本プロジェクトで開発されたスタンダードやカリキュラム等が適用されることになっており、各プロジェクトの形成段階でも本プロジェクトの専門

家ら（日本人及びローカル）による技術的な知見が提供された。

質の改善については、パイロットプロジェクトを通じて、新たなスタンダードやカリキュラム、教材の導入が、教育の質の改善に結びついていることが明らかにされた。教員及び学習環境スタンダードの導入により、それらが改善されたことは、継続的なモニタリングにより確認された。また、成人識字教育の新しいカリキュラム及び教材の有効性は、それを導入していないセンターとの比較により検証済みである。NFBE の新規カリキュラム及び教材が質の改善に与える影響については、現時点では未実証だが、パッケージ A を試用しているパイロットプロジェクトの教員から、「教えるべき内容、児童が到達すべき目標が明確で、教えやすい」という証言を得ており、その効果が期待される場所である。

ただし、終了時評価調査では、パイロット校でさえも、教授法や学習環境の改善の余地は多々残されていることが確認されたことも事実であり<sup>13</sup>、今後一層の改善が期待される場所である。

#### 4-4-2 その他のインパクト

LNFBED には以下のような開発パートナーが協働を申し入れてきた。このような動きは、本プロジェクトの支援により、LNFBED に活用し得るカリキュラムや教材、知見等を備え、信頼度が高まったことの反映である。

- ・ UNESCO は本プロジェクトと 2012 年 12 月に共同で NFE のカリキュラムやアセスメント制度に関するセミナーを開催したほか、アドボカシー、キャンペーンで協力してきた。さらには、本プロジェクトで開発された成人識字教育教材の印刷費を拠出するほか、携帯電話を利用した「モバイル識字」を LNFBED と協力して実施している。
- ・ UNICEF は児童労働防止の観点から、パンジャブ州南部の綿花栽培地帯での不就学児童に対する基礎教育の共同実施に関する協定書（MOU）を LNFBED と締結した。
- ・ ILO はディーセント・ワークの推進事業の枠組で、200 名の講師養成研修への支援要請を LNFBED によこした。
- ・ 国内機関としては、国家人材開発委員会（National Commission for Human Development : NCHD）、国立教育基金（National Education Fund : NEF）、パンジャブ州職業訓練カウンスル（PVTC）、技術教育・職業訓練庁（Technical Education and Vocational Training Authority : TEVTA）、パンジャブ技能開発基金（Punjab Skills Development Fund : PSDF）、ベナジル所得支援プログラム（Benazir Income Support Program : BISP）などとの協力が、推進あるいは協議されている。

広報の観点からも、本プロジェクトは日本国内に対して大きなインパクトを残している。パキスタンの女子教育活動家であるマララ・ユスフザイが 2013 年のノーベル平和賞受賞候補として注目を浴びたことがきっかけとなり、日本の各メディア（新聞 3 社、テレビ 2 社）で本プロジェクトが取り上げられた。なかには、著名なジャーナリストからの取材を受けることもあり、本プロジェクト、ひいては JICA の活動と意義を日本国内に広く知れ渡らせることに貢献

<sup>13</sup> 例えば、教員と学習者とのコミュニケーションが単線的で、学習者の創造的な思考を誘発するものになっていない場合や、明かりや風通しが不十分な状態で授業がなされている様子などが観察された。

したといえる。また、第三国研修を通じて「オルタナティブ教育」の概念をC/Pらが認識したことも、予期せぬインパクトのひとつである。オルタナティブ教育についての理解が、フォーマル教育とNFEとの間の同等性確保の必要性に対する認識を高めたとともに、アセスメント手法についても、公立小学校の卒業生が受験する初等教育修了試験とは別に、NFE独自の試験制度を構築することが必要であると、C/Pらが感じるまでに至った。

#### 4-4-3 上位目標達成に係る貢献・阻害要因

本章「4-1-1 開発政策との整合性」でも述べたが、MDGsやEFAの目標年である2015年の到来は、NFEセクターが国内外からの支持や注目を集める一因となっている。またパンジャブ州政府は2019年の識字率100%達成を政策目標に掲げている。これらの情勢は、上位目標達成の外部条件「識字に対する政策が変化しない」の成立を後押ししよう。一方、NFEの阻害要因のひとつとして、社会福祉の担い手としての、パキスタンの市民社会の未熟さが広く指摘された（日本人専門家、ローカル専門家及びC/P等より）。NFEに携わるNGOや民間セクターは、周辺国と比較すると質量ともに低調である<sup>14</sup>。対照的に成人非識字者、不就学児童とともに、その数は極めて多く、LNFBEDによる公的取り組みのみでは問題解決は難しく、市民社会の一層の成熟に期待したい。

#### 4-5 持続性

持続性は高い。

本プロジェクトの便益は、プロジェクトの成果物（スタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツール等）を、LNFBEDがプロジェクト終了後も継続して活用することを通じて維持される。LNFBEDは本プロジェクトの成果を全州的な実施に移す意思を強く示しており、それにより持続性の確保が見込まれる。現在LNFBEDは、プロジェクトの成果を6つの継続中及び新規プロジェクトにおいて活用する計画であり、教育を提供するための安定した体制を整備するため、その事業形態を期間限定のプロジェクト式から経常的なプログラム式へと移行しようとしている。

##### 4-5-1 政策・制度面

本プロジェクトにおいてパンジャブ州内全36県で展開した「質の高いノンフォーマル教育（NFE）キャンペーン」を含むアドボカシー活動やLNFBEDの働きかけによって、政策決定者のNFEセクターへの理解・支持は深まっている。州政府が策定している「義務教育法」には、NFEはすべての国民に初等教育を提供する手段のひとつとして明記されている。また、現在承認手続き中の、州政府の「ノンフォーマル教育（NFE）セクター計画」は、LNFBEDだけにとどまらない州政府全体の計画という位置づけである。2015年のMDGsやEFAの目標年が迫っていることも、政策面からみてNFEセクターには追い風となっている。

本プロジェクトを通じてNFEに対する学校教育局の理解が深まったことは意義深い。アクセスが容易な地域への小学校の偏在（地方部での学校不足）や、小学校の中途退学者の多さな

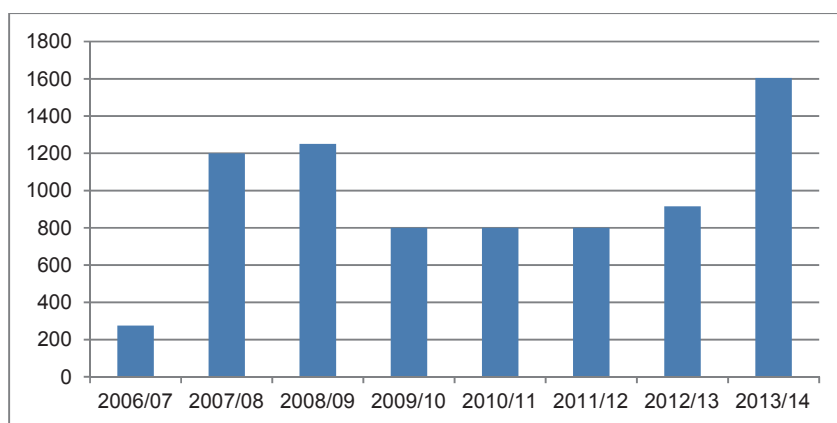
<sup>14</sup> 例えば、近隣国であるバングラデシュには、ノンフォーマル教育（NFE）の提供者として、世界最大級のNGOであるバングラデシュ農村向上委員会（BRAC）や、パキスタン支部が本プロジェクトで技術支援をした Dhaka Ahsania Mission 等がある。

どが、学齢期児童の不就学問題の主因で、学校教育局が解決すべき課題は深刻である。しかし、従来はNFEが学校教育を補完するという認識が、学校教育局側には乏しかった。本プロジェクトではカリキュラム開発などに積極的に学校教育系の人材を登用することで、彼／彼女らのNFE理解が深化し、相互協力の機運が高まった。今後とも、学校教育とNFE、双方の専門人材をNFBEや成人識字の改善や改訂に従事させることで、学校教育側の支持が維持され<sup>15</sup>、不就学児童や中退児童に取り組むLNFBED事業への支持、維持にも貢献あると考えられる。

#### 4-5-2 組織・財務面

現在、LNFBEDは事業形態を期間限定のプロジェクト式から経常的なプログラム式へと移行し、NFE提供のための安定した組織基盤を構築しようとしている。それに伴い、能力強化「プロジェクト」として運営されているLNFBEDの主要な機能（人材育成、モニタリング評価、データ管理、カリキュラム開発など）も、数年以内に恒常的な部（directorate）に移行される見込みである。さらにLNFBEDは、NFBEや成人識字教育教員の継続的職能開発（Continuous Professional Development）のために研修機関（制度）の創設や、県教育庁（District Education Authority）内のDLOのポストの常設化もめざしている。

財務面では、LNFBEDに対するプロジェクト予算は、図4-1に示すように増加傾向にあり、終了時評価調査時点のLNFBEDの動きや政策的環境等を考慮すれば、今後も増加が期待できる。同様の見解は、調査期間中のインタビューでも日本側、パキスタン側双方の関係者から述べられた。事業の多くがプロジェクト予算に依存する点は注意を要するが、財務面での持続可能性は高いと判断できる。



出典：LNFBED 配布資料

図4-1 LNFBEDの開発予算の推移（百万ルピー）

#### 4-5-3 技術面

本プロジェクトの技術的C/PであるLNFBEDの能力強化プロジェクトのスタッフとして、カリキュラム・教材開発担当副部長が配属され、研究・カリキュラム・教材・アセスメント班（RCMA Wing）が設置された。上記副部長は教育学の博士号を保持するカリキュラム開発

<sup>15</sup> 以前は、LNFBEDが学校教育局の所掌を侵犯しているという認識も、学校教育局側にあったという。今後の協力の可能性としては、例えば、学校教育局から識字局への中途退学児童に関する情報提供等が考えられる（プロジェクト関係者からの聞き取りより）。

の専門家であり、技術的持続性を後押しする人材である。さらに、LNFBED は本プロジェクトの実施を通じて国内のさまざまなリソースパーソンとの協力関係を構築してきており、これらの継続的な活用も可能である。他方、新たに開発されたスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメント手法／ツールを確実に実施に移し、かつ継続的に改善・改訂していくためには、LNFBED 職員及び教員らの継続的職能開発が不可欠である。

#### 4-6 結 論

本プロジェクトは、総合的に判断して成功を収めているといえ、パキスタンパンジャブ州における NFE の質及びアクセス改善に資するものであることが示唆される。

本プロジェクトでは、NFBE や成人識字教育で質の高いサービスを提供するために、スタンダード、カリキュラム、教材及びアセスメント手法／ツールを開発してきた。また、州や県の職員並びに教員に対して研修を行うことにより、幅広い革新的な教育提供モデル（職場やコミュニティ等での教育）を用いて LNFBED が実施している NFBE や成人識字のプロジェクトのなかで、それらの成果を効果的に活用できるようにしている。さらに、パキスタンの開発政策や開発ニーズ、日本の ODA 政策とも整合性が極めて高い。その結果、本プロジェクトは所期の目的を果たし、パンジャブ州の NFE の質とアクセスの向上に寄与する可能性が高いと判断される。

しかしながら、いくつかの C/P 要員の欠員が長く続いており、しかも中間レビューで相当量の活動が加えられたことから、すべての活動を完了するためには、当初計画よりも長い期間が必要である。したがって、本プロジェクトを 2015 年 3 月まで延長することが望ましい。本プロジェクト完了の際には、LNFBED の強いコミットメントに根ざした高いレベルの持続可能性が確保されるものと期待される。

## 第5章 提言と教訓

### 5-1 提言

#### (1) 財政的な持続性の確保

LNFBED 及びパンジャブ州政府は、以下を実施する。

- ・ NFE、識字への十分な予算を確保する。
- ・ 量的拡大と質的拡充の観点から、適正な NFE の活動バランスについて検討する。
- ・ NFE、識字活動の予算をプロジェクト予算から経常予算へ移行する。

#### (2) 自立的な NFE の実施・改善

##### 1) LNFBED は以下の改善、取り組みにあたる。

- ・ 能力強化プロジェクト及び県研修オフィサーの空席を補充し、教師能力強化体制を強化する。
- ・ 残るパッケージ B 及び C に関する関連教材の開発と試行に、率先的に取り組む。
- ・ できる限り早急に、オペレーションマニュアル（業務実施要領）を策定する。
- ・ 常設の教員／スタッフ研修制度の実現可能性（フィージビリティ）を調査・検討する。

##### 2) プロジェクト及び LNFBED は多様な関係者をアドボカシー対象とし、協調的な活動の実施を図る。

#### (3) プロジェクト成果品の活用

##### 1) LNFBED 及びプロジェクトは、ノンフォーマル初等教育（NFBE）及び成人識字教育に関するカリキュラムや教材の柔軟な運用が確保されるよう留意する。

##### 2) LNFBED は、識字能力検定試験に関するフィージビリティ調査を実施する。

#### (4) プロジェクトの延長

JICA は、残された活動の実施に必要な期間として、9 カ月プロジェクトを延長する。

### 5-2 教訓

#### (1) C/P におけるプロジェクト成果の実感の促進

スタンダード、カリキュラム等の成果品を活用したパイロットプロジェクト実施時には、C/P に対してすべての段階（開発から試行、普及まで）に参加するよう促した。このような OJT が C/P の意識改革やナレッジの獲得と能力強化に貢献している。また、C/P は第三国（インドネシア、フィリピン）への訪問を通じ、実現できる実効性のある事例に触れ、これがプロジェクト活動に対するモチベーションと、当事者意識を刺激したとみられる。このように、プロジェクト成果を実感できる場合は、C/P の能力強化において触媒的機能を果たすことができる。

#### (2) 多様なステークホルダーとのネットワーク強化

本プロジェクトは、多様なステークホルダーを巻き込んで活動が進められている。ローカルリソースを活用することで、安価でより現場で活用しやすい教材を作成でき、また国際機

関との協働により、プロジェクト成果の拡大が促進されている。このように、さまざまなステークホルダーをプロジェクトに巻き込むことは、プロジェクトを効果的かつ効率的に実施するのに有効である。

### (3) 政策策定への積極的な参加

NFE セクター計画や義務教育法の作成過程で、本プロジェクトは技術的な助言を提供するなどを通じ、積極的にかかわってきた。結果、プロジェクト活動と政策の親和性が高まり、関連法や政策がプロジェクト活動の強力な後ろ盾となった。政策策定へ積極的にプロジェクトがかかわることにより、プロジェクト活動を円滑に実施できる環境をつくり上げることができる。



## 第6章 団長所感

フェーズを重ねた意義を見出すことが容易いプロジェクトであった。

①正規学校教育との同等性に着目した、NFEと非識字教育のカリキュラム、基準、教材、テスト類の体系化・整備、

②非識字者、非就学者層の就業地・居住地に出向くNFE、識字教育の提供形態

が、本技術協力がパンジャブ州にて達成しつつある大きな特徴であり、本プロジェクトの意義である。パッケージB、Cの教材類の作成に要するプロジェクト期間の延長の必要性を認めるが、係る追加的時間的・資金費用は、本件の成果をより完成形に近づけるものとして支出するに値する。数少ないNFE、識字分野のJICA技術協力の実践例が、卓越した進捗と百万を超える非識字者への裨益可能性を提示しており、JICAにとって幸いなことと感じた。

他方、LNFBEDが直面する課題への提言は前章に示したとおりである。先方の理解を担保するために提言内容を絞ったため、M/M議論時にはさほど強調／詳述しなかったが、以下の点は同等に重要と思われるため、関係者の備忘と注意喚起のため、以下に記す。

- ・「普及」の課題：LNFBEDの計6件のプロジェクトを通じ、100万を超える非識字者層が本件技プロにより裨益する可能性がある。LNFBEDには、各プロジェクトにおける教材類の印刷・配布・活用が実現するよう予算と手順の確認を進められたい。
- ・「教え・学びの質」の課題：本技プロでは、NFE、識字コースでの投入、教え・学びの過程に関するスタンダードが設定されたが、必ずしもすべての教室でスタンダードを満足する実践が展開しているとは限らない。NFEや識字は普通の学校教育に比べて不利な側面も多いが、有利な点もあろう。そうした有利な点を活用し、学校教育に劣らない教え・学びの質を達成すべく、現場でのスタンダード順守を勧奨する積極的な取り組みを期待したい。
- ・「予算」の課題：州政府の予算統制上、NFE、識字関係の施策は、関係する人件費も含めてプロジェクト予算で賄われている。この予算繰りは、新規の学校・教室の設置には向いているが、設置後の継続的な運営維持には不向きである。プロジェクト予算と経常予算を適宜使い分け、特に学校・教室の維持経費の、経常予算による措置にめどがつくことを期待したい。

もとより識字や教育はその機能や有用性と合わせることでその意義を提示することができるが、「Last 5%」層に対してはこの点は大きな課題である。「教育を受けさせてどうなるのか」、と教育を受けることなく生き抜いてきた保護者層が考えがちであるからである。パキスタンにおいては、他セクター協力（酪農）において、識字やNFEの取り組みを組み合わせる取り組みが試みられようとしているが、こうしたセクターを跨いだ取り組みは、識字や教育を受けることの便益を感じさせやすく、相乗効果が期待できる。例えば、村落開発、地方電化、給水、保健衛生、農業、生計向上、職業訓練等では、（特に女性の）識字や就学率の低い地域や社会階層を対象とすることも珍しくない。また、識字率や就学率の高まりがこれら分野の開発課題の解決に貢献することもあろうと思われる。

翻って、2015年以降の基礎教育の普及に係る世界的なアジェンダ（いわゆるPost2015）を巡る議論では、学びと公正性（残された非就学者、非識字者への教育機会の提供）が重要なイシューとなる見込みであり、NFE、識字の重要性が再認識されつつある。Post2015を見据え、パキスタンの実践はJICAを代表する取り組みとして発信するに値するし、またPost2015期のJICAの基

基礎教育協力の柱のひとつとして NFE、識字は各地に広めていきたいと感じた。こうした見立てとともに、JICA 本部においても、人間開発部の本件担当者と善後策を検討し、NFE・識字コンポーネントを有する他セクター案件の形成が容易くなるよう、JICA 内でのアドボカシーに努めたいと感じた。

## 付 属 資 料

1. ミニッツ (M/M) (写)
2. 収集資料一覧

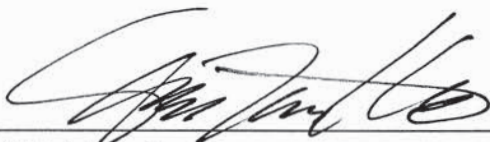
MINUTES OF MEETING  
BETWEEN  
THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY  
AND  
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF ISLAMIC  
REPUBLIC OF PAKISTAN  
ON  
THE TECHNICAL COOPERATION  
FOR  
THE NON FORMAL EDUCATION PROMOTION PROJECT

The mission organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") conducted terminal evaluation for the Non Formal Education Promotion Project (hereinafter referred to as "NFEPP") from 13<sup>th</sup> to 23<sup>rd</sup> January, 2014.

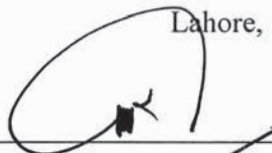
During the visit to the Islamic Republic of Pakistan, the mission had collected the information through series of meetings with the concerned authorities and site visits.

As a result, the mission and the authorities concerned agreed on the evaluation report attached hereto.

Lahore, 23<sup>rd</sup> January, 2014



Shinichiro Tanaka  
Team Leader  
Terminal Evaluation Team  
Japan International Cooperation Agency



Pervez Ahmed Khan  
Secretary  
Literacy and Non Formal Basic Education  
Department  
Government of Punjab



Arif Anwar Baloch  
Secretary  
Planning and Development Department  
Government of Punjab



Shahid Ahmed Vakil  
Deputy Secretary  
Economic Affairs Division  
Ministry of Economic Affairs and Statistics

## ATTACHMENT

### 1. Introduction

#### 1-1 Background of the Project

In Pakistan, eradication of illiteracy is a priority issue. In Punjab Province, adult literacy rate (10 year old or older) is only about 60% in 2011 (Pakistan Living Standard Measurement: PLSM). To improve this situation, the Punjab Government has established the Literacy and Non-Formal Basic Education Department (LNFBED) in 2002. LNFBED has been providing non-formal education in two approaches, i.e., non-formal basic education (NFBE) for children of the school age of 5 to 14 and adult literacy center for the target age of 15 to 34. JICA implemented Punjab Literacy Promotion Project (PLPP) during the period of 2004 to 2007 and PLPP Phase II from 2007 to 2011 to assist LNFBED in promoting strategic data-oriented management through non-formal education management information system (NFEMIS). NFEMIS has been operational at LNFBED and contributing to improve its institutional capacity to manage the non-formal education services. Meanwhile, in terms of quality, there were many challenges still remaining; NFBE has no customized curriculum nor standards. No assessment methods/tools to monitor the quality of education and thus no formal accreditation system. Taking these situations into account, in 2010, LNFBED requested for further assistance in improving the quality of non-formal education, and based on mutual agreement between the government of Pakistan and Japan, Non-Formal Education Promotion Project (NFEPP) was started in 2011.

#### 1-2 Outlines of the Project (according to PDM version 2)

(1) Overall Goal :

Access and quality of Non Formal Education (NFE) are improved in Punjab.

(2) Project Purpose :

System for Quality Non Formal Education delivery is strengthened in Punjab.

(3) Outputs :

Output 1: Standards, curricula and assessment methods/tools for Non Formal Basic Education (NFBE) are developed.

Output 2: Standards, curricula and assessment methods/tools for Adult Literacy are developed.

Output 3: Provincial officers, District officers (Executive District Officers, District Literacy Officers, Literacy Mobilizers, etc.) in Punjab Province and teachers in pilot projects are trained for newly developed outputs above.

(4) Inputs :

Japanese side

- Long-term expert (Project Advisor)
- Study visit to third countries (Indonesia and the Philippines): 8 participants



- Training for counterpart personnel (Japan and Thailand): 3 participants
- Local costs: 71 million Japanese Yen
  - 1) Personnel assignment (3 technical staff and other supporting staff)
  - 2) Development and printing of documents and materials
  - 3) Training
  - 4) Office equipment

#### Pakistani side

- Counterpart personnel and the members of Steering Committee, Technical Advisory Group and Working Groups
- Office space for the project staff in the building of LNFBED
- Running expenses: 2.3 million Pakistan Rupees (as of December 2013) and monitoring and training costs for the pilot activities from the budget of different projects
- Security arrangements

#### **1-3 Objectives of Evaluation**

Main objectives of the evaluation are as follows;

- (1) To review the achievements and assess the major output of the Project according to the Project Design Matrix (PDM),
- (2) To evaluate the Project with the evaluation framework of 5 criteria, i.e. relevance, effectiveness, efficiency, impact, and sustainability, and
- (3) To recommend further actions to be taken for successful completion of the Project and to extract lessons learned.

#### **1-4 Five Evaluation Criteria**

The descriptions of the five criteria are as follows:

##### (1) Relevance

The relevance of the project is reviewed in terms of validity of the project purpose and the overall goal in connection with the development policy of the Government of Pakistan as well as the aid policy of the Government of Japan, needs of the beneficiaries, and logical consistency of the project plan.

##### (2) Effectiveness

The effectiveness is assessed by evaluating the extent to which the project has achieved its purpose and by clarifying the relationship between the purpose and outputs.

##### (3) Efficiency

The efficiency of the project implementation is analyzed with emphasis on the relationship

between outputs and inputs in terms of timing, quality and quantity of inputs.

(4) Impact

The impact of the project is assessed on the basis of both positive and negative influences caused by the project.

(5) Sustainability

The sustainability of the project is assessed in terms of political, institutional, financial and technical aspects by examining the extent to which the achievements of the project will be sustained or expanded after the project period.

**1-5 Modification of PDM**

During the evaluation, PDM was modified through discussions among all concerned and revised into PDM version 3 as Annex 3. The evaluation of the Project was carried out in accordance with the version 3.



## 2. Evaluation

### 2-1 Achievement of the Project

The achievements of the Project are as follows. For the details, refer to Evaluation Grid attached to Annex 2.

(1) Overall Goal *“Access and quality of Non Formal Education (NFE) are improved in Punjab”*  
*Overall Goal is likely to be achieved.”*

LNFBED continues to promote NFBE and Adult Literacy with its departmental budget, and there has been six projects to cater to in total of 1,570 thousand school-aged and adult illiterate population during 2014-17, utilizing the outputs of the Project. NFEPP has created favorable conditions for LNFBED to receive approval for new projects and collaboration with different partners, to allow greater access to NFE.

Results of pilot activities indicate that NFBE and Adult Literacy program are improved quality-wise too; Adult Literacy students of the pilot schools gained a better pass rate (89.4% to 97.1%) which indicate LNFBED has been equipped with a capacity to deliver a better service in the future. Meanwhile, learning outcomes of NFBE students (pilot) is yet to be verified during the remaining period of the Project.

(2) Project Purpose *“System for Quality Non Formal Education delivery is strengthened in Punjab”*

There is a high probability for NFEPP to achieve its Purpose if necessary measures are taken to provide a sufficient project period. While results of pilot activities prove that the NFE delivery system is being strengthened, as stated below, progress of material development of Package B and C are behind schedule. It is indispensable for the Project to produce all the intended Outputs.

(3) Outputs

[Output 1] *“Standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools for Non Formal Basic Education (NFBE) are developed.”*

Standards, curricula and assessment methods/tools for NFBE have been developed. Teaching and learning materials (Package A) are being developed for sound implementation of the curricula. Development processes of Package B and C are behind schedule. Yet equivalency of Package A, B and C to formal education shall be assured by further approval of Punjab Curriculum Authority.

[Output 2] *“Standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools for Adult Literacy are developed.”*

Standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools for adult literacy have been developed. Bridging mechanism to further education for those who complete the basic

57

Q

m

JK



literacy program is being discussed with relevant institutions.

[Output 3] *“Provincial officers, District officers (Executive District Officers, District Literacy Officers, Literacy Mobilizers, etc.) in Punjab Province and teachers in pilot projects are trained for newly developed outputs above.”*

A wide range of training programs have been provided for provincial and district officers and teachers for the proper implementation of the new standards, curricula and assessment methods/tools. Soon after lifting of ban on recruitment, District Training Officers will be appointed and trained.

## **2-2 Analysis by the Five Evaluation Criteria**

The results of analysis by the Five Evaluation Criteria are as follows. For the details, refer to Evaluation Grid in Annex 2.

### **(1) Relevance: High**

After the 18th amendment to the Constitution in 2010, the provincial government is given responsibility to provide basic education and eradicate illiteracy by developing its own curricula. The State’s commitment to international initiatives including MDGs and EFA urges to address the issues of low enrolment and literacy rates. NFEPP is also aligned with Japan’s Country Assistance Policy for Pakistan.

### **(2) Effectiveness: Promising**

Effectiveness is promising while it is too early to judge because further verification is needed once all the Outputs are produced. While, Standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools, etc. developed through NFEPP to date are effective to provide quality NFE. Through numerous training at different levels, teachers are well equipped to provide a better, more conducive learning environment for the learners.

According to a survey conducted by NFEPP, learning results of Adult Literacy learners at pilot centers are better than those of non pilot. Meanwhile learning outcome of learners of Package A is yet to be measured soon and learning materials of Package B and C are yet to be developed.

### **(3) Efficiency: Fair**

Inputs have been appropriately provided by Japanese and Pakistani sides except for the appointment of sufficient counterpart personnel such as Capacity Building Project staff and District Training Officers crucial for proper technical transfer. A longer project period is required to accomplish all planned activities, particularly teaching-learning material development added through the mid-term review (Package B and C).

(4) Impact: High

Strengthened delivery system of LNFBED will certainly improve access to and quality of NFE in Punjab. Moreover, the developed standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools attract different development partners, including national and international organizations and JICA's other projects, through which NFEPP's outcome may expand to other provinces and countries.

(5) Sustainability: High

LNFBED's strong commitment to the full implementation of NFEPP's outcome allows positive expectation for sustainability. Currently, LNFBED plans to utilize the Project Outputs in six new and on-going projects, and further, is seeking a change of its operation mode from time-bound project to permanent program to create a stable infrastructure for education provision. Enhanced political support for and improved financial circumstances of LNFBED are also a good sign for sustainability.

**2-3 Factors that have promoted the Project**

Understanding of the project purpose and approach has been deepened among counterpart personnel and other stakeholders through advocacy campaign, study visit to third countries and daily joint work. A good rapport between project staff and their partners has contributed to the efficient implementation. A conducive environment has been created based on the government's commitment to international initiatives. Innovative delivery models of LNFBED are highlighted as a mechanism to strengthen the system of quality non formal education delivery.

**2-4 Factors that have inhibited the Project**

Vacancy of some counterpart personnel who are supposed to receive technical transfer has hindered smooth project implementation and assurance of sustainability. Limited human resources specialized in NFE subsector in Pakistan necessitated a certain length of time to reach them.

**2-5 Conclusion**

Overall, NFEPP has been successful, highlighted with the adoptability of the project Outputs to a variety of NFBE and Adult Literacy delivery channel that LNFBED has.

NFEPP has been developing standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools which are effective to provide quality NFBE and adult literacy services. It also has provided training for provincial and district officers and teachers to be able to utilize the Outputs effectively through a variety of NFBE and Adult Literacy projects that LNFBED carries out with a range of innovative delivery models (workplace, community, etc). It also has a great



deal of relevancy to the policy and needs of Pakistan and to Japan's ODA policy. Consequently, the project is likely to achieve its purpose and to contribute to the improvement of access to and quality of NFE in Punjab.

However, because of the prolonged absence of some counterpart personnel and the significant volume of activities added by the mid-term review, a longer period of time than originally planned is required to accomplish all activities. It is therefore suggested to extend NFEPP until March 2015. Once the project is thoroughly accomplished, a high level of sustainability will be ensured on the basis of the strong commitment of LNFBED.



57  7

### 3. Recommendations and Lessons Learned

#### 3-1 Recommendations

- 1) For financial sustainability
  - LNFBED and the Government of Punjab to
    - Spare adequate budget for NFE even after completion of NFEPP
    - Discuss appropriate mix of budget allocation (e.g. increase number of schools vs. provide better textbooks, other materials, and teachers training)
    - Shift NFE activities from project mode to permanent program mode
  
- 2) To foster readiness to take over the Project activities
  - LNFBED to
    - Fulfill the vacant posts of Capacity Building Project and District Training Officers to strengthen capacity development system for teachers
    - Take the lead in developing and piloting package B and C
    - Develop the Operation Manual as soon as it can to guide its future timeline and demarcation of stakeholders for their operation, including revision of NFE standards, curriculum, assessment and related materials
    - Conduct a feasibility study on a permanent mechanism for teachers and staff training
  - NFEPP and LNFBED to advocate various stakeholders for possible collaboration, including
    - Department in charge of school education, health, agriculture, industry, environment, social welfare, woman development, disaster management, labor, etc.
    - Government of other provinces
    - Civil society, private sector
    - National organizations such as National Education Foundation, National Commission for Human Development, etc.
    - International development partners
  
- 3) Utilization of the Project Outputs
  - NFEPP and LNFBED to ensure flexible and maneuverable application of the curriculum of NFBE and Adult Literacy according to requirement of target groups.
  - LNFBED with support from NFEPP to conduct feasibility study for accreditation system for literacy certification



- 4) Extension of the project period
  - JICA to extend NFEPP's period for nine months, to accommodate time required to develop materials and carry out piloting related to Package B and C.

### 3-2 Lessons Learned

- 1) Hands-on and participatory capacity development for the counterpart personnel

The project has been implemented in a participatory manner with the counterpart personnel. For example,

- Pilot Project: Standards, Curricula, Learning materials, and Assessment have been piloted to examine their appropriateness to meet the needs of learners and improve learning situation and outputs. Counterparts have been involved in every step of the process of piloting and its OJT process to enhance their capacities at provincial, district and center/school levels.
- Study Visit: Study visit to Indonesia and the Philippines was effective to stimulate motivation and foster sense of ownership of the counterpart personnel. At the beginning of the Project, majority of counterpart personnel were uncertain if it is possible to materialize the concept of NFBE and Adult Literacy Program that are equivalent to formal education. The visit dispelled the impression as it demonstrated existing practices in developing countries with some commonalities, and boosted their can-do spirits.

- 2) Network and linkage with various stakeholders

In this project, a lot of stakeholders have been involved such as former Curriculum Wing of the Ministry of Education, Planning and Development Department, School Education Department, Punjab Examination Commission, Punjab Vocational Training Council, UNESCO, NGOs, etc. It is observed that the utilization of local resources contributes to making more applicable output such as assessment tool and learning materials at less cost, and that the involvement of counterparts contributes to developing their ownership. Collaboration with international organizations is promoting the expansion of project output. Thus, involving many stakeholders can make a potential to increase effectiveness and efficiency of projects.

- 3) Policy dialogue facilitating conducive environment for project

The project personnel (counterpart and JICA expert) have been proactively involved in the development process of the NFE Sectoral Plan and Compulsory Education Act, to provide technical input. It eventually helped to reflect project activities to the policy and in turn the policy has become a powerful supporter of NFEPP contributing to generate a conducive environment.

57

9

7h



Annex

1. Project Design Matrix version 2 (original)
2. Evaluation Grid
3. Project Design Matrix version 3 (revised)
4. Reasons of changing Project Design Matrix

A handwritten signature in black ink, consisting of a stylized 'A' followed by a horizontal line and a 'h'.Three handwritten marks in black ink: a stylized 'S' on the left, a stylized 'Q' with 'H' inside in the middle, and a stylized 'h' on the right.

Annex 1.

Project Design Matrix (PDM) (version 2, dated 12th Feb. 2013)

Project Name: Non-Formal Education Promotion Project

Target Area: Punjab Province

Pilot Projects: Centers/Schools in six Districts: 70 in total in Khanawal, Multan, Sahiwal, Pakpattan, Okara, and NankanaSahab Districts

Target Group: Direct Beneficiaries

1) Literacy and Non-formal Basic Education Department (LNFBE),

2) All the ongoing projects at LNFBE (3 as of February 2013, and 1 project to be implemented, total of 4)

3) District officers

4) Teachers of NFBE schools and CLCs of pilot projects

Indirect Beneficiaries

1) 6.2 million out-of-school children (5-14 years)

2) 37.7 million youth and adult illiterates (15+ years)

Duration: July 2011 – June 2014

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p><b>[OVERALL GOAL]</b> Access and quality of Non Formal Education (NFE) are improved in Punjab.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>No. of centers/schools that implement developed standards, curriculum and assessment methods/tools in Punjab</li> <li>The level of environment, teachers, and learning are improved based on the developed Standards at 80% of centers/schools where Standards, Curriculum and Assessment methods/tools are implemented in Punjab. Learning Standards Teachers Standards Environmental Standards</li> <li>Increased number of learners who completed NFBE and Adult Literacy in Punjab (NFBE:xx, Adult Literacy: xx)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>NFEMIS</li> <li>NFEMIS/Interview</li> <li>NFEMIS</li> </ol>	<p>The policy toward literacy does not change.</p>
<p><b>[PROJECT PURPOSE]</b> System for Quality Non Formal Education delivery is strengthened in Punjab.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>The level of environment, teachers, and learning are improved based on the developed standards at 80% of the pilot centers/schools. Learning Standards Teachers Standards</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>NFEMIS/Interview with LNFBE</li> </ol>	<p>Sufficient budget and personnel are allocated to LNFBE to continue activities.</p>

<p><b>OUTPUTS]</b></p> <p>1. Standards, curricula and assessment methods/tools for Non Formal Basic Education (NFBE) are developed.</p>	<p>Environmental Standards</p> <p>2. The level of achievement of learners enrolled at centers/schools is improved based on the learning standards at the pilot centers/schools.</p> <p>3. No. of centers/schools that implement developed Standards, Curriculum and Assessment methods/tools in Punjab</p>	<p>2. The results of assessment based on the assessment tools/methods developed NFEMIS/Interview</p> <p>3. NFEMIS/Interview</p>	
<p>1. Standards, curricula and assessment methods/tools for Non Formal Basic Education (NFBE) are developed.</p> <p>2. Standards, curricula and assessment methods/tools for Adult Literacy are developed.</p> <p>3. Provincial officers, District officers (Executive District Officers, District Literacy Officers, Literacy Mobilizers, etc.) in Punjab Province and teachers in pilot projects are trained for newly developed outputs above.</p>	<p>1.1 Approved <i>Learning Standards for NFBE</i> (Package A, B, C) assuring equivalency to formal education</p> <p>1.2 Approved <i>Curricula for NFBE</i> (Package A, B, C)</p> <p>1.3 Approved <i>Assessment methods/tools for NFBE</i> (Package A, B, C)</p> <p>1.4 Approved <i>Teacher Standards for NFBE</i></p> <p>1.5 Approved <i>Environment Standards for NFBE schools</i></p> <p>2.1 Approved <i>Learning Standards for Adult Literacy</i> assuring equivalency to formal education and bridging to technical education/vocational training</p> <p>2.2 Approved <i>Curriculum for Adult Literacy</i></p> <p>2.3 Approved <i>Assessment methods/tools for Adult Literacy</i>.</p> <p>2.4 Approved <i>Teacher Standards for Adult Literacy</i></p> <p>2.5 Approved <i>Environment Standards for Adult Literacy Centers</i></p> <p>3.1 Developed <i>Training Modules</i> including materials</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- for NFBE teachers</li> <li>- for Adult Literacy teachers</li> <li>- for EDOs (Executive District Officer),</li> </ul>	<p>1.1 <i>Learning Standards for NFBE</i></p> <p>1.2 <i>Curricula for NFBE</i></p> <p>1.3 <i>Assessment methods/tools for NFBE</i></p> <p>1.4 <i>Teacher Standards for NFBE</i></p> <p>1.5 <i>Environment Standards for NFBE schools</i></p> <p>2.1 <i>Learning Standards for Adult Literacy</i></p> <p>2.2 <i>Curriculum for Adult Literacy</i></p> <p>2.3 <i>Assessment method and tools for Adult Literacy</i></p> <p>2.4 <i>Teacher Standards for Adult Literacy</i></p> <p>2.5 <i>Environment Standards for Adult Literacy Centers</i></p> <p>3.1 <i>Training Modules</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- for NFBE teachers</li> <li>- for Adult Literacy teachers</li> <li>- for EDOs, DLOs and Literacy Mobilizers</li> </ul>	<p>1. Sufficient budget is allocated to LNFBED to conduct teacher training for pilot projects.</p> <p>2. Sufficient number of personnel is allocated in LNFBED and pilot projects.</p>

57

19

m

2



<p><b>[ACTIVITIES]</b></p> <p>1.1 Review the existing standards, curricula and assessment methods/tools for basic education.</p> <p>1.2 Conduct the baseline study for NFBE.</p> <p>1.3 Organize Steering Committee, Technical Advisory Group and Working Groups</p> <p>1.4 Customize/Develop the <i>Learning Standards, Curricula, Learning Materials</i> and <i>Learning Assessment Method/Tools for NFBE</i>.</p> <p>1.5 Develop the <i>Teacher Standards and monitoring method/tools for NFBE</i>.</p> <p>1.6 Develop the <i>Environment Standards and monitoring method/tools for NFBE Schools</i>.</p> <p>1.7 Revise and finalize the <i>Learning Standards, Curricula, Learning Materials, Learning Assessment Method/Tools, Teacher Standards and Environment Standards for NFBE</i></p>	<p>DLOs (District Literacy Officer) and Literacy Mobilizers</p> <p>3.2 Number of the trainees who participated in the training</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- NFBE teachers</li> <li>- Adult Literacy teachers</li> <li>- Provincial Officers, EDOs, DLOs and Literacy Mobilizers</li> </ul> <p>3.3 Degree of understanding of the trainees who participated in the training</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- NFBE teachers</li> <li>- Adult Literacy teachers</li> <li>- Provincial Officers, EDOs, DLOs and Literacy Mobilizers</li> </ul> <p>3.4 Teaching skills of the teachers</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- NFBE teachers</li> <li>- Adult Literacy teachers</li> </ul> <p>3.5 <i>Operation Manual</i> for NFBE and Adult Literacy</p>	<p>3.2 Project documents</p> <p>3.3 Project documents</p> <p>3.4 Project documents</p> <p>3.5 <i>Operation Manual</i></p>	
<p><b>[INPUT]</b></p> <p><b>from Pakistani side</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Counterpart personnel and working groups related to the Project</li> <li>2. Office space for the Project staff in the building of LNFBE</li> <li>3. Running expenses</li> <li>4. Available data, information, documents, maps, etc.</li> </ol> <p><b>from Japanese side</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Experts       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Long-term expert / NFE (1)</li> <li>2) Short-term expert / Assessment (1) (if necessary)</li> <li>3) Third country expert / Capacity Development (1) (if necessary)</li> </ol> </li> <li>2. Local cost</li> </ol>			<p><b>[PRE-CONDITION]</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Support from School Education Department and</li> </ol>

CS

10

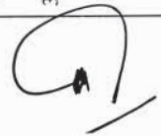
2

<p>from the feedback from pilot projects.</p> <p>1.8 Advocate the use of <i>Learning Standards, Curricula, Learning Materials, Learning Assessment Method/Tools, Teacher Standards and Environment Standards for NFBE.</i></p> <p>2.1 Review the existing standards, curricula and assessment methods/tools for Adult Literacy.</p> <p>2.2 Conduct the baseline study for Adult Literacy.</p> <p>2.3 Organize Steering Committee, Technical Advisory Group and Working Groups.</p> <p>2.4 Customize/Develop the <i>Learning Standards, Curricula, Learning Materials and Learning Assessment Method/Tools for Adult Literacy.</i></p> <p>2.5 Develop the <i>Teacher Standards and monitoring method/tools for Adult Literacy.</i></p> <p>2.6 Develop the <i>Environment Standards and monitoring method/tools for Adult Literacy Centers.</i></p> <p>2.7 Revise and finalize the <i>Learning Standards, Curricula, Learning Materials, Learning Assessment Method/Tools, Teachers Standards and Environment Standards for Adult Literacy</i> from the feedback from pilot projects.</p> <p>2.8 Advocate the use of <i>Learning Standards, Curricula, Learning Materials, Learning Assessment Method/Tools, Teachers Standards and Environment Standards for Adult Literacy.</i></p> <p>3.1 Conduct the training needs assessment for NFBE and Adult Literacy.</p> <p>3.2 Review the existing training modules for teachers including materials.</p> <p>3.3 Develop the <i>Training Modules for NFBE teachers</i> including materials.</p> <p>3.4 Develop the <i>Training Modules for Adult Literacy teachers</i> including materials.</p> <p>3.5 Develop the <i>Training Modules for EDOs (Executive District Officer), DLOs (District Literacy Officer) and Literacy Mobilizers</i> including materials.</p>	<p>1) Personnel assignment</p> <p>2) Study visit to the third country</p> <p>3) Development and printing of the documents and materials</p> <p>3. Equipment Office equipment</p>	<p>TEVTA is ensured.</p> <p>2. The revised rule of business of LNFBED is approved.</p> <p>3. Security condition is maintained</p>
---	--	---

Handwritten marks: a large 'S' on the left, a signature in the middle, and a '21' on the right.

Handwritten mark: a signature or initials in the top right corner.

- 3.6 Provide teacher training and professional development for NFBE teachers in pilot projects.
- 3.7 Provide teacher training and professional development for Adult Literacy teachers in pilot projects.
- 3.8 Develop the capacity of Provincial officers, EDOs, DLOs and Literacy Mobilizers in Punjab.
- 3.9 Monitor the NFBE by the trained teachers in the pilot projects.
- 3.10 Monitor the Adult Literacy by the trained teachers in the pilot projects.
- 3.11 Revise and finalize the *Training Modules for teachers and Training Modules for EDOs (Executive District Officer), DLOs (District Literacy Officer) and Literacy Mobilizers* including materials from the feedback from the result of monitoring.
- 3.12 Develop the *Training Operation Manual* for LNFBE to conduct training regularly.

CS  
  
 26



Annex 2. Evaluation Grid: Final Evaluation of the Non Formal Education Promotion Project

1. Performance		Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis
Item/ Criterion	Main	Sub				
Input	Has the project input been provided by Japanese side as planned?	Have the experts been appointed as planned?	Comparison with PDM - One long-term expert (NFE) - One short-term expert (assessment) if necessary - One third country expert (capacity development) if necessary	Expert's name, function and period of assignment	A long-term expert (Chiho Ohashi, Project Advisor) has been appointed since the project started as planned. Instead of appointing short-term or third-country experts, need-based invitation of resource persons fulfilled the necessity for human resources.	
		Have the project costs been borne as planned?	Comparison with PDM - Personnel assignment - Study visit to third countries - Development and printing of documents and materials	Amount and purposes of financial input	The costs necessary for personnel assignment, study visit and material development, etc. have been fully borne by Japanese side, and are not more than the project budget.	
		Has the equipment been provided as planned?	Comparison with PDM - Office equipment	List of provided equipment	Office equipment necessary for the project implementation has been provided and utilized properly.	
	Has the project input been provided by Pakistani side as planned?	Have the counterpart personnel and working groups been sufficiently involved in the project?	Comparison between required and appointed personnel	Name, function, period of assignment of counterpart personnel and working group	Since November 2012, a ban on recruiting new government personnel due to the national and local elections has been hindering the appointment of required personnel, including CBP staff and district training officers.	
		Has the project office space provided in LNFBED?		Location and specifications of the project office	Until July 2013, the project office was located in LNFBED, and its condition was satisfactory. However, due to a security reason, it has been moved to an individual house. Though the rent is paid by the project, the costs for electricity, guards and a part of stationary are borne by LNFBED.	
		Have the running expenses been borne as planned?	Comparison between required and covered expenses	Amount and purposes of financial input	LNFBED spent 2.3 million PKR as running expenses for NFEPP from July 2011 to December 2013. Moreover, monitoring and training costs for the pilot activities are partially covered by the budget of other LNFBED's projects.	
	Have the necessary data and information provided as planned?	Comparison with PDM - available data, information, documents, maps, etc.	Data and information provided by Pakistani side	All the available data and information necessary for the project implementation have been provided without obstacles. The implementation of data-driven management with NFEPP facilitates data collection and utilization greatly.		

Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis
	Main	Sub			
Output	Have the project outputs been produced as planned and are they expected to be produced by the project completion?	Has the project output 1 been produced as planned and is it expected to be produced by the project completion?  Output 1 Standards, curricula and assessment methods/ tools for NFBFE are developed.	1.1 Approved learning standards for NFBFE (package A, B, C) assuring equivalency to formal education 1.2 Approved curricula for NFBFE (package A, B, C)  1.3 Approved assessment methods/tools for NFBFE (package A, B, C) 1.4 Approved teacher standards for NFBFE 1.5 Approved environment standards for NFBFE schools	Name, contents and explanation of the produced outputs	Learning standards for NFBFE were approved on 9 January 2013 by the Steering Committee constituted by the order of Chief Secretary of Punjab. The equivalency between formal and non formal education is being examined by Punjab Curriculum Authorities established by law in September 2012. Curricula for NFBFE (package A, B, C) were approved on 9 January 2013 by the Steering Committee. Further authorization will be given after due consideration by Punjab Curriculum Authorities. Assessment methods/tools for NFBFE (package A, B, C) were developed and tested in the pilot project and primary schools. They will be approved in the next Steering Committee in May 2014. Teacher standards for NFBFE were approved on 9 January 2013 by the Steering Committee. Environment standards for NFBFE schools were approved on 9 January 2013 by the Steering Committee.
		Has the project output 2 been produced as planned and is it expected to be produced by the project completion?  Output 2 Standards, curricula and assessment methods/ tools for adult literacy are developed.	2.1 Approved learning standards for adult literacy assuring equivalency to formal education and bridging to technical education/vocational training 2.2 Approved curriculum for adult literacy  2.3 Approved assessment methods/tools for adult literacy 2.4 Approved teacher standards for adult literacy	Name, contents and explanation of the produced outputs	Learning standards for adult literacy were approved on 9 January 2013 by the Steering Committee. The equivalency to formal education is being examined by Punjab Curriculum Authorities established by law in September 2012. Bridging mechanisms to technical education/vocational training are discussed with organizations concerned, including TEVTA, PVTG and Allama Iqbal Open University.  Curricula for adult literacy were approved on 9 January 2013 by the Steering Committee. Further authorization will be given after due consideration by Punjab Curriculum Authority. Meanwhile, flexible and maneuverable application of the curriculum and materials should be guaranteed though they are approved as a 6-month comprehensive program. Assessment methods/tools for adult literacy were developed and examined in the pilot project, and will be approved in the next Steering Committee in May 2014.  Teacher standards for adult literacy were approved on 9 January 2013 by the Steering Committee.

CS

9

M

Handwritten signature

Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis
	Main	Sub			
			<p>2.5 Approved environment standards for adult literacy centers</p> <p>3.1 Developed training modules including materials for NFBE teachers; for Adult literacy teachers; for EDOs, DLOs and Literacy Mobilizers</p>	<p>Name, contents and explanation of the produced outputs</p>	<p>Environment standards for adult literacy centers were approved on 9 January 2013 by the Steering Committee.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Training modules for teachers and teacher's guide for NFBE Package A were developed, and are used in the pilot project. They will be finalized and printed by April 2014.</li> <li>- Training modules for teachers and teacher's guide for NFBE Package B and C will be developed, used in the pilot project finalized and printed. However, it is difficult to complete the entire process before the project end scheduled in June 2014.</li> <li>- Training modules for teachers and teacher's guide for adult literacy were developed and used in the pilot project. They will be finalized and printed by April 2014.</li> <li>- Training modules for staff were developed, and will be finalized and printed by April 2014.</li> </ul>
	<p>Has the project output 3 been produced as planned and is it expected to be produced by the project completion?</p> <p>Output 3 Provincial officers, district officers (Executive District Officers, District Literacy Officers, Literacy Mobilizers, etc.) in Punjab Province and teachers in pilot projects are trained for newly developed outputs above.</p>		<p>3.2 Number of the trainees who participated in the training (NFBE teachers, adult literacy officers, EDOs, DLOs and literacy mobilizers)</p>	<p>Number of participants in the training programs</p>	<p>As of December 2013,</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Training on teacher and learning environment standards (piloting): 1429 teachers and 76 staff in 12 courses</li> <li>- ALC material/CLC training: 150 teachers and 26 staff in 6 courses</li> <li>- NFBE material piloting training: 55 teachers and 15 staff in 7 courses</li> <li>- Training of provincial staff of LNFBE: 120 staff in 8 courses</li> <li>- Other trainings: 33 persons in 2 courses</li> </ul> <p>Grand total: 1634 teachers and 370 project staff</p>
			<p>3.3 Degree of understanding of the trainees who participated in the training (NFBE teachers, adult literacy teachers, provincial officers, EDOs, DLOs and literacy mobilizers)</p>	<p>Degree of understanding of the training participants</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Pre-post test was carried out in teacher training courses to examine the trainees' understanding. The test results show their good understanding.</li> <li>- Good understanding of standards, curriculum and other key concepts concerning NFE delivery system was demonstrated by LNFBE's staff at the provincial and district levels during interviews and meetings with them. That shows effectiveness of training programs provided in NFEP.</li> </ul>
			<p>3.4 Teaching skills of the teachers (NFBE teachers, adult literacy teachers)</p>	<p>Teaching skills of the teachers in the pilot projects</p>	<p>The result of pilot project of teachers standards carried out from September 2012 to August 2013 in 40 NFBEs (Multan and Mandi Bahaudin) and 10 CLC (Okara) show improvement of teacher's teaching skills including how to apply updated</p>

Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis																																		
	Main	Sub																																					
			3.5 Operation Manual for NFBE and adult literacy	Contents and explanation of the produced outputs	knowledge in teaching practice, how to create participatory learning environment, etc. Operation manual will be developed by June 2014. It will contain the process and methodology for development and revision of standards, curricula, assessment tools and teaching-learning materials on the basis of experiences in NFEP.																																		
Project purpose	Has the system for quality non formal education delivery is strengthened?	1. Has the level of environment, teachers, and learning been improved based on the developed standards at the pilot centers/schools?	Percentage of the pilot centers/schools where environment, teachers and learning are improved Target: 80% of the pilot centers/schools	Monitoring results using the check list developed in the project	Pilot project of teachers and learning environment standards was carried out from September 2012 to August 2013 at 20 NFBEs in Multan (Brick Kiln Project), 20 NFBEs in Mandi Bahaudin (CFEL Project) and 10 CLC in Okara (CLC Project). Almost all the schools and centers made improvement as shown in the following table. <Number of schools/centers that improved against the standards>																																		
					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">Improvement Point</th> <th colspan="2">Number of Schools/Centers</th> </tr> <tr> <th>Teacher Std.</th> <th>Environment Std.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 or less</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1 – 10</td> <td>8</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>11 – 20</td> <td>14</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>21 – 30</td> <td>25</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>31 or more</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>% of Improved Schools/Centers</td> <td>96%</td> <td>98%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Note: "Improvement Point" is calculated as a number of objectively comparable indicators which changed in a positive direction from the baseline to the end-line. Minus one point is given to an indicator showing a negative change. Total number of items is 34 for Teacher Standards and 41 for Environment Standards.</p>	Improvement Point	Number of Schools/Centers		Teacher Std.	Environment Std.	0 or less	2	1	1 – 10	8	14	11 – 20	14	31	21 – 30	25	3	31 or more	0	0	% of Improved Schools/Centers	96%	98%											
Improvement Point	Number of Schools/Centers																																						
	Teacher Std.	Environment Std.																																					
0 or less	2	1																																					
1 – 10	8	14																																					
11 – 20	14	31																																					
21 – 30	25	3																																					
31 or more	0	0																																					
% of Improved Schools/Centers	96%	98%																																					
		2. Has the level of achievement of learners enrolled at centers/ schools been improved based on the learning standards at the pilot centers/schools?		Results of assessment based on the assessment tools/methods developed	A comparative analysis was made between CLCs with the newly developed adult literacy curriculum and ALCs without it. Results of final examination using the developed assessment tools show a higher level of learner achievement in CLCs with the new curriculum. <Percentage distribution of learners by level of achievement>																																		
					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">Subject</th> <th colspan="3">New curriculum</th> <th colspan="3">Level of achievement (%)</th> </tr> <tr> <th>With</th> <th>Without</th> <th>Below 40</th> <th>100-90</th> <th>89-70</th> <th>69-40</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Urdu (oral)</td> <td>25.30</td> <td>29.10</td> <td>16.50</td> <td>25.81</td> <td>30.92</td> <td>16.33</td> </tr> <tr> <td>Urdu (written)</td> <td>47.15</td> <td>34.79</td> <td>4.75</td> <td>6.61</td> <td>34.91</td> <td>18.70</td> </tr> <tr> <td>Math</td> <td>42.97</td> <td>35.55</td> <td>4.75</td> <td>22.44</td> <td>29.55</td> <td>15.46</td> </tr> </tbody> </table>	Subject	New curriculum			Level of achievement (%)			With	Without	Below 40	100-90	89-70	69-40	Urdu (oral)	25.30	29.10	16.50	25.81	30.92	16.33	Urdu (written)	47.15	34.79	4.75	6.61	34.91	18.70	Math	42.97	35.55	4.75	22.44	29.55	15.46
Subject	New curriculum			Level of achievement (%)																																			
	With	Without	Below 40	100-90	89-70	69-40																																	
Urdu (oral)	25.30	29.10	16.50	25.81	30.92	16.33																																	
Urdu (written)	47.15	34.79	4.75	6.61	34.91	18.70																																	
Math	42.97	35.55	4.75	22.44	29.55	15.46																																	

Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis																																
	Main	Sub																																			
		3. How many centers/ schools implement developed standards, curriculum and assessment methods/ tools in Punjab?	Number of centers/schools implementing the developed standards, etc. (with reference to all centers/schools run by LNFBE)	Number of centers/ schools that implement developed standards, etc. Total number of centers/schools run by LNFBE	Since pilot project for NFBE curricula is still in process, learner achievement has not been assessed yet. - Pilot project of teachers and learning environment standards (Sep 2012 – Aug 2013): 20 NFBEs in Multan (Brick Kiln Project) 20 NFBEs in Mandi Bahaudin (CFEL Project) 10 CLC in Okara (CLC Project) - Pilot project of learning standards, curriculum and assessment methods/tools for adult literacy (March – November 2013): 20 CLC in Multan, Khanewal (Brick Kiln Project) 40 CLC in Sheikhupura and Nankana Sb (PAF-LP Project) - Pilot project of learning standards and curriculum for NFBE Package A (Oct 2013 – April 2014): 20 NFBEs in Nankana Sb, Mianwali and Bahawalnagar (PAF-LP Project) 10 NFBEs in Mandi Bahaudin (CFEL Project) 20 NFBEs in Khanewal and Multan (Brick Kiln Project) - Pilot project of assessment method/tools for NFBE Package A, B, and C (May – June 2013) 20 formal primary schools and 45 NFBE schools in 5 districts (Sheikhupura, Okara, Khanewal, Multan and Khushab)																																
Overall goal	What is the expectation for improvement of access and quality of non formal education in Punjab?	1. How many centers/ schools has implemented and will implement the developed standards, curriculum and assessment methods/ tools in Punjab?	Chronological change and future plans about the number of centers/schools implementing the developed standards, etc.	Number of centers/ schools that implement developed standards, etc. Total number of centers/schools run by LNFBE	- In 10 Jan 2014, LNFBE issued a direction to implement the standards of teachers and learning environment for NFBE and adult literacy and learning standards for adult literacy in all schools/centers. - Number of schools/centers in new and on-going projects: <table border="1"> <thead> <tr> <th>Project</th> <th>NFBE</th> <th>Adult Literacy</th> <th>Total</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PAF</td> <td>5,464</td> <td>1,028</td> <td>6,492</td> </tr> <tr> <td>CFEL</td> <td>630</td> <td>-</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td>Brick Kiln</td> <td>275</td> <td>275</td> <td>550</td> </tr> <tr> <td>CLC</td> <td>-</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>Punjab Literacy Movement</td> <td>-</td> <td>6,667</td> <td>6,667</td> </tr> <tr> <td>Work Place Literacy</td> <td>1,000</td> <td>500</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>7,369</td> <td>8,530</td> <td>15,899</td> </tr> </tbody> </table> - Punjab Literacy Movement and Work Place Literacy are new initiative of LNFBE.	Project	NFBE	Adult Literacy	Total	PAF	5,464	1,028	6,492	CFEL	630	-	630	Brick Kiln	275	275	550	CLC	-	60	60	Punjab Literacy Movement	-	6,667	6,667	Work Place Literacy	1,000	500	1,500	Total	7,369	8,530	15,899
Project	NFBE	Adult Literacy	Total																																		
PAF	5,464	1,028	6,492																																		
CFEL	630	-	630																																		
Brick Kiln	275	275	550																																		
CLC	-	60	60																																		
Punjab Literacy Movement	-	6,667	6,667																																		
Work Place Literacy	1,000	500	1,500																																		
Total	7,369	8,530	15,899																																		



Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis																																
	Main	Sub																																			
		<p>2. Is it expected that the level of environment, teachers, and learning will be improved based on the developed standards at the centers/schools implementing standards, curriculum and assessment methods/ tools?</p>	<p>Analysis of causal relationship between the implementation of the developed standards, curriculum and assessment methods/ tools and the improvement of environment, teachers and learning Target: 80% of the centers/ schools where standards, curriculum and assessment methods/ tools are implemented in Punjab</p>	<p>Monitoring results using the check list developed in the project</p>	<p>The results of pilot project predict improvement of learning environment, teachers and learning at the schools/centers where the newly developed standards are applied. And the standards are being applied to all NFE institutions run by LNFBE in compliance with the order issued in 10 Jan 2014.</p>																																
		<p>3. What is the expectation of the number of learners who complete NFBE and adult literacy in Punjab?</p>	<p>Chronological change and future plans about the number of learners who complete NFBE and adult literacy Target: Not defined</p>	<p>Number of learners who complete NFBE and adult literacy</p>	<p>- Since the establishment of LNFBE in 2002, 818,151 learners (27,205 NFBE and 540,900 adult literacy) have had educational opportunities in LNFBE's projects. Now, in the on-going and newly starting projects, more than 1,570 thousand learners are expected, which shows an apparent tendency of increase. - Number of learners in new and on-going projects:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Project</th> <th>NFBE</th> <th>Adult Literacy</th> <th>Total</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PAF-LP</td> <td>190,400</td> <td>295,440</td> <td>485,840</td> </tr> <tr> <td>CFEL</td> <td>20,400</td> <td>-</td> <td>20,400</td> </tr> <tr> <td>Brick Kiln</td> <td>5,500</td> <td>4,125</td> <td>9,625</td> </tr> <tr> <td>CLC</td> <td>-</td> <td>14,400</td> <td>14,400</td> </tr> <tr> <td>Punjab Literacy Movement</td> <td>-</td> <td>1,000,000</td> <td>1,000,000</td> </tr> <tr> <td>Work Place Literacy</td> <td>30,000</td> <td>10,000</td> <td>40,000</td> </tr> <tr> <td><b>Total</b></td> <td><b>246,300</b></td> <td><b>1,323,965</b></td> <td><b>1,570,265</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>- Currently, LNFBE is establishing cooperation with new development partners including UNESCO, UNICEF and ILO. It seeks for the involvement of private sectors. Additional increase of NFE beneficiaries can be expected through such new initiatives. - Sectoral Plan newly developed by LNFBE in December 2013 aims 1.6 million learners at 45,715 NFBE schools and 8.7 million learners at 174,860 adult literacy centers by 2018.</p>	Project	NFBE	Adult Literacy	Total	PAF-LP	190,400	295,440	485,840	CFEL	20,400	-	20,400	Brick Kiln	5,500	4,125	9,625	CLC	-	14,400	14,400	Punjab Literacy Movement	-	1,000,000	1,000,000	Work Place Literacy	30,000	10,000	40,000	<b>Total</b>	<b>246,300</b>	<b>1,323,965</b>	<b>1,570,265</b>
Project	NFBE	Adult Literacy	Total																																		
PAF-LP	190,400	295,440	485,840																																		
CFEL	20,400	-	20,400																																		
Brick Kiln	5,500	4,125	9,625																																		
CLC	-	14,400	14,400																																		
Punjab Literacy Movement	-	1,000,000	1,000,000																																		
Work Place Literacy	30,000	10,000	40,000																																		
<b>Total</b>	<b>246,300</b>	<b>1,323,965</b>	<b>1,570,265</b>																																		

2. Process

Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis
	Main	Sub			
Progress	Have the activities been carried out as planned?	Which activities have already been completed?	Comparison between current state and PDM and PO	Activity record including date of implementation	<ul style="list-style-type: none"> <li>- For NFBE, teacher standards, environment standards, learning standards, curricula have been developed and approved. Teaching and learning materials for Package A and assessment method/tools for Package A, B, C have been developed.</li> <li>- For adult literacy, teacher standards, environment standards, learning standards, curricula, teaching and learning materials, have been developed and approved. Assessment method/tools have been development and tested.</li> <li>- For capacity building, staff training and teacher training for adult literacy and NFBE (Package A) have been carried out.</li> </ul>
	What are positive and negative factors affecting the project implementation?	Which activities are being carried out at present and will be carried out by the end of the project?	Comparison between current state and PDM and PO	Context of the project implementation	<ul style="list-style-type: none"> <li>- For NFBE, teaching and learning materials and training modules for Package B and C are being developed. Pilot activities for Package B and C will be conducted from May 2014.</li> <li>- Equivalency to formal education will be assured when Punjab Curriculum Authorities approved the curriculum.</li> <li>- For adult literacy, the issues related to equivalency and bridging mechanism are under discussion.</li> <li>- For capacity building, District Training Officers (DTO) will be recruited and trained. Teacher training for NFBE Package B and C including the development of training modules will be carried out. Operation Manual will be developed by June 2014.</li> <li>- Difficulty in finding experts in developing teaching and learning materials for NFBE</li> <li>- A ban of recruiting new government staff caused by the national and local elections hindered the appointment of CBP staff and DTO</li> <li>- Necessity to get approval of Curriculum Authorities, which arose in the middle of project implementation</li> <li>- Provincial government's support and motivated counterpart personnel which advocacy campaign and third country study tour enhanced considerably.</li> <li>- Stability of leadership in LNFBE</li> <li>- Linkage with various sectors including media</li> </ul>
	What are positive and negative factors affecting the project implementation?	What are problems hindering the project implementation?	Causal analysis between the problems and the project implementation		
		What contributes positively to the project outcomes?	Causal analysis between the promoting factors and the project implementation		

Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis
	Main	Sub			
Manage- ment	Has the project been managed appropriately?	Has decision making mechanism functioned smoothly?		Organizational arrangement and process of decision making	<ul style="list-style-type: none"> <li>Under the supervision of Joint Coordination Committee (JCC) as ultimate decision making body, the project is usually operated in accordance with the results of frequent discussions between Project Advisor and LNFBED Secretary. Whenever necessity arises, Secretary issues written instructions to his staff.</li> <li>Steering Committee was formed to supervise and approve the development of standards, curricula and assessment methods/tools.</li> </ul>
		Has the project been monitored systematically?		Frequency and contents of monitoring	<ul style="list-style-type: none"> <li>The progress of the project has been frequently shared among stakeholders.</li> <li>Monthly meeting was held in the process of developing standards, curricula and assessment methods/tools.</li> <li>Joint Monitoring Committee was organized on an ad-hoc basis to carry out monitoring visit to the pilot project sites.</li> <li>Newsletters (vol.1 &amp; 2) were published to disseminate information on the project to a wide range of stakeholders.</li> </ul>
		Has JICA (Pakistan Office and HQs) been properly involved in the project management?		Record of interaction between JICA, project team and counterpart	<ul style="list-style-type: none"> <li>JICA Pakistan Office has been frequently making communication with project team and the counterpart. It sometimes participates in campaigns, seminars and meetings. It also promotes public relations of the project through mass media.</li> <li>JICA HQs gave advice through the Mid-Term Review, and also coordinated information exchange between NFE sectors of Pakistan and Afghanistan.</li> </ul>
		Has the project team maintained a good communication with the counterpart personnel?		Record of interaction between project team and counterpart personnel	<ul style="list-style-type: none"> <li>Cooperative and constructive relations between the project team and the counterpart personnel are observed. Not only with the provincial staff but also with those people concerned at the district and school/center, the project team maintains good rapport.</li> </ul>
	Has the project team maintained a good communication within the team members?		Record of interaction among project team members	<ul style="list-style-type: none"> <li>Very good communication and cooperative relations among the project team members are observed. They hold business meetings and monthly reviews on a regular basis.</li> </ul>	

57

61

Handwritten signature

Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis
	Main	Sub			
		Has technical transfer been appropriately made?		Timeliness, suitability for the purposes, quantity	<ul style="list-style-type: none"> <li>The working groups for developing standards, curricula and assessment methods/tools have created ideal opportunities for technical transfer in a continuous and practical manner. It is not one-way transfer but is done on a mutual basis.</li> <li>Conversion of Research and Development (R&amp;D) Wing to Research, Curriculum, Materials and Assessment (RCMA) Wing of Capacity Building Project has increased probability of success in more systematic technical transfer.</li> <li>Third country visit at an early stage of the project implementation was very timely and effective to increase the understanding of quality NFE delivery system among counterpart personnel.</li> <li>Information and experience has been shared with JICA's project for technical education and that for irrigation management.</li> <li>UNESCO jointly organized a seminar and advocacy campaigns. It allocates budget for printing teaching-learning materials. Its "mobile literacy" (literacy education using mobile phone) is implemented in a LNFED's project.</li> <li>UNICEF concluded an MOU with LNFED on the implementation of its education program for out-of-school children in cotton farming areas.</li> <li>ILO supports LNFED in training for 200 master trainers through Decent Work initiative.</li> <li>Dhaka Ahsania Mission Pakistan (DAM) provided technical input in the project in teacher training, etc.</li> <li>Collaboration has been and is going to be made with other national organizations including National Commission for Human Development (NCHD), National Education Fund (NEF), Punjab Vocational Training Council (PCVT), Technical Education and Vocational Training Authority (TEVTA), Punjab Skills Development Fund (PSDF), Benazir Income Support Program (BISP), etc.</li> </ul>
		How has the project cooperated with other JICA's projects or other development partners?		Record of cooperation with other JICA's projects or other development partners	
Ownership	What is the degree of the Pakistani side's involvement in the project?	Do counterpart personnel have good understanding of the project?		Explanation of the project's significance	Counterpart personnel explain NFEPP with great confidence they use technical terms introduced by NFEPP. Their expression such as "our own standards and curricula" that used to be referred to as "standards and curricula developed by JICA" shows their ownership of the project outcome.

9/17


Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis						
	Main	Sub									
		<p>Has counterpart personnel been appointed appropriately?</p> <p>Have the target groups and stakeholders been deeply involved in the project?</p>		<p>Name, function, period of assignment of counterpart personnel</p> <p>Record of activities carried out by target groups and stakeholders</p>	<p>Summary of Data Analysis</p> <p>A list of counterpart personnel is in Attachment 1. Some of the CBP staff and the District Training Officers have not been appointed yet because of the ban of recruiting new government staff.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Teachers have been actively involved in baseline survey, pilot project, etc. They give feedback on standards, curriculum, teaching-learning materials and assessment methods/tools.</li> <li>- Literacy Mobilizers monitor and support schools/centers according to the standards, and work as trainers.</li> <li>- District Literacy Officers and NFE Focal Person in District Education Authority are involved in teacher training and advocacy campaign. They conduct pilot project at the district level. Some of them participate in the development of standards and curricula.</li> <li>- Project Directors of different projects in LNFEBED are cooperative and active partners in the implementation of pilot project.</li> <li>- Learners in the pilot projects could be involved in their learning activities more actively because of NFE's outreach strategy to provide education near their resident and work places.</li> </ul>						
Recom- mendation from Mid-term Review	Have appropriate reactions been made to the recommendations given in the mid-term review?	<p>Has PDM been revised on the basis of the recommendations from the mid-term review mission?</p> <p>Have the contents of training modules and operation manual been clarified?</p>		<p>Latest PDM</p> <p>Definition of training modules and operation manual</p>	<p>PDM was revised by JCC meeting held on 12 Feb 2013 in accordance with the recommendation from the mid-term review mission. However, some items were left to be identified at a later time, such as quantitative target with regard to Overall Goal.</p> <p>- Training modules are being developed as follows:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Target</th> <th>Contents</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Adult literacy teachers</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Standards and curriculum</li> <li>• Teaching methodology</li> <li>• Learning contents</li> <li>• School/Center management</li> <li>• Learner assessment</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>NFBE teachers Provincial and district staff</td> <td> <p>do.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Standards and curriculum</li> <li>• Teaching methodology</li> <li>• Learner assessment</li> <li>• Project management</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	Target	Contents	Adult literacy teachers	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Standards and curriculum</li> <li>• Teaching methodology</li> <li>• Learning contents</li> <li>• School/Center management</li> <li>• Learner assessment</li> </ul>	NFBE teachers Provincial and district staff	<p>do.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Standards and curriculum</li> <li>• Teaching methodology</li> <li>• Learner assessment</li> <li>• Project management</li> </ul>
Target	Contents										
Adult literacy teachers	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Standards and curriculum</li> <li>• Teaching methodology</li> <li>• Learning contents</li> <li>• School/Center management</li> <li>• Learner assessment</li> </ul>										
NFBE teachers Provincial and district staff	<p>do.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Standards and curriculum</li> <li>• Teaching methodology</li> <li>• Learner assessment</li> <li>• Project management</li> </ul>										

10/17

Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis																						
	Main	Sub																									
		<p>Have the vacant posts of CDP and district training officers under PAF Project been fulfilled?</p> <p>Has LNFBE increased the number of pilot NFBE schools and CLCs?</p> <p>Has LNFBE strengthened its advocacy to secure the equivalency between packages of non formal education and degree of formal education?</p> <p>Is LNFBE continuously delivering non formal education by the extension of PC-1 or development of new projects?</p>		<p>Name, function, date of appointment to the posts to be fulfilled</p> <p>Number of pilot NFBE schools and CLCs</p> <p>Actual status of the approval</p> <p>Outlines of all LNFBE's projects for NFBE and adult literacy in the past, at present and in future</p>	<p>- Operation Manual will contain the process of developing and revising standards, curricula, assessment methods/tools and teaching-learning materials based on the experience in the project.</p> <p>The ban of recruiting new government officials has just been lifted. Those posts will be filled henceforward.</p> <p>Number of pilot schools/centers has increased. The figures are given above in the column for Project Purpose Indicator 3. Comparison between the centers with and without the new curriculum was also carried out.</p> <p>Equivalency between curricula of NFBE and formal primary education will be established once Punjab Curriculum Authorities (PCA) approve the former. The NFBE curriculum (package A, B and C) will be submitted to PCA in Feb 2014.</p>																						
					<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">New and on-going projects</th> <th>Period</th> <th>No. of Schools/Centers</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">Punjab Accelerated Functional Literacy and NFBE Project (PAF-LP)</td> <td rowspan="3"></td> <td>Jul 2012 – Jun 2016</td> <td>5440 NFBE 24 NFBE in Brick Kiln 920 CLC 31 VTI 75 ALC in Camp Jails 3 Functional Lit. Centers</td> </tr> <tr> <td>Apr 2009 – Jun 2014 (Revised Sep 2012)</td> <td>630 NFBE</td> </tr> <tr> <td></td> <td>275 NFBE 275 ALC</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">Campaign for Enhancement of Literacy in Four Districts of Punjab (CFEL)</td> <td rowspan="4">ALC &amp; NFBE at Brick Kiln at Multan and Khanewal</td> <td>Jul 2013 – Dec 2016</td> <td>60 CLC</td> </tr> <tr> <td>Feb 2014 – Jul 2016</td> <td>6667 ALC</td> </tr> <tr> <td>Jul 2013 – Jun 2017</td> <td>1000 NFBE 500 CLC</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	New and on-going projects		Period	No. of Schools/Centers	Punjab Accelerated Functional Literacy and NFBE Project (PAF-LP)		Jul 2012 – Jun 2016	5440 NFBE 24 NFBE in Brick Kiln 920 CLC 31 VTI 75 ALC in Camp Jails 3 Functional Lit. Centers	Apr 2009 – Jun 2014 (Revised Sep 2012)	630 NFBE		275 NFBE 275 ALC	Campaign for Enhancement of Literacy in Four Districts of Punjab (CFEL)	ALC & NFBE at Brick Kiln at Multan and Khanewal	Jul 2013 – Dec 2016	60 CLC	Feb 2014 – Jul 2016	6667 ALC	Jul 2013 – Jun 2017	1000 NFBE 500 CLC		
New and on-going projects		Period	No. of Schools/Centers																								
Punjab Accelerated Functional Literacy and NFBE Project (PAF-LP)		Jul 2012 – Jun 2016	5440 NFBE 24 NFBE in Brick Kiln 920 CLC 31 VTI 75 ALC in Camp Jails 3 Functional Lit. Centers																								
		Apr 2009 – Jun 2014 (Revised Sep 2012)	630 NFBE																								
			275 NFBE 275 ALC																								
Campaign for Enhancement of Literacy in Four Districts of Punjab (CFEL)	ALC & NFBE at Brick Kiln at Multan and Khanewal	Jul 2013 – Dec 2016	60 CLC																								
		Feb 2014 – Jul 2016	6667 ALC																								
		Jul 2013 – Jun 2017	1000 NFBE 500 CLC																								

11/17

Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis
	Main	Sub			
					After the mid-term review, three new projects have been developed to provide larger NFE opportunities. However, taking account of the objectives set in LNFBEED's Sectoral Plan, larger initiatives should be taken to achieve a favorable level of education provision.
		Does the operation manual include LNFBEED's experience of developing the standards, curriculum, materials and assessment tools in NFEPP as its institutional memory?		Operation manual	Operation Manual will be developed on the basis of LNFBEED's experience of developing the standards, curricula, materials and assessment methods/tools in NFEPP.

SS  
  
 23

3. DAC Five Criteria

Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis
	Main	Sub			
Relevance	Does the project meet the needs of the target area, society and group?	Are there any changes in the need to strengthen the system for quality NFE delivery in Punjab Province, compared to the needs identified at the time of project formulation?	Comparison between the current state and the situation at the time of project formulation and mid-term review	Literacy rate, enrolment rate in primary education, responsibility of the provincial authorities in educational development	Recent statistics shows a great need for improvement of NFE delivery system. Literacy rate 10+: 60% in 2011 (62% projected in 2013) Total target illiterates (10+): 29.5 million (NFE target; 2.2 million, Adult literates; 27.3 million) 40% drop out and missed out children No change has been made in the responsibilities of LNFBEED in educational development since the mid-term review.
	Does the project have consistency with the priority in the policy?	At the time of the final evaluation, does the project still have consistency with the development policy of Pakistan and Punjab Province, especially in the domain of the educational development?	Comparison between the current policies and those at the time of project formulation and mid-term review	National/provincial development policy, education development policy	No change in the policies has been made. Therefore, the project is still consistent with the national and provincial policies.



Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis
	Main	Sub			
		Is the project consistent with the Japanese ODA policy?	Comparison between the current policies and those at the time of project formulation and mid-term review	Japanese ODA policy for Pakistan	The project is consistent with Japan's Country Assistance Policy for Pakistan. Moreover, the Prime Minister of Japan is now taking the initiative to contribute to the improvement of women's life through international cooperation.
	Was the project designed appropriately as a means to respond to the identified needs?	Does the project employ an effective strategy to address the development issues in the non formal education subsector? Does Japan have a technical advantage in the NFE subsector?	Appropriateness in: - Project approach - Selection of target area - Collaboration with other development partners and initiatives Overview of international initiatives in NFE subsector	Logical framework of the project design Information about international initiatives in NFE subsector	Without set standards, curricula and assessment methods/tools, it would not be possible to deliver quality non-formal education in order to address the development issues of low literacy and high dropout rates. The expected outputs are rationally organized to achieve Project Purpose. Japan has assisted NFE initiatives in the world through different channels, including JICA's technical assistance projects, JICA's thematic training in Japan and third countries, Japan Funds in Trust for UNESCO, various NGO activities, collaboration between CLC and <i>Kominkan</i> , etc. Therefore, it has an accumulated experience and wisdom in NFE subsector.
	Are there any changes in the political, economical, and social environment surrounding the project after the mid-term review?		Comparison between the current state and the situation at the time of project formulation and mid-term review	General description of Pakistan	Since the target year 2015 for MDGs and EFA goals is approaching, the Government of Pakistan is more strongly urged to increase the related indicators. Therefore, NFE subsector receives more support for its initiatives than before.
	Is the project purpose expected to be achieved by the end of the project?		(See "performance" section in this Evaluation Grid.)		Delivery system of quality NFE has been securely strengthened through the development of standards, curricula and assessment methods/tools. Numerous trained personnel at different levels have developed capacity and confidence to fulfill their responsibility while further institutionalization of human resource development may ensure sound implementation of the project outcome.
Effectiveness	What may cause the achievement of Project Purpose?	Is the causal relationship firmly established between Project Purpose and Outputs?	Verification of logics between Project Purpose and Outputs	Logical framework of the project design	Project Purpose can be securely achieved if Outputs are fully produced.

*Handwritten signatures and initials.*

*Handwritten signature.*



Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis																
	Main	Sub																			
		<p>Is the important assumption on the achievement of Project Purpose still valid and actually fulfilled?</p> <p>Important Assumption: Sufficient budget and personnel are allocated to LNFBED to continue activities.</p> <p>Are there any promoting or hindering factors on the achievement of Project Purpose?</p>	<p>Sufficiency of budget and personnel to continue activities</p>	<p>Budget and personnel of LNFBED</p>	<p>– There is an increasing tendency in the budget allocation to LNFBED (million PKR).</p> <table border="1"> <tr> <td>2006/07</td> <td>275</td> <td>2010/11</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>2007/08</td> <td>1,200</td> <td>2011/12</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>2008/09</td> <td>1,250</td> <td>2012/13</td> <td>915</td> </tr> <tr> <td>2009/10</td> <td>800</td> <td>2013/14</td> <td>1,605</td> </tr> </table> <p>– The ban of recruiting government staff has been lifted, so that the personnel appointment will improve.</p>	2006/07	275	2010/11	800	2007/08	1,200	2011/12	800	2008/09	1,250	2012/13	915	2009/10	800	2013/14	1,605
2006/07	275	2010/11	800																		
2007/08	1,200	2011/12	800																		
2008/09	1,250	2012/13	915																		
2009/10	800	2013/14	1,605																		
Efficiency	Have Outputs been produced as planned?		<p>Causal analysis between Project Purpose and promoting/hindering factors</p>	<p>Promoting and hindering factors</p>	<p>At the beginning stage of the project implementation, poor understanding of the concept of NFE among stakeholders required considerable efforts and time to convince them of the significance of the project. However, their understanding has eventually deepened. Their strong commitment and confidence to achieve Project Purpose is now a driving force toward the success of the project.</p> <p>Proactive involvement of the project team (C/P and JICA experts) in the development process of the NFE Sectoral Plan and Compulsory Education Act eventually helped to reflect project activities to the policy. And in turn, the policy has become a powerful supporter of the Project.</p> <p>(See "performance" section in this Evaluation Grid.)</p>																
	What may cause the production of Outputs?	<p>Is the causal relationship firmly established between Outputs and Activities?</p>				<p>(See "performance" section in this Evaluation Grid.)</p>	<p>Logical framework of the project design</p>														
		<p>Is the important assumption on the production of Outputs still valid and actually fulfilled?</p> <p>Important Assumption: 1) Sufficient budget is allocated to LNFBED to</p>	<p>1) Sufficiency of budget of LNFBED for teacher training 2) Sufficiency of personnel in LNFBED and pilot projects</p>	<p>Budget and personnel of LNFBED and pilot project</p>	<p>Development of learning materials was added to Activities according to the recommendation from the mid-term review, but Outputs were not changed. Consequently, the relationship between Outputs and Activities has become somewhat irrational; outputs can be produced without completing all Activities. Therefore, Outputs should be reconsidered.</p> <p>– Training costs for teacher training in the pilot projects are basically borne from LNFBED's project budget.</p> <p>– Although District Training Officers in PAF-LP have not been appointed yet, District Literacy Officers, Literacy Mobilizers, and some experienced teachers are playing the role of master trainer. Moreover, DTO will be appointed shortly, so that the necessary conditions will be fulfilled.</p>																

14/17

Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis
	Main	Sub			
		<p>conduct teacher training for pilot projects.</p> <p>2) Sufficient number of personnel is allocated in LNFEBED and pilot projects.</p> <p>Have inputs from Japan and Pakistan been appropriate in terms of quantity, quality and timing?</p>			
	Has Inputs been appropriate to produce Outputs?		Justification of the relationship between provided Inputs and produced Outputs	Record of activities and inputs	Although there has been a shortage of counterpart personnel from the Pakistani side, efforts have been made to overcome it. A short-term expert and a third-country expert were not appointed because it was believed that local experts knew the Pakistani context better and could perform more efficiently. The project faced a difficulty to find competent expert of NFE material development, but it was eventually resolved.
		What is the degree of cost-effectiveness considering the actual achievement of Project Purpose and Outputs?	Analysis of the factors that increased and reduced the project costs	Record of activities and inputs	The project operation has been cost-effective. Its expenditure is less than the financial plan. A central reason for the cost-effectiveness is maximum utilization of existing human resources in Pakistan, including members of project staff, Technical Advisory Group and Working Groups.
Impact	Is Overall Goal likely to be achieved in about 3 years time after the project?		(See "performance" section in this Evaluation Grid.)		(See "performance" section in this Evaluation Grid.)
	What may cause the achievement of Overall Goal?	Is the causal relationship firmly established between Overall Goal and Project Purpose?	Verification of logics between Project Purpose and Outputs	Logical framework of the project design	Overall Goal is very likely to be achieved if Project Purpose is fulfilled.
		Is the important assumption on the achievement of Overall Goal still valid and actually fulfilled? <u>Important Assumption:</u> The policy toward literacy does not change.	Prospect of the policy toward literacy promotion	National/provincial development policy, education development policy	There is no sign that the importance of literacy and non-formal education will be lessened in the policy.

SS

*[Handwritten signature]*

*[Handwritten signature]*

Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis
	Main	Sub			
Sustain- ability	Are there unexpected impacts (positive and negative) other than Overall Goal?	Are there any promoting or hindering factors on the achievement of Overall Goal?	Causal analysis between Overall Goal and promoting/hindering factors	Promoting and hindering factors	<p>- Since the target year 2015 for MDGs and EFA goals is approaching, the Government of Pakistan and donors are more strongly urged to increase the related indicators. Therefore, NFE subsector receives more support for its initiatives than before.</p> <p>- Civil society as promoter of social welfare is relatively less developed in Pakistan so that the participation of NGOs and private sector in NFE provision is limited. On the other hand, bureaucratic attitude and lack of systematic mechanism in the public sector is also a hindering factor in the rapid expansion of NFE opportunities.</p> <p>- A wide range of opportunities to expand NFEPP's outcome are given by international and national organizations.</p> <p>- Concept of "alternative learning system" is acknowledged by the counterpart personnel because of the third country study visit.</p> <p>- No negative impact is anticipated.</p>
	Are there unexpected impacts (positive and negative) other than Overall Goal?	What are unexpected impacts (positive and negative) other than Overall Goal?	Impacts on: - Policy, strategy, system - Gender, human rights, poverty, culture - Natural environment - Technical innovation - Economy and finance	Record of activities	N/A
	Is political and institutional sustainability ensured?	What measures are taken to overcome negative impacts if any? Will the government policy to support the promotion of non formal education continue? What is the government strategy to provide basic education for the entire nation?	Prospect of the policy toward literacy promotion	Record of activities National/provincial development policy, education development policy	<p>Since the target year 2015 for MDGs and EFA goals is approaching, the Government of Pakistan is more strongly urged to increase the related indicators. Therefore, NFE subsector receives more support for its initiatives than before.</p> <p>The Government of Punjab has drafted Compulsory Education Act which includes non-formal education as a means to secure the provision of primary education for all.</p>
	Is organizational and financial sustainability ensured?	What is the expectation about organizational arrangement of NFE delivery in the coming years? What is the expectation about budgetary allocation to NFE sector?	Prospect of the organizational arrangement of LNFBED Prospect of the budgetary allocation to LNFBED	LNFBED's plans for NFBE and adult literacy projects	<p>Currently, LNFBED is seeking a change of its operation mode from time-bound project to permanent program to create a stable infrastructure for education provision. Accordingly, the operating structure of CBP is expected to become permanent Directorates within a few years. Moreover, LNFBED envisages creation of a staff training institute for continuous professional development and a permanent post of District Literacy Officer (DLO) under District Education Authority.</p> <p>The current trend of the increasing budgetary allocation enables to have positive expectation.</p>

CS  
  




Item/ Criterion	Evaluation Question		Indicator/Data analysis method	Necessary Data	Summary of Data Analysis
	Main	Sub			
	Is technical sustainability ensured?	Is LNFBEED facing technical difficulties to continue using and revising the standards, curriculum and assessment methods/tools after the project completion?	Review of difficult experience in the past in developing standards, curriculum, assessment methods/tools	Record of activities	<p>Many positive signs for the improved technical capacity of LNFBEED staff are observed, including establishment of Research, Curriculum, Materials and Assessment (RCMA) Wing. Moreover, the relationship with many resource persons established through operating NFEPP helps LNFBEED utilize those resources continuously. However, further enhancement of continuous professional development is crucial for LNFBEED's staff and teachers to implement and constantly improve the newly developed standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools. LNFBEED's strong commitment to the full implementation of NFEPP's outcome allows positive expectation for sustainability. Currently, LNFBEED is seeking a change of its operation mode from time-bound project to permanent program to create a stable infrastructure for education provision. Enhanced political support for and improved financial circumstances of LNFBEED are also a good sign for sustainability.</p>
	What is the expectation of overall project sustainability?		Analysis and synthesis of factors related to project sustainability	Factors related to project sustainability	

Handwritten signatures and initials: "SS", "G", and "m".

Handwritten signature: "Jh".

Evaluation Grid Attachment 1: List of Couterpart Personnel

No.	Name	Designation
1	Dr. Pervez Ahmed Khan,	Secretary
2	Mr. Nadeem Alam Butt,	Additional Secretary
3	Mr. Barak Ullah	Deputy Secretary (Planning)
4	Ms. Kalsoom Saqib	Deputy Secretary (Admin)
5	Mr. Muhammad Waseem	Section Officer (Admin)
6	Mr. Muhammad Latif	Section Officer (General)
Capacity Building Project		
1	Mr. Muhammad Faisal Raza	Deputy Director Human Resource Development
2	Dr. Munawar	Deputy Director Curriculum and Material Development
3	Mr. Muhammad Ilyas	Deputy Director Management Information System
4	Ms. Maryam Bukhari	Assistant Director Training
5	Ms. Amber Shahzadi	Assistant Director Monitoring and Evaluation
6	Ms. Fatima Batool	Assistant Director Research and Development
PAF LP Project		
1	Mr. Muhammad Usman	Project Director
2	Mr. Muhammad Akram Jan	Director Admin and Finance
3	Mr. Hafiz Muhammad Younus	Director Operation
4	Mr. Muhammad Zubair Sahi	Deputy Director Operation
5	Mr. Muhammad Anser	Assistant Director Monitoring
6	Ms. Khizra	Programmer
7	Mr. Innayet Waraich	Assistant Director Operation
8	Mr. Abdul Manan	Assistant Director Account
9	Ms. Ayesha	Assistant Director Finance
Brick Kiln Project		
1	Mr. Ghulam Abbas	Project Director
2	Mr. Muhammad Younus	Director
3	Mr. Muhammad Abid	Project Literacy Coordinator
4	Mr. Khuram Shahzad	Project Literacy Coordinator
5	Mr. Muhammad Bilal	Project Literacy Coordinator
6	Ms Safia Khaliq	Project Literacy Coordinator
7	Mr. Salman Ahmad	Project Literacy Coordinator
8	Mr. Mubashir Hassan	Project Literacy Coordinator
9	Mr. Rana Wahid	Project Literacy Coordinator
10	Mr. Ansar Khursheed	Project Literacy Coordinator
11	Mr. Afsheen Khursheed	Project Literacy Coordinator
CLC Project		
1	Ms. Ayesha Zeeshan	Project Director
2	Ms. Uzma Naz	Director Admin
3	Mr. Muhammad Ashraf Zahid	Mobilizer
4	Mr. Muhammad Murslin	Mobilizer
5	Mr. Faqir Hussain Rizwani	Mobilizer
6	Vacant	Mobilizer
7	Vacant	Mobilizer
CFEL Project		
1	Mr. Sajjad Ahmad Saqib,	Project Director
2	Mr. Mehboob Elahi	Monitoring and Evaluation Expert
3	Mr. Malik Abdul Ghafoor	Account Officer
4	Vacant	SME Expert
5	Vacant	System Analyst

SD  



Evaluation Grid Attachment 2: List of Members of Steering Committee, TAG and WG

1. Steering Committee

No.	Name	Designation/Department	Period of Assignment
1	Dr. Pervez Ahmed Khan	Secretary Literacy & NFBE Department, Puniab	January 19, 2012 to date
2	Mr. Muhammad Aslam Combah	Secretary School Education Department, Puniab	January 19, 2012 to date
3	Capt. (Rtd.) Nasim Nawaz	Chief Executive Officer, Punjab Examination Commission	January 19, 2012 to date
4	Mr. Ghazanfar Abbas	General Manger Curriculum PVTC	January 19, 2012 to date
5	Mr. Khalid Basir Sheikh	Chief Education, Planning & Development Department, Puniab	January 19, 2012 to September 2012
6	Mr. Ijaz Ahmed	Chief Education, Planning & Development Department, Puniab	January 2013 to date
7	Ms. Chiho Ohashi	Project Advisor, JICA-NFE Promotion	January 19, 2012 to date

2. Technical Advisory Group (TAG)

No.	Name	Designation/Department	Period of Assignment
1	Rai Muhammad Mahmood	Additional Secretary, Literacy & NFBE Department, Puniab	January 2012 to March 2012
2	Mr. Nadeem Aalam Butt	Additional Secretary, Literacy & NFBE Department, Puniab	July 2012 to date
3	Mr. Ubaid Ullah	Deputy Secretary Planning, Literacy & NFBE Department, Puniab	January 2012 to August 2013
4	Ms. Kalsoom Saqib	Deputy Secretary Admin, Literacy & NFBE Department, Puniab	January 2012 to date
5	Mr. Ghulam Abbas,	Project Director, Brick Kiln Project	January 2012 to date
6	Mr. Muhammad Usman	Project Director PAFLP	March 2012 to date
7	Ms. Ayesha Zeeshan	Project Director CLC Project	January 2012 to date
8	Ms. Ayesha Hameed	Project Director CFEL	January 2012 to October 2012
9	Mr. Sajad Ahmed Saqib	Project Director CFEL	January 2013 to date
10	Dr. Bashir Gondal	Punjab Examination Commission	January 2012 to date
11	Mr. Aurangzeb Rahman	Joint Educational Advisor, Federal Ministry of Education, Islamabad	April 2012 to date
12	Dr. Syed Tajamal Hussain	Deputy Educational Advisor, Federal Ministry of CAD, Islamabad	January 2012 to date
13	Mr. Chiragh Din Arif	Director Punjab Text Book Board	April 2012 to date
14	Mr. Iqbal Ur Rahman Sharif	Director Education- NCHD	January 2012 to date
15	Dr. Muhammad Saleem	Deputy Educational Advisor, Federal Ministry of Education, Islamabad	January 2012 to June 2013
16	Dr. Muhammad Hanif	Deputy Educational Advisor, Federal Ministry of Education, Islamabad	January 2012 to date
17	Ms. Raana Gill	Sr. Manager Trainings, The City School	January 2012 to date
18	Mr. Khalid Mahmood	Head Education Department, University of Education, Lahore	January 2012 to date
19	Ms. Huma Lodhi	Lecturer Education Department, University of Education, Lahore	January 2012 to date
20	Mr. Fawad Usman Ali	Director, SUDHAR	January 2012 to date
21	Mr. Mukhtiar Ahmed Talpur	Director Bureau for Extension and Special Programmes, Allama Iqbal Open	January 2012 to date
22	Mr. Edwin Samson	CEO, Adult Basic Education Society (ABES), Rawalpindi	January 2012 to date
23	Mr. Shahzad Ch.	Manager Programmes, Bunyad	January 2012 to date
24	Dr. Hafiz Muhammad Iqbal	Dean Institute of Education Research Puniab University	January 2012 to June 2013
25	Mr. Tanvir Majid	Deputy Secretary Education Sector Reform School Education Department	January 2012 to September 2012
26	Engineer Javed Mahmood	General Manger Academic, TEVTA	January 2012 to date
27	Mr. Abid Gill	Project Coordinator NFEPP	January 2012 to date

57  m



28	Mr. Muhammad Bilal Aziz	Sr. Programme Officer (Standards, Curricula Assessment) NFEPP	January 2012 to date
29	Mr. Muhammad Younas	Sr. Programme Officer Training and Piloting) NFEPP	January 2012 to date

### 3. Working Groups

No.	Name	Designation/Department	Period of Assignment
<b>i. Development of Standards</b>			
1	Mr. Muhammad Usman	Project Director PAFLP	March 2012 to date
2	Mr. Faisal Raza	Deputy Director HRD (Capacity Building Project)	January 2012 to date
3	Ms. Huma Lodhi	Lecturer Education Department, University of Education, Lahore	January 2012 to December 2012
4	Dr. Bashir Gondal	Punjab Examination Commission	January 2012 to date
5	Mr. Abid Gill	Project Coordinator NFEPP	January 2012 to date
6	Mr. Muhammad Bilal Aziz	Sr. Programme Officer (Standards, Curricula Assessment) NFEPP	January 2012 to date
<b>ii. Development of Curriculum</b>			
7	Mr. Aurangzeb Rahman	Joint Educational Advisor, Federal Ministry of Education, Islamabad	April 2012 to date
8	Dr. Syed Tajamal Hussain	Deputy Educational Advisor, Federal Ministry of CAD, Islamabad	January 2012 to date
9	Mr. Chiragh Din Arif	Director Punjab Text Book Board	April 2012 to date
10	Dr. Bashir Gondal	Punjab Examination Commission	January 2012 to date
11	Mr. Muhammad Akram Jan	Director Admin. PAFLP	January 2012 to date
12	Mr. Hafiz Muhammad Younas	Director Operations PAFLP	January 2012 to date
13	Mr. Muhammad Zubair Sahi	Deputy Director Operations PAFLP	January 2012 to date
14	Mr. Faisal Raza	Deputy Director HRD (Capacity Building Project)	January 2012 to date
15	Ms. Maryam Bukhari	Asst. Director Trainings (Capacity Building Project)	January 2012 to date
16	Ms. Fatima	Asst. Director Research (Capacity Building Project)	January 2012 to date
17	Ms. Raana Gill	Sr. Manager Trainings, The City School	January 2012 to date
18	Syed Wasim Haider Shirazi	Dist. Education Officer Sheikhpura	January 2012 to date
19	Mr. Shahid ul Hassan	Country Rep. Dhaka Ahsania Mission (DAM) Pakistan	April 2012 to date
20	Ms. Saima Fayaz	Coordinator Literacy Bunyad Foundation	April 2012 to December 2012
21	Ms. Naheed Naseer	Beacon House School	July 2012 to April 2013
22	Mr. Abid Gill	Project Coordinator NFEPP	January 2012 to date
23	Mr. Muhammad Bilal Aziz	Sr. Programme Officer (Standards, Curricula Assessment) NFEPP	January 2012 to date
<b>iii. Development of Assessment Mechanism</b>			
24	Ms. Ayesha Zeeshan	Project Director CLC Project	January 2012 to date
25	Ms. Maryam Bukhari	Asst. Director Trainings (Capacity Building Project)	January 2012 to date
26	Dr. Bashir Gondal	Punjab Examination Commission	January 2012 to date
27	Mr. Muhammad Bilal Aziz	Sr. Programme Officer (Standards, Curricula Assessment) NFEPP	January 2012 to date
<b>iv. Material Development</b>			
28	Mr. Hafiz Muhammad Younas	Director Operations PAFLP	August 2012 to date
29	Mr. Muhammad Zubair Sahi	Deputy Director Operations PAFLP	August 2012 to date
30	Ms. Maryam Bukhari	Asst. Director Trainings (Capacity Building Project)	August 2012 to date
31	Syed Wasim Haider Shirazi	Dist. Education Officer Sheikhpura	August 2012 to January 2013
32	Ms. Nadia Awan	Consultant	February 2013 to October 2013
33	Ms. Nasira Habib	Consultant	August 2013 to date
34	Mr. Tahir Zubair	Program Manger Literacy NCHD	March 2013 to June

SS  



35	Mr. Muhammad Bilal Aziz	Sr. Programme Officer (Standards, Curricula Assessment) NFEPP	August 2012 to date
<b>v. Piloting of Standards, Curricula, Assessment and Materials</b>			
36	Ms. Kalsoom Saqib	Deputy Secretary Admin, Literacy & NFBE Department, Puniab	April 2012 to date
37	Mr. Ghulam Abbas,	Project Director, Brick Kiln Project	April 2012 to date
38	Mr. Muhammad Usman	Project Director PAFLP	April 2012 to date
39	Ms. Ayesha Zeeshan	Project Director CLC Project	April 2012 to date
40	Mr. Sajad Ahmed Saqib	Project Director CFEL	April 2012 to date
41	Mr. Faisal Raza	Deputy Director HRD (Capacity Building Project)	April 2012 to date
42	Mr. Muhammad Ilyas	Deputy Director MIS (Capacity Building Project)	April 2012 to date
43	Ms. Maryam Bukhari	Asst. Director Trainings (Capacity Building Project)	April 2012 to date
44	Ms. Fatima	Asst. Director Research (Capacity Building Project)	April 2012 to date
45	Ms. Amber Shahzadi	Asst. Director M & E (Capacity Building Project)	April 2012 to date
46	Mr. Sijad Haider	Consultant	November 2013 to date
47	Mr. Shakeel Akash	Project Manager Dhaka Ahsania Mission (DAM) Pakistan	April 2013 to November 2013
48	Mr. Mansoor Khan	Field Manger Dhaka Ahsania Mission (DAM) Pakistan	April 2013 to November 2013
49	Mr. Muhammad Younas	Sr. Programme Officer Training and Piloting) NFEPP	April 2012 to date

37



m





Evaluation Grid Attachment 3: List of Meetings and Workshops

No.	Meeting	No. of	From	To	Participants			
					LNFBE	other	JICA	Total
1	Consultative Workshop on Standards, Curricula and Assessment Mechanism for Literacy and Non-Formal Basic Education in Punjab	2	12 Dec 2011	13 Dec 2011	24	14	6	44
2	1st Joint Coordination Committee Meeting	1	19 Oct 2011		9	11	4	24
3	Orientation Workshop for the District Focal Person of Literacy & NFBE	1	21 Jan 2012		54	5	6	65
4	Two Days National Experts Consultative Workshop on Development of Standards, Curricula, Assessment and Equivalency Mechanism for Non Formal Education In Punjab	2	27 Jan 2012	28 Jan 2012	8	26	6	40
5	Provincial Seminar on Quality Non Formal Education in Punjab and our Responsibilities	1	28 Mar 2012		20	80	6	106
6	Three Days Consultative Meeting of Experts to Review Draft Standards of Adult Literacy and Non Formal Basic Education in Punjab	3	12 Apr 2012	14 Apr 2012	8	16	6	30
7	One Day Consultative Meeting on Development of Standards for Vocational and Pre-Vocational Subjects	1	24 May 2012		13	7	5	25
8	One Day Consultative Meeting of Experts to Review Draft Standards of Non Formal Basic Education and Curricula of Adult Literacy	1	1 Jun 2012		16	8	6	30
9	Pre-Workshop Meeting on Non Formal Education Curriculum Review		22 Jun 2012		4	1	5	10
10	Three Days Workshop on Review of Draft Standards and Curricula of Non Formal Basic Education and Adult Literacy	3	28 Jun 2012	30 Jun 2012	13	39	6	58
11	Followup Meeting of Three Days Workshop on Review of Draft Standards and Curricula of Non Formal Basic Education and Adult Literacy	3	3 Jul 2012	5 Jul 2012	7	5	6	18
12	Income Generation Draft Review with Sharazi Sb	1	31 Jul 2012		7	1	5	13
13	Meeting for Review of Teaching Methodology	1	24 Aug 2012		1	3	1	5
14	1st Meeting of Steering Committee of Non Formal Education Promotion Project	1	18 Aug 2012					0
15	One Day Workshop on Material Development for Adult Literacy	1	25 Sep 2012		13	11	6	30
16	Planning and Consultative Meeting on Pilot Activities	1	22 Oct 2012		13	2	5	20
17	One Day Meeting on Review of Adult Literacy Material	1	23 Oct 2012		13	9	5	27
18	One Day Meeting on Review of Non Formal Basic Education Material	1	6 Nov 2012		11	15	4	30
19	Non Formal Basic Education (NFBE) Material Development Workshop	1	15 Dec 2012		5	10	6	21
20	Steering Committee Meeting	1	9 Jan 2013		4	4	3	11
21	Two Days Non Formal Basic Education (NFBE) Material Development Workshop	2	22 Jan 2013	23 Jan 2013	4	8	6	18
22	Meeting for Final Editing of NFBE Curriculum	2	1 Feb 2013	2 Feb 2013	1	3	5	9
23	Second Meeting of Joint Coordination Committee (JCC)	1	12 Feb 2013		13	5	8	26
24	Workshop on Selection of SLOs for Entry and Exit Level Assessment of Learners	1	14 Feb 2013		1	13	6	20
25	Internal Meeting with Dhaka Asania Mission Pakistan	1	19 Mar 2013		2	2	3	7
26	Meeting to Review and Finalize the Developed Items for Non Formal Basic Education	1	25 Apr 2013		5	12	7	24
27	Meeting with Project Staff of Brick Kiln Project on "Establishment of ALCs and NFBE Schools at Brick Kiln" in Multan	1	7 May 2013		11	0	3	14
28	2nd Meeting to Finalization of Developed Test Assessment Items & Test Assembling for Non Formal Basic Education	2	15 May 2013	16 May 2013	6	15	6	27
29	Orientation Workshop on Pilot Testing of Test Items for Non Formal Education Khushab	1	20 May 2013		35	0	1	36
30	Orientation Workshop on Pilot Testing of Test Items for Non Formal Education Multan & Khanewal	1	20 May 2013		44	0	1	45
31	Orientation Workshop on Pilot Testing of Test Items for Non Formal Education Nankana Sahib, Okara and Sheikhpura	1	20 May 2013		61	1	4	66
32	Meeting to Review First Draft of Non Formal Basic Education Material "Package A"	1	17 Jun 2013		5	2	6	13
33	3rd Meeting to Finalization of Developed Test Assessment Items for Non Formal Basic Education	2	5 Sep 2013	7 Sep 2013	0	15	5	20
34	Review Meeting on Piloting of the Standards, Curriculum, Material and Assessment Tools for Non Formal Basic Education	1	23 Sep 2013		21	17	6	44
35	Final Review of Teacher and Learning Environment Standards (Adult Literacy and NFBE)	2	9 Oct 2013	10 Oct 2013	19	0	3	22
36	Final Review of Curriculum and Assessment (Adult Literacy and NFBE)	1	5 Nov 2013		18	0	3	21
37	Meeting With Curriculum Authority for Submission of Adult Literacy Curriculum	1	7 Nov 2013		2	4	2	8
38	Seminar on " Efforts and Progresses Towards Women's Education and Empowerment in Afghanistan and Pakistan" in Tokyo Japan (For students)	1	8 Dec 2013		1	55	3	59
39	Seminar on " Efforts and Progresses Towards Women's Education and Empowerment in Afghanistan and Pakistan" in Tokyo Japan (For General Public)	1	8 Dec 2013		1	135	6	142
40	Sharing Meeting with Afghanistan Project Team (in Tokyo, Literacy and NFE experience sharing for BOP related activities (Hakuhodo in Tokyo, Japan	1	9 Dec 2013		1	10	4	15
41		1	10 Dec 2013		0	28	2	30

57  m



Evaluation Grid Attachment 4: List of Training Programs

No.	Training Title	Date	No of Days	Venue	No of Participants
<b>Trainings on Teachers and Learning Environment Standards (Piloting)</b>					
1	Training on Teacher and Learning Environment Standards(BK Project Piloting)	17-18 July, 2012	2 Days	Multan	30 teachers, 10 project staff
2	Training on Teacher and Learning Environment Standards(CLC Project Piloting)	24-25 July, 2012	2 Days	Okara	10 teachers, 02 project staff
3	Training on Teacher and Learning Environment Standards(CFEL Project Piloting)	02-03 Oct, 2012	2 Days	MBD	20 teachers, 04 project staff
4	On Job Training to CLC teachers and staff on teacher and center improvement plans	17 Nov, 2012	01 Day	MBD	07 teachers and project staff
5	On Job Training to CLC teachers and staff on teacher and center improvement plans	21 Nov, 2012	01 Day	Okara	10 teachers, 02 project staff
6	Center based Orientation on teacher and center improvement plans	22 Nov, 2012	01 Day	Multan	06 Teachers, 06 Project staff
7	Training on Teacher and Learning Environment Standards(CLC Project Piloting)	31 Jan, 2013	01 Day	Okara	10 teachers, 02 project staff
8	Training on Teacher and Learning Environment Standards(BK Project Piloting)	01 Feb, 2013	01 Day	Multan	20 teachers, 06 project staff
9	Training on Teacher and Learning Environment Standards(CFEL Project Piloting)	08 Feb, 2013	01 Day	MBD	20 teachers, 03 project staff
10	One day orientation session to all PLCs of PAF Project on T & LE Standards and center	07 March, 2013	01 Day	Lahore	35 PLCs
11	One day orientation session to 1255 newly appointed teachers of PAF Project on T & LE Standards and center management	March, 2013	01 Day	District based	1255 teachers in 32 districts of Punjab(PAF-LP)
12	On job Training to implement the Teacher and Center Plan	07-08 May, 2013	02 Day	Multan	06 teachers, 06 Staff members
<b>Sub Total</b>					<b>1429 teachers, 76 project staff</b>
<b>ALC Material/ CLC Trainings</b>					
1	Teachers training on Adult Literacy Curriculum and CLC concept (BK project)	10-12 Jan 2013	03 Day	Multan	33 teachers, 12 project staff
2	Teachers training on Adult Literacy Curriculum (BK project)	22-23 April, 2013	02 Day	Khanewal	18 teachers
3	Teachers training on Adult Literacy Curriculum (BK project)	23-24 April, 2013	02 Day	Multan	23 teachers
4	BK CLC Training	26-29 August, 2013		Multan	36 teachers, 08 project staff
5	CLC Teachers Training Sheikhpura by DAM-P			Sheikhpura	20 teachers, 3 project staff
6	CLC Teachers Training Nankana by DAM-P			Nankana	20 teachers, 3 project staff
<b>Sub Total</b>					<b>150 teachers, 26 project staff</b>
<b>NFBE Material Piloting Trainings</b>					
1	3 days training for NFBE material piloting at Khooj Office	05-07 July, 2013	03 Day	Lahore	05 teachers
2	ToT on piloting of NFBE material Package(A)	08-13 Nov, 2013	06 Day	Lahore	15 Project staff
3	District based Teachers Training on NFBE material(Package A)	02-07nDec, 2013	06 Day	Mianwali	10 teachers
4	District based Teachers Training on NFBE material(Package A)	02-07nDec, 2013	06 Day	Mandi Baha-o-Din	10 teachers
5	District based Teachers Training on NFBE material(Package A)	02-07nDec, 2013	06 Day	Okara	10 teachers
6	District based Teachers Training on NFBE material(Package A)	02-07nDec, 2013	06 Day	Bahawal Nagar	10 teachers
7	District based Teachers Training on NFBE material(Package A)	02-07nDec, 2013	06 Day	Khanewal	10 teachers
<b>Sub Total</b>					<b>55 teachers, 15 project staff</b>
<b>Trainings of Provincial Staff of LNFBED</b>					
1	Training of Provincial Staff of LNFBED	02-06 Dec.2012	05 Day	Murree	29 Provincial Staff
2	Training of District Staff ( batch I)	17-19 Dec, 2012	03 Day	Lahore	29 staff members, 8 districts
3	Training of District Staff ( batch II)	25-27 Feb, 2012	03 Day	Lahore	10 staff members
4	Training of District Staff	18-20 Dec, 2012	03 Day	Faisalabad	32 staff members, 7 districts
5	Training of District Staff	25-27 Dec, 2012	03 Day	Sahiwal	32 staff members, 6 districts
6	Training of District Staff	27-29 Dec, 2012	03 Day	Multan	36 staff members, 7 districts

SS 



No.	Training Title	Date	No of Days	Venue	No of Participants
7	Training of District Staff	03-05 Jan, 2013	03 Day	Islamabad	17 staff members, 6 districts
8	ToT of CLC Master Trainers of Literacy & Non Formal Education Department- Punjab	18-21 June, 2013	03 Day	Lahore	32 PLCs
<b>Sub Total</b>					<b>220 Projects staff</b>
<b>Others Trainings</b>					
1	Orientation on CLC to BK staff	05 Oct, 2012	01 Day	Multan	13 Project Staff
2	Consultative and planning meeting with DETs for NFE Teachers of BK Project	03 Nov, 2012	01 Day	Multan Khanewal	20 DTEs
<b>Sub Total</b>					<b>33 Persons</b>
<b>Grand Total</b>					<b>1634 teachers, 370 project staff</b>

#### Summary of Trainings Imparted by NFEPP

Training Category	No of Training	No of Teachers	No of Project Staff
Trainings on Teachers and Learning Environment Standards( Piloting)	12	1429 teachers	76 project staff
ALC Material/ CLC Trainings	6	150 teachers	26 project staff
NFBE Material Piloting Trainings	7	55 teachers	15 project staff
Training of Provincial Staff of LNFBE	8		120 project staff
Others Trainings	2		33 Persons
<b>Total</b>	<b>35</b>	<b>1634 Teachers</b>	<b>370 project staff</b>




Evaluation Grid Attachment 5: List of Publication

No.	Category	Title
1	Reports	Report on Material review
2		Report on Baseline Study (Quantitative)
3		Report on Baseline Study (Qualitative)
4		Report on National Consultation Meeting
5		Report on International Consultation Meeting
6		Third Countries Study Report
7		Report of Text Books Review
8		Report on Pilot Testing of Standards
9		Report on Pilot Testing of Curriculum and Material BK
10		Report on Campaign for Quality Non Formal Education
11		Report on Pilot Testing of Curriculum and Material DAM
12		Report on Teachers Training Workshops
13		Report on Filed Staff Training Workshops
14		Material Development Report by Khoj
15		Assessment System Development Report
16	NFBE Materials	Learning Standards
17		Teachers Standards
18		Learning Environment Standards
19		Curriculum NFBE
20		Assessment System NFBE
21		Training Manual NFBE
22		Primer Math for NFE Package A
23		Primer Urdu for NFE Package A
24		Primer English for NFE Package A
25		Teachers Guide Math for NFE Package A
26		Teachers Guide Urdu for NFE Package A
27		Teachers Guide English for NFE Package A
28	Adult Literacy Materials	Curriculum Adult Literacy
29		Assessment System Adult Literacy
30		CLC Training Manual
31		Taraqi Ka Safar
32		Health & Hygine Card Game
33		Ludoo Game
34		Primer Adult Literacy English 2013
35		Primer Adult Literacy Urdu 2013
36		Primer Adult Literacy Math 2013
37		10 Life Skills Poster Set (Learning Standard 1 to 10)
38		10 Life Skills Poster Set (Learning Standard 11 to 20)
39		Teachers Guide Basic Literacy
40		Teachers Guide Life Skills
41		Promotion Materials
42	Project Broacher English	
43	Wall Calender 2012	
44	Planner 2012	
45	Table Calender 2012	
46	Literacy Bag	
47	Literacy Badges	
48	P-Cap Literacy	
49	News Letter Vol-1	
50	News Letter Vol-2	
51	Ball Pen JICA for Seminar	
52	Ball Pen JICA for meetings	
53	Wall Calender 2013	
54	Planner with Pen 2013 + Pen	
55	Table Calender 2013	
56	Ball Pen Silver 2013	
57	Video Documentary, Lets everyone smile	
58	Certificate Folder	
59	Poster ( 3 )	
60	Note Books	
61	Brocures for volunteers	
62	Registration Form Volunteers	

SS

m

R

Annex 3.

Project Design Matrix (PDM) draft (version 3, dated 23rd Jan. 2014)

Project Name: Non-Formal Education Promotion Project

Target Area: Punjab Province

Pilot Projects:

Centers/Schools in 9 Districts: 209 in total in Khanewal, Multan, Okara, NankanaSahab, Mandi Bahaudin, Sheikhpura, Mianwali, Bahawalnagar and Khushab Districts; In total of approx. 5,400 learners

Target Group:

1) Literacy and Non-formal Basic Education Department (LNFBED),

2) All the 6 ongoing and new projects at LNFBED

3) District officers

4) Teachers of NFBE schools and CLCs of pilot projects

Indirect Beneficiaries

1) 6.2 million out-of-school children (5-14 years)

2) 37.7 million youth and adult illiterates (15+ years)

Duration: July 2011 – June 2014

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p><b>[OVERALL GOAL]</b> Access and quality of Non Formal Education (NFE) are improved in Punjab.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>No. of centers/schools that implement developed standards, curriculum and assessment methods/tools in Punjab</li> <li>Number of NFBED and adult literacy learners in LNFBED's projects</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>NFEMIS</li> <li>NFEMIS</li> </ol>	<p>The policy toward literacy does not change.</p>
<p><b>[PROJECT PURPOSE]</b> System for Quality Non Formal Education delivery is strengthened in Punjab.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>The level of environment, teachers, and learning are improved based on the developed standards at 80% of the pilot centers/schools. Learning Standards Teachers Standards Environmental Standards</li> <li>The level of achievement of learners enrolled at centers/schools is improved based on the learning standards at the pilot centers/schools.</li> <li>No. of centers/schools that implement developed Standards, Curriculum and Assessment methods/tools in Punjab</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>NFEMIS/Interview with LNFBED</li> <li>The results of assessment based on the assessment tools/methods developed NFEMIS/Interview</li> <li>NFEMIS/Interview</li> </ol>	<p>Sufficient budget and personnel are allocated to LNFBED to continue activities.</p>

<p><b>OUTPUTS]</b></p> <p>1. Standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools for Non Formal Basic Education (NFBE) are developed.</p>	<p>1.1 Approved Learning Standards for NFBE (Package A, B, C) assuring equivalency to formal education</p> <p>1.2 Approved Curricula for NFBE (Package A, B, C)</p> <p>1.3 Approved Assessment methods/tools for NFBE (Package A, B, C)</p> <p>1.4 Approved Teacher Standards for NFBE</p> <p>1.5 Approved Environment Standards for NFBE schools</p> <p>1.6 Approved Teaching-Learning Materials for NFBE</p>	<p>1.1 Learning Standards for NFBE</p> <p>1.2 Curricula for NFBE</p> <p>1.3 Assessment methods/tools for NFBE</p> <p>1.4 Teacher Standards for NFBE</p> <p>1.5 Environment Standards for NFBE schools</p> <p>1.6 Teaching-Learning Materials for NFBE</p>	<p>1. Sufficient budget is allocated to LNFBE to conduct teacher training for pilot projects.</p> <p>2. Sufficient number of personnel is allocated in LNFBE and pilot projects.</p>
<p>2. Standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools for Adult Literacy are developed.</p>	<p>2.1 Approved Learning Standards for Adult Literacy assuring equivalency to formal education and bridging to technical education/vocational training</p> <p>2.2 Approved Curriculum for Adult Literacy</p> <p>2.3 Approved Assessment methods/tools for Adult Literacy.</p> <p>2.4 Approved Teacher Standards for Adult Literacy</p> <p>2.5 Approved Environment Standards for Adult Literacy Centers</p> <p>2.6 Approved Teaching-Learning Materials for Adult-Literacy</p>	<p>2.1 Learning Standards for Adult Literacy</p> <p>2.2 Curriculum for Adult Literacy</p> <p>2.3 Assessment method and tools for Adult Literacy</p> <p>2.4 Teacher Standards for Adult Literacy</p> <p>2.5 Environment Standards for Adult Literacy Centers</p> <p>2.6 Teaching-Learning Materials for Adult-Literacy</p>	
<p>3. Provincial officers, District officers (Executive District Officers, District Literacy Officers, Literacy Mobilizers, etc.) in Punjab Province and teachers in pilot projects are trained for newly developed outputs above.</p>	<p>3.1 Developed Training Modules including materials</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- for NFBE teachers</li> <li>- for Adult Literacy teachers</li> <li>- for EDOs (Executive District Officer), DLOs (District Literacy Officer) and Literacy Mobilizers</li> </ul> <p>3.2 Number of the trainees who participated in the training</p>	<p>3.1 Training Modules</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- for NFBE teachers</li> <li>- for Adult Literacy teachers</li> <li>- for EDOs, DLOs and Literacy Mobilizers</li> </ul> <p>3.2 Project documents</p>	

CS



23



<p><b>[ACTIVITIES]</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.1 Review the existing standards, curricula and assessment methods/tools for basic education.</li> <li>1.2 Conduct the baseline study for NFBE.</li> <li>1.3 Organize Steering Committee, Technical Advisory Group and Working Groups</li> <li>1.4 Customize/Develop the Learning Standards, Curricula, Teaching-Learning Materials and Learning Assessment Method/Tools for NFBE.</li> <li>1.5 Develop the Teacher Standards and monitoring method/tools for NFBE.</li> <li>1.6 Develop the Environment Standards and monitoring method/tools for NFBE Schools.</li> <li>1.7 Revise and finalize the Learning Standards, Curricula, Learning Materials, Learning Assessment Method/Tools, Teacher Standards and Environment Standards for NFBE from the feedback from pilot projects.</li> <li>1.8 Advocate the use of Learning Standards, Curricula, Learning Materials, Learning Assessment Method/Tools, Teacher Standards and Environment Standards for NFBE.</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- NFBE teachers</li> <li>- Adult Literacy teachers</li> <li>- Provincial Officers, EDOs, DLOs and Literacy Mobilizers</li> </ul> <p>3.3 Degree of understanding of the trainees who participated in the training</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- NFBE teachers</li> <li>- Adult Literacy teachers</li> <li>- Provincial Officers, EDOs, DLOs and Literacy Mobilizers</li> </ul> <p>3.4 Teaching skills of the teachers</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- NFBE teachers</li> <li>- Adult Literacy teachers</li> </ul> <p>3.5 Operation Manual for NFBE and Adult Literacy</p>	<p>3.3 Project documents</p> <p>3.4 Project documents</p> <p>3.5 Operation Manual</p>	<p><b>[PRE-CONDITION]</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Support from School Education Department and TEVTA is ensured.</li> <li>2. The revised rule of business of LNFBED is approved.</li> <li>3. Security condition is maintained</li> </ol>
<p><b>[INPUT]</b></p> <p><b>from Pakistani side</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Counterpart personnel and working groups related to the Project</li> <li>2. Office space for the Project staff in the building of LNFBED</li> <li>3. Running expenses</li> <li>4. Available data, information, documents, maps, etc.</li> </ol> <p><b>from Japanese side</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Experts             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Long-term expert / NFE (1)</li> <li>2) Short-term expert / Assessment (1) (if necessary)</li> <li>3) Third country expert / Capacity Development (1) (if necessary)</li> </ol> </li> <li>2. Local cost             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Personnel assignment</li> <li>2) Study visit to the third country</li> <li>3) Development and printing of the documents and materials</li> </ol> </li> </ol>			

CS  
  
 3

AL

<p>2.1 Review the existing standards, curricula and assessment methods/tools for Adult Literacy.</p> <p>2.2 Conduct the baseline study for Adult Literacy.</p> <p>2.3 Organize Steering Committee, Technical Advisory Group and Working Groups.</p> <p>2.4 Customize/Develop the Learning Standards, Curricula, Teaching-Learning Materials and Learning Assessment Method/Tools for Adult Literacy.</p> <p>2.5 Develop the Teacher Standards and monitoring method/tools for Adult Literacy.</p> <p>2.6 Develop the Environment Standards and monitoring method/tools for Adult Literacy Centers.</p> <p>2.7 Revise and finalize the Learning Standards, Curricula, Learning Materials, Learning Assessment Method/Tools, Teachers Standards and Environment Standards for Adult Literacy from the feedback from pilot projects.</p> <p>2.8 Advocate the use of Learning Standards, Curricula, Learning Materials, Learning Assessment Method/Tools, Teachers Standards and Environment Standards for Adult Literacy.</p> <p>3.1 Conduct the training needs assessment for NFBE and Adult Literacy.</p> <p>3.2 Review the existing training modules for teachers including materials.</p> <p>3.3 Develop the Training Modules for NFBE teachers including materials.</p> <p>3.4 Develop the Training Modules for Adult Literacy teachers including materials.</p> <p>3.5 Develop the Training Modules for EDOs (Executive District Officer), DLOs (District Literacy Officer) and Literacy Mobilizers including materials.</p> <p>3.6 Provide teacher training and professional development for NFBE teachers in pilot projects.</p> <p>3.7 Provide teacher training and professional development for Adult Literacy teachers in pilot projects.</p> <p>3.8 Develop the capacity of Provincial officers, EDOs, DLOs and Literacy Mobilizers in Punjab.</p>	<p>3. Equipment Office equipment</p>	
---	--	---



- 3.9 Monitor the NFBE by the trained teachers in the pilot projects.
- 3.10 Monitor the Adult Literacy by the trained teachers in the pilot projects.
- 3.11 Revise and finalize the Training Modules for teachers and Training Modules for EDOs (Executive District Officer), DLOs (District Literacy Officer) and Literacy Mobilizers including materials from the feedback from the result of monitoring.
- 3.12 Develop the Operation Manual for LNFBE to develop, revise and implement the Standards, Curricula, Teaching-Learning Materials and Learning Assessment Method/Tools continuously.

--	--





Annex 4. Reasons of changing Project Design Matrix

Changing Item	Version 2 (Original)	Version 3 (Modified)	Remarks
Objectively Verifiable Indicators of Overall Goal	<p>2. The level of environment, teachers, and learning are improved based on the developed Standards at 80% of centers/schools where Standards, Curriculum and Assessment methods/tools are implemented in Punjab.</p> <p>Learning Standards Teachers Standards Environmental Standards</p> <p>3. Increased number of learners who completed NFBE and Adult Literacy in Punjab (NFBE:xx, Adult Literacy: xx)</p>	<p>2. Number of NFBE and adult literacy learners in LNFBE's projects</p>	<p>- Through the pilot projects in NFEPP, it has been confirmed that environment, teachers and learning are improved if the developed Standards, Curriculum, Teaching-Learning Materials, and Assessment Methods/Tools are properly implemented. Therefore, the number of centers/schools where the Standards, etc. are applied can be considered as a proxy indicator for the quality improvement.</p>
Outputs	<p>1. Standards, curricula and assessment methods/tools for Non Formal Basic Education (NFBE) are developed.</p> <p>2. Standards, curricula and assessment methods/tools for Adult Literacy are developed.</p>	<p>1. Standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools for Non Formal Basic Education (NFBE) are developed.</p> <p>2. Standards, curricula, teaching-learning materials and assessment methods/tools for Adult Literacy are developed.</p>	<p>- Since the development of teaching-learning materials added as Activities through the mid-term review involves a significant part of Outputs, it should be better to mention in Outputs, too.</p>
Objectively Verifiable Indicators of Outputs Activities	<p>1.4 Customize/Develop the Learning Standards, Curricula, Learning Materials and Learning Assessment Method/Tools for NFBE.</p> <p>2.4 Customize/Develop the Learning</p>	<p>1.6 Approved Teaching-Learning Materials for NFBE</p> <p>2.6 Approved Teaching-Learning Materials for Adult Literacy</p> <p>1.4 Customize/Develop the Learning Standards, Curricula, Teaching-Learning Materials and Learning Assessment Method/Tools for NFBE.</p> <p>2.4 Customize/Develop the Learning</p>	<p>- If Outputs include material development, the indicators should do the same.</p> <p>- For the sake of clarification</p>

	<p>Standards, Curricula, Learning Materials and Learning Assessment Method/Tools for Adult Literacy.</p> <p>3.12 Develop the Training Operation Manual for LNFBE to conduct training regularly.</p>	<p>Standards, Curricula, Teaching-Learning Materials and Learning Assessment Method/Tools for Adult Literacy.</p> <p>3.12 Develop the Operation Manual for LNFBE to develop, revise and implement the Standards, Curricula, Teaching-Learning Materials and Learning Assessment Method/Tools continuously.</p>	<p>- The Operation Manual is not only for the purpose of training but it contains a wider range of know-how to operate the works related to NFEPP.</p>
--	---	--	--

CS  
  
 72



## 2. 収集資料一覧

	文書名	発行者	発行年月
法令・政策・行政文書			
1	Sectoral Plan	LNFBED	2013年12月
2	The Punjab Curriculum Authority Act 2012 (Act XLIX Of 2012)	Government of the Punjab	2012年7月
3	Five Year Strategic Plan for The Promotion of Literacy in the Province of Punjab (2010-2015)	UNESCO, Government of the Punjab	2010年7月
4	Strategic Plan	LNFBED	2010年3月
5	ORDER: NFE Promotion Project Core Committee of Department For the development of Standards Curriculum, Assessment & Equivalency Mechanism for Non Formal Education Terms of Reference	LNFBED	2012年2月
6	ORDER: Field Visit Plan for Piloting of Teachers and Learning Environment Standards	LNFBED	2012年11月
7	NOTIFICATION: Review Committee on materials developed by JICA-NFEPP about Life Skills	LNFBED	2013年8月
NFPEPP プロジェクト実施報告・調査報告書・関連文書			
8	1st Progress Report of Non-Formal Education Promotion Project (July 2011-December 2011)	Chiho Ohashi, Project Advisor	2012年
9	2nd Progress Report of Non-Formal Education Promotion Project (January 2012-June 2012)	Chiho Ohashi, Project Advisor	2012年
10	3rd Progress Report of Non-Formal Education Promotion Project (July 2012-January 2013)	Chiho Ohashi, Project Advisor	2013年1月
11	4th Progress Report of Non-Formal Education Promotion Project (16 January-June 2013)	Chiho Ohashi, Project Advisor	2013年8月
12	進捗概要「パキスタンノンフォーマル教育推進プロジェクト」2013年11月現在	大橋知穂	2013年11月
13	List of Materials	NFPEPP	2014年1月
14	List of Meeting	NFPEPP	2014年1月
15	List of Counterpart	NFPEPP	2014年1月
16	Summary of Trainings Imparted by NFPEPP	NFPEPP	2014年1月
17	Name, function and period of assignment of members of Steering Committee, Technical Advisory Group, and Working Groups	NFPEPP	2014年1月
18	Baseline Study Non formal education promotion project	NFPEPP	
19	A Research study on the Quality of Education in Literacy and Non Formal Basic Education in Punjab	NFPEPP	
20	Punjab Non Formal Basic Education School Mainstreaming Survey Analysis	LNFBED	
21	Comparison of Assessment Results in ALC & CLC Centers of Brick Kiln Project Multan & Khanewal	LNFBED	
22	Teacher and Learning Environment Data Summary		
23	Report on Piloting of Teachers and Learning Environment Standards JICA-NFPEPP Lahore	LNFBED	
24	Baseline Report: NFBE Piloting		
25	An Analysis of Piloting Indicators of Teacher and Learning Environment Standards		

26	Items Development Based on Non Formal Basic Education Curriculum Learning Outcomes (Curriculum Package A, B and C)	NFEPP	2013年9月
NFEPF 製作物			
27	Non Formal Teachers' Standards	NFEPP	
28	Checklist of ALCs & NFBES Teachers Standards	NFEPP	
29	Learning Environment Standards for Literacy & Non-Formal Education	NFEPP	
30	Learning Environment Checklist of ALC & NFE Centers, Teachers, Learners and VEC	NFEPP	
31	Monitoring Plan of Pilot Project - NFEPP (M&E, Capacity Building of L&NFBED)	LNFBED	
32	Standards of Non Formal Education	LNFBED	2014年1月
33	Staff Training Manual to Establish the CLC in collaboration with L&NFBED Punjab & JICA	Dhaka Ahsania Mission Pakistan	
34	Teacher's Training Manual for Literacy Teachers in collaboration with LNFBED Punjab and JICA	Dhaka Ahsania Mission Pakistan	
プレゼンテーション用資料			
35	Presentation of Literacy & Non-Formal Basic Education Department Punjab for Terminal Evaluation of NFEPP	LNFBED	2014年1月
36	Punjab Accelerated Functional Literacy & NFBE Project (PAFLP)	PAFLP, LNFBED	2014年1月
37	Presentation on Brick Kiln Project	Brick Kiln Project, LNFBED	2014年1月
38	Presentation on JICA-Non Formal Education Promotion Project for JCC Meeting	NFEPP	2014年1月
39	Work Plan NFEPP 2014	NFEPP	2014年1月
プロジェクトドキュメント (PC-1)			
40	PC-1: Capacity Building of the Literacy & Non Formal Basic Education Department 2nd Revision	LNFBED	2013年3月
41	PC-1: Punjab Accelerated Functional Literacy and Non Formal Basic Education Project	LNFBED	
42	PC-1: CAMPAIGN FOR ENHANCEMENT OF LITERACY IN FOUR DISTRICTS OF PUNJAB (3rd REVISION)	LNFBED	
43	PC-1: Community Learning Center Project	LNFBED	
44	PC-1: Punjab Work Place Literacy Project	LNFBED	
活動報告・広報資料・コンセプトペーパー			
45	Concept Paper "Women Empowerment through Literacy"	LNFBED	
46	Letter from Project Director of CFEL concerning Promotion of Adult Literacy in Punjab by Involving University Students CONCEPT PAPER: Enhancement of Literacy through District Literacy Volunteer Program	LNFBED	2012年10月
47	Quarterly Newsletter Volume II (Feb to April, 2012)	LNFBED	2012年2月
48	Newsletter Special Edition-International Literacy Day (8th September 2012)	LNFBED	2012年9月
49	Annual Report 2012-13	LNFBED	

